

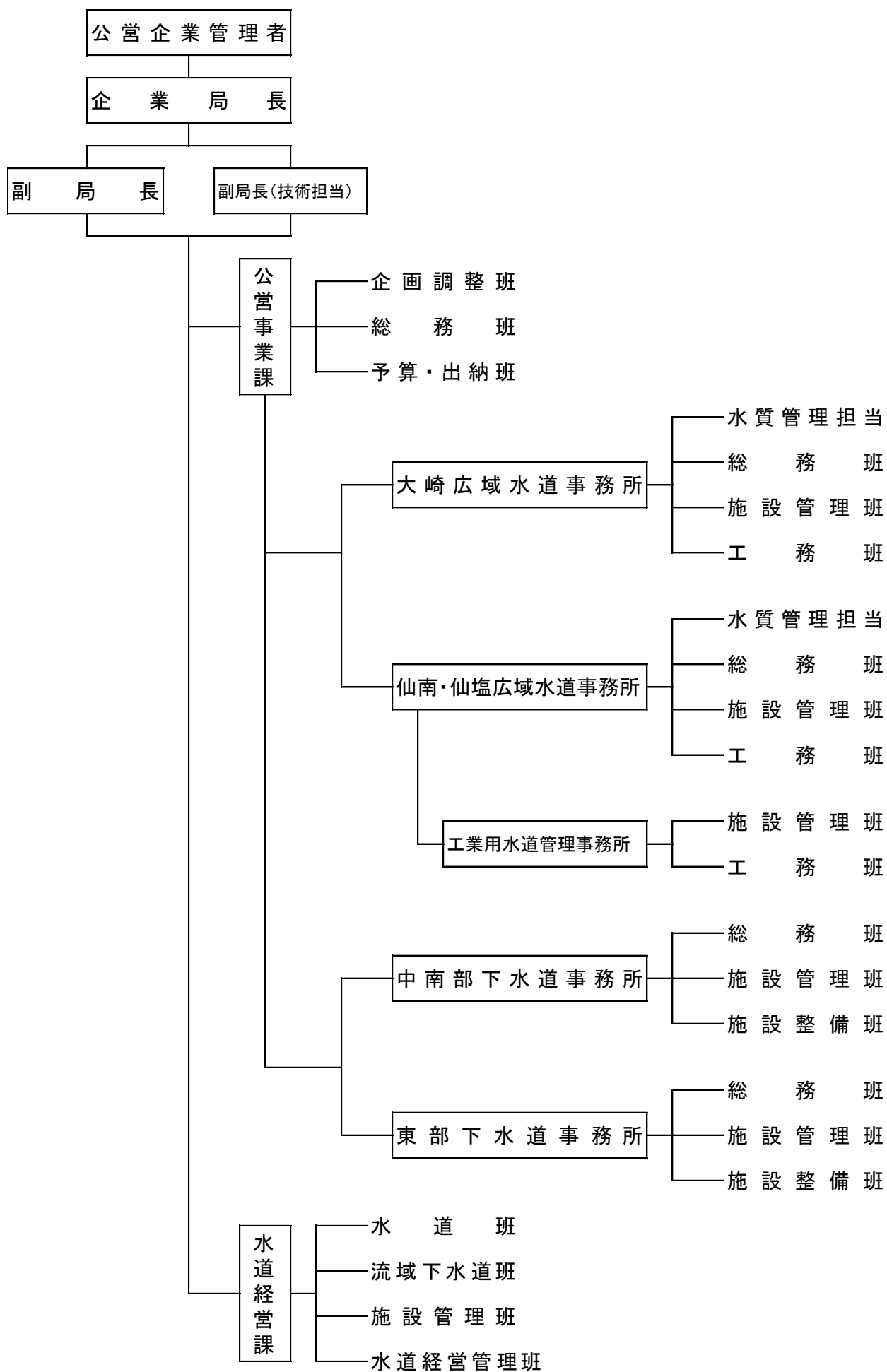
令和7年度企業局の概要

目 次

I 企業局の組織	1
1 組織図	1
2 職員数一覧表	2
3 所在地	2
4 分掌事務	3
II 令和7年度予算の概要	4
III 事業の概要	6
1 水道用水供給事業	7
(1) 大崎広域水道事業	7
(2) 仙南・仙塩広域水道事業	12
2 工業用水道事業	21
(1) 仙塩工業用水道事業	21
(2) 仙台圏工業用水道事業	26
(3) 仙台北部工業用水道事業	31
3 地域整備事業	36
4 流域下水道事業	40
(1) 仙塩流域下水道事業	40
(2) 阿武隈川下流流域下水道事業	47
(3) 鳴瀬川流域下水道事業	53
(4) 吉田川流域下水道事業	59
(5) 北上川下流流域下水道事業	65
(6) 北上川下流東部流域下水道事業	72
(7) 迫川流域下水道事業	79

I 企業局の組織

1 組織図(令和7年4月1日現在)



2 職員数一覧

(令和7年4月1日現在)

課所名 \ 区分	事 務	技 術	労 務	併 任	合 計
公営事業課	15(－)	1(－)		[21]	16(－)
水道経営課	16(－)	13(－)			29(－)
本局計	31(－)	14(－)		[21]	45(－)
大崎広域水道事務所	3(2)	12(－)	0(1)		15(3)
仙南・仙塩広域水道事務所	4(1)	19(1)	0(1)		23(3)
中南部下水道事務所	4(－)	9(1)			13(1)
東部下水道事務所	4(－)	12(－)			16(－)
地方機関計	15(3)	52(2)	0(2)		67(7)
合計	46(3)	66(2)	0(2)	[21]	112(7)

※1 公営企業管理者を除く職員数を計上しています。副局長は公営事業課に含めています。

※2 ()内の数字は暫定再任用職員数で、外書きで計上しています。

3 所在地

課所名	郵便番号	所 在 地	電 話 番 号
(本局)			
公営事業課	〒980-8570	仙台市青葉区本町三丁目8番1号	022 - 211 - 3413
水道経営課	〃	〃	022 - 211 - 3417
(地方機関)			
大崎広域水道事務所	〒981-4354	加美郡加美町字麓山1番地の9	0229 - 67 - 6512
仙南・仙塩広域水道事務所	〒989-0232	白石市福岡長袋字南部山7番地の1号	0224 - 25 - 8890
(工業用水道管理事務所)	〒983-0835	仙台市宮城野区大槻1番6号	022 - 293 - 5101
中南部下水道事務所	〒985-0832	多賀城市大代六丁目4番1号	022 - 367 - 4001
東部下水道事務所	〒986-0861	石巻市蛇田字新ノ切5番地の2	0225 - 23 - 7381

4 分掌事務

(1) 本局

区 分	分 掌 事 務
公 営 事 業 課	1 事業の総合的企画, 調整及び管理に関すること。 2 広報及び広聴に関すること。 3 公印の管理に関すること。 4 成案文書の審査並びに文書の收受, 発送, 編纂及び保存に関すること。 5 管理規程等の制定及び改廃に関すること。 6 局の組織及び職員の定数に関すること。 7 職員の任免, 分限, 懲戒その他の身分取扱に関すること。 8 給与, 勤務時間その他の勤務条件, 研修及び福利厚生に関すること。 9 職員の表彰に関すること。 10 予算の原案の作成及び予算の執行計画に関すること。 11 事業の資金計画及び財務計画に関すること。 12 資産の取得, 管理及び処分に係る事務の総括並びに議決事件の議案に関すること。 13 決算の調製並びに業務状況及び計理状況の報告に関すること。 14 経理事務その他出納事務に関すること。 15 会計事務の指導に関すること。 16 工事の検査に関すること。 17 有価証券及び担保物の出納, 保管に関すること。 18 出納検査に関すること。 19 出納取扱金融機関及び収納取扱金融機関に関すること。 20 地域整備事業に係る経営の基本計画に関すること。 21 地域整備事業に係る施設の整備及び資産の運用に関すること。 22 地域整備事業に係る貸付に関すること。 23 地方機関に関すること。 24 その他課の分掌に属しない事務の調整に関すること。
水 道 経 営 課	1 広域水道用水供給事業の経営の基本計画に関すること。 2 広域水道用水供給事業の用水供給に関すること。 3 工業用水道事業の経営の基本計画に関すること。 4 工業用水道事業の用水供給に関すること。 5 流域下水道事業の経営の基本計画に関すること。 6 流域下水道事業の下水処理に関すること。 7 局内において施行する工事及び技術管理・指導に関すること。 8 水道経営管理に関すること。

(2) 地方機関

区 分	分 掌 事 務
大 崎 広 域 水 道 事 務 所	大崎広域水道及び仙台北部工業用水道の供給並びに施設の維持管理及び工事施行に関すること。
仙 南 ・ 仙 塩 広 域 水 道 事 務 所	仙南・仙塩広域水道の供給並びに施設の維持管理及び工事施行に関すること。
工 業 用 水 道 事 務 所	仙塩工業用水道及び仙台圏工業用水道の供給並びに施設の維持管理及び工事施行に関すること。
中 南 部 下 水 道 事 務 所	仙塩, 阿武隈川下流, 鳴瀬川及び吉田川流域下水道の下水の処理, 施設の維持管理及び工事施行並びに流域関連公共下水道の指導及び監督に関すること。
東 部 下 水 道 事 務 所	北上川下流, 北上川下流東部及び迫川流域下水道の下水の処理, 施設の維持管理及び工事施行並びに流域関連公共下水道の指導及び監督に関すること。

Ⅱ 令和7年度予算の概要

1 収益的収支予算

企業局所管4事業会計の収益的収支予算のうち、収益的収入は233億8千8百余万円で前年度より5千1百余万円の増(+0.2%)、収益的支出は239億3千5百余万円で前年度より4億2千2百余万円の増(+1.8%)、収支差額は5億4千7百余万円の赤字で前年度より3億7千余万円の減となっています。

2 資本的収支予算

資本的収入は138億1千3百余万円で前年度より24億1千6百余万円の増(+21.2%)、資本的支出は188億9千8百余万円で前年度より6億3千1百余万円の増(+3.5%)、収支差額は△50億8千5百余万円で、資本的収入が資本的支出に対して不足する額は前年度より17億8千5百余万円の減となっています。

なお、資本的収入が資本的支出に対して不足する額50億8千5百余万円は、過年度損益勘定留保資金等で補てんすることとしています。

令和7年度 企業会計予算一覧表（当初予算）

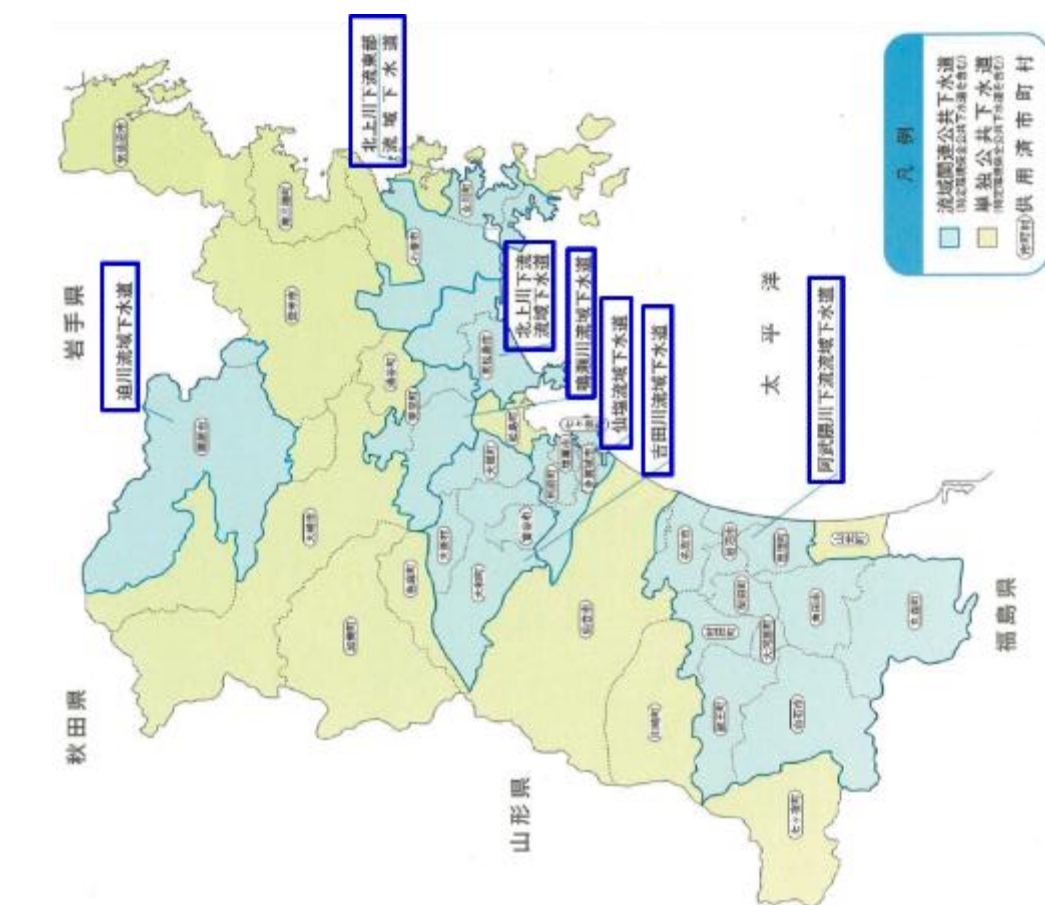
		水道用水供給事業				工業用水道事業				流域下水道事業								地域整備	合計
		大崎	仙南・仙塩	計	仙塩	仙台圏	仙台北部	計	仙塩	阿武隈	鳴瀬川	吉田川	北上川	北上川東部	追川	計			
収 入	業 益 的 収 入	営業収益	1,641,159	7,631,782	9,272,941	338,281	382,374	421,530	1,142,185	146,799	169,239	33,489	93,726	694,445	675,261	365,800	2,178,759	622,780	13,216,665
		料金収入	1,349,438	7,420,056	8,769,494	327,481	376,555	415,341	1,119,377	139,799	161,239	30,489	88,726	694,445	675,261	365,800	2,155,759	462,196	12,506,826
		その他	291,721	211,726	503,447	10,800	5,819	6,189	22,808	7,000	8,000	3,000	5,000	0	0	0	23,000	160,584	709,839
		営業外収益	217,308	1,077,880	1,295,188	147,937	52,375	100,038	300,350	1,967,212	2,566,048	306,434	553,109	763,869	1,036,079	784,180	7,976,931	7,461	9,579,930
		他会計補助金	0	898	898	0	0	0	0	260,703	285,598	55,730	86,396	271,200	345,965	283,710	1,589,302	0	1,590,200
		その他	217,308	1,076,982	1,294,290	147,937	52,375	100,038	300,350	1,706,509	2,280,450	250,704	466,713	492,669	690,114	500,470	6,387,629	7,461	7,989,730
		特別利益	0	253,233	253,233	0	0	0	0	73,557	70,933	32,726	0	72,524	55,830	33,209	338,779	0	592,012
		計(A)	1,858,467	8,962,895	10,821,362	486,218	434,749	521,568	1,442,535	2,187,568	2,806,220	372,649	646,835	1,530,838	1,767,170	1,183,189	10,494,469	630,241	23,388,607
		営業費用	2,239,643	7,605,343	9,844,986	600,309	352,020	810,432	1,762,761	2,010,405	2,793,757	317,207	611,900	1,394,205	1,581,471	1,076,659	9,785,604	427,800	21,821,151
		営業外費用	112,455	738,922	851,377	30,970	14,190	8,393	53,553	107,987	98,592	16,767	40,135	61,920	76,182	52,397	453,980	9,455	1,368,365
支 出	支 出	特別損失	0	253,233	253,233	0	0	0	0	97,957	94,433	34,926	0	96,624	74,330	44,109	442,379	0	695,612
		予備費	1,500	6,000	7,500	500	500	300	1,300	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	42,000	0	50,800
		計(B)	2,353,598	8,603,498	10,957,096	631,779	366,710	819,125	1,817,614	2,222,349	2,992,782	374,900	658,035	1,558,749	1,737,983	1,179,165	10,723,963	437,255	23,935,928
		差引当年度損益(A)-(B)	△ 495,131	359,397	△ 135,734	△ 145,561	68,039	△ 297,557	△ 375,079	△ 34,781	△ 186,562	△ 2,251	△ 11,200	△ 27,911	29,187	4,024	△ 229,494	192,986	△ 547,321
資本的 収 入	資本的 収 入	企業債	0	0	0	323,500	0	0	323,500	775,800	664,600	84,700	236,200	202,200	244,100	110,500	2,318,100	0	2,641,600
		国庫補助金	50,666	0	50,666	0	0	0	0	2,092,293	1,362,459	228,068	698,271	335,846	223,264	189,707	5,129,908	0	5,180,574
		出資金	50,600	205,300	255,900	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	255,900
		他会計長期借入金	0	0	0	0	0	0	0	189,300	166,900	217,100	197,600	186,500	256,100	186,500	1,400,000	0	1,400,000
		工事負担金	0	0	0	0	0	0	0	686,712	533,339	106,274	212,934	115,060	113,764	90,238	1,858,321	0	1,858,321
		他会計補助金	0	0	0	0	0	76,043	76,043	114	140	79	135	161	165	141	935	0	76,978
		他会計貸付金返還金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,400,000	1,400,000
		投資有価証券償還金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,000,000	1,000,000
		計(C)	101,266	205,300	306,566	323,500	0	76,043	399,543	3,744,219	2,727,438	636,221	1,345,140	839,767	837,393	577,086	10,707,264	2,400,000	13,813,373
		建設改良費	508,180	1,363,398	1,871,578	483,070	271,598	183,384	938,052	3,469,687	2,432,482	414,474	1,125,241	568,692	453,182	372,331	8,836,089	54,882	11,700,601
支 出	支 出	企業債償還金	315,426	1,817,032	2,132,458	110,092	29,058	0	139,150	295,421	302,243	52,921	101,774	260,524	337,770	259,350	1,610,003	0	3,881,611
		長期貸付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,400,000	1,400,000
		国庫補助金返還金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		長期借入金償還金	0	0	0	54,899	27,213	134,577	216,689	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	1,400,000	0	1,616,689
		投資有価証券	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	300,000	300,000
		計(D)	823,606	3,180,430	4,004,036	648,061	327,869	317,961	1,293,891	3,965,108	2,934,725	667,395	1,427,015	1,029,216	990,952	831,681	11,846,092	1,754,882	18,898,901
差引補填財源(C)-(D)		△ 722,340		△ 2,975,130		△ 3,697,470		△ 324,561		△ 327,869		△ 241,918		△ 894,348		△ 1,138,828		△ 5,085,528	

(税込、単位：千円)

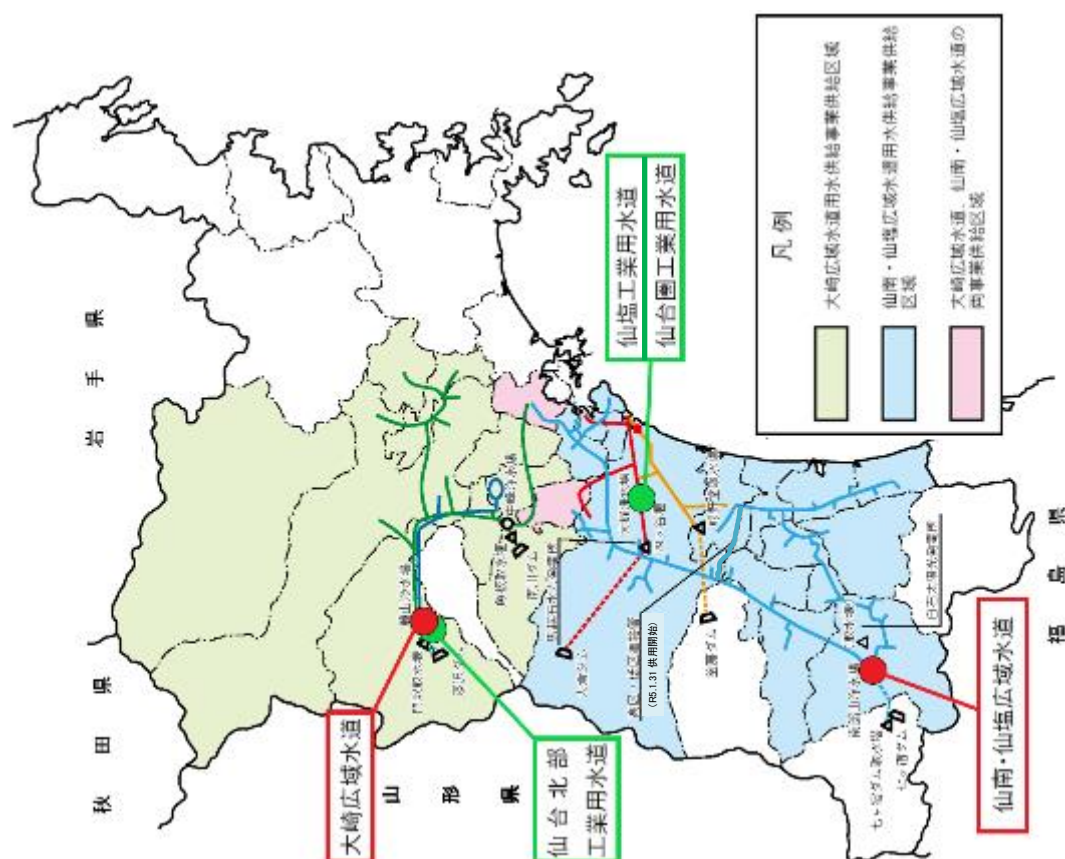
III 事業の概要

企業局事業概要図

流域下水道事業



水道用水供給事業・工業用水道事業



1 水道用水供給事業

本県が実施する水道用水供給事業は、主に大崎地方を中心とする地域の水道用水の需要に対応するため建設された「大崎広域水道」と仙南及び仙塩地域の水道用水の需要に対応するため建設された「仙南・仙塩広域水道」があります。

なお、両水道用水供給事業においては、水道事業を取り巻く厳しい経営状況を改善するため、令和4年4月から公共施設等運営権(コンセッション)方式により、民間事業者が運営を行う「宮城県上工下水一体官民連携運営事業(みやぎ型管理運営方式)」を実施しています。

(1) 大崎広域水道事業

① 事業の概要

本事業は、漆沢ダム及び南川ダムを水源とする2系統の浄水場から、大崎地方を中心とする10市町村に対し、一日最大120,000 m³の水道用水を供給するものです。

昭和48年度から建設工事に着手した漆沢ダム系については、昭和55年度から給水を開始し、現在は、一日最大82,300 m³の給水が可能となっています。

また、昭和58年度から建設工事に着工した南川ダム系については、平成6年度に第一期工事が完成(平成7年度から給水開始)し、現在は、一日最大18,850 m³の給水が可能となっています。

● 令和7年度の業務予定量

給水市町村数	3市6町1村
年間総給水量	21,293,760 m ³
一日平均給水量	58,339 m ³

● 計画取水量と計画給水量(一日最大)

	計画取水量	計画給水量	取水
漆沢ダム水系	88,500 m ³	82,300 m ³	鳴瀬川表流水(漆沢ダム)
南川ダム水系	40,000 m ³	37,700 m ³	吉田川表流水(南川ダム)
計	128,500 m ³	120,000 m ³	

● 受水市町村及び給水量(最終給水量) (単位: m³/日)

市町村名	給水量	市町村名	給水量
大崎市	46,300	大和町	23,500
栗原市	3,400	大郷町	3,000
富谷市	9,900	松島町	4,000
加美町	7,000	大衡村	6,500
涌谷町	8,800	計	120,000
美里町	7,600		

● 給水計画

漆沢系	昭和55年4月(給水開始)	41,150 m ³ /日
	昭和58年4月	82,300 m ³ /日
南川系	平成7年4月(給水開始)	18,850 m ³ /日
	水需要により対応	37,700 m ³ /日

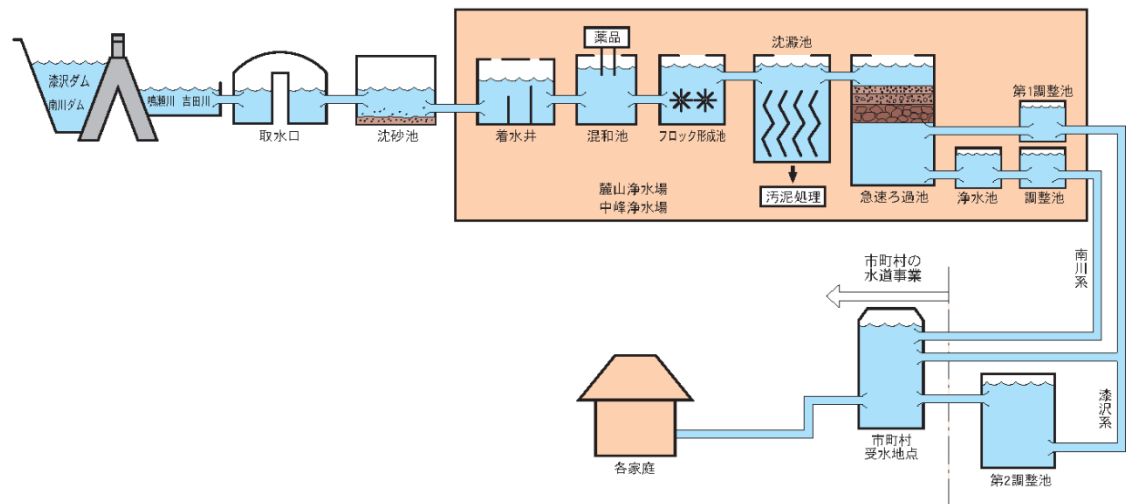
● 計画目標年次 未定

● 計画給水人口 318千人

● 工 期

漆 沢 系	第一期工事	昭 和 48 年 度 ～ 昭 和 54 年 度
	第二期工事	昭 和 55 年 度 ～ 昭 和 57 年 度
南 川 系	第一期工事	昭 和 58 年 度 ～ 平 成 6 年 度
	第二期工事	水需要により対応

■ 大崎広域水道事業のしくみ



② 事業費

(単位:千円)

区 分		全 体 計 画	漆沢系と南川系第一期工事 まで	南川系第二期工事以降
貯 水 施 設 (ダム負担金)	漆沢系	2,413,440	2,413,440	
	南川系	4,344,090	4,344,090	
	計	6,757,530	6,757,530	
広域化施設	漆沢系	20,258,770	19,864,834	393,936
	南川系	12,986,805	11,957,045	1,029,760
	計	33,245,575	31,821,879	1,423,696
建 設 利 息		18,920,581	17,159,395	1,761,186
合 計		58,923,686	55,738,804	3,184,882
財 源 内 訳	国 庫 補 助 金	12,123,336	11,668,895	454,441
	企 業 債	42,580,000	40,349,000	2,231,000
	出 資 金	3,806,000	3,308,000	498,000
	そ の 他	414,350	412,909	1,441
	合 計	58,923,686	55,738,804	3,184,882

● ダム建設費等負担割合

〔 漆沢ダム 工期 昭和 43～55 年度 事業費 166.5 億円
南川ダム 工期 昭和 48～62 年度 事業費 210.0 億円 〕

(単位:%)

区 分	漆 沢 ダ ム		南 川 ダ ム	
	建 設 費	管 理 費	建 設 費	管 理 費
上 水 道	14.5	14.0	20.7	20.7
上 水 道 (松 島 町)	0.2	0.2	-	-
工 業 用 水	11	10.7	-	-
公 共 電	74.1	71.8	79.3	79.3
発 電	0.2	3.3	-	-
計	100.0	100.0	100.0	100.0

③ 施設の概要

系統別 施設区分	漆沢系	南川系
貯水施設	漆沢ダム[宮城県] 目 的 洪水調節、流水の正常な機能維持、発電 型 式 中央コア型ロックフィルダム 湛水面積 0.83 km² 総貯水量 18,000,000 m³ 本事業取水分 上水道 88,500 m³/日 工業用水 60,000 m³/日	南川ダム[宮城県] 目 的 洪水調節、流水の正常な機能維持 型 式 重力式コンクリートダム 湛水面積 0.9 km² 総貯水量 10,000,000 m³ 本事業取水分 上水道 40,000 m³/日
取水施設	取水堰 L=40.0m H=3.3m 固定部 L=30.0m 可動部 L=3.0m×2 門 取水口 2 門 土砂吐ゲート、管理橋 管理室、電気計装設備一式	取水堰[可動堰] L=20.0m L=2.1m 洪水吐ゲート 1 門、水位調節ゲート 2 門 水道用取水ゲート 2 門 管理橋、電気計装設備一式
導水施設	導水トンネル等 2 坑 L=4,313m 沈砂池 2 池 導水管 φ 900mm～φ 1,350mm L=4,345m 水管橋 2 橋 L=151m 管理室、電気計装設備一式	沈砂池 2 池 ポンプ井 1 井 立軸斜流ポンプ 3 台(4 台) 導水管 φ 700mm L=1,758m ポンプ棟、動力・電気計装設備一式 管理棟、活性炭注入設備 水管橋 1 橋
浄水施設	着水井 1 井 活性炭接触池 1 池 混和池 2 池 フロック形成池 4 池 薬品沈殿池 4 池 急速ろ過池 8 池 第一調整池 RC 造 2 池 管理本館 RC 地下 1 階、地上 3 階建 造 延床面積 3,646 m² 外 薬品注入設備一式 外 排水処理施設一式	着水井 1 井 混和池 2 池 フロック形成池 2 池 薬品沈殿池 2 池 急速ろ過池 4 池(6 池) 浄水池 RC 造 2 池 調整池 1 池 管理棟 RC 造 地下 1 階、地上 2 階建 薬品注入設備一式 外 排水処理施設一式 外
送水施設	第二調整池 PC 造 1 池 送水管敷設 φ 100mm～φ 1,350mm L=99,806m 増圧ポンプ設備 水管橋 17 橋[うち添架 2] 電気設備、遠方監視制御設備 テレメータ室 外	送水管敷設 φ 200mm～φ 600mm L=25,871m 水管橋 8 橋[うち添架 1] 電気設備、遠方監視制御設備 テレメータ室 外

()内は最終事業計画

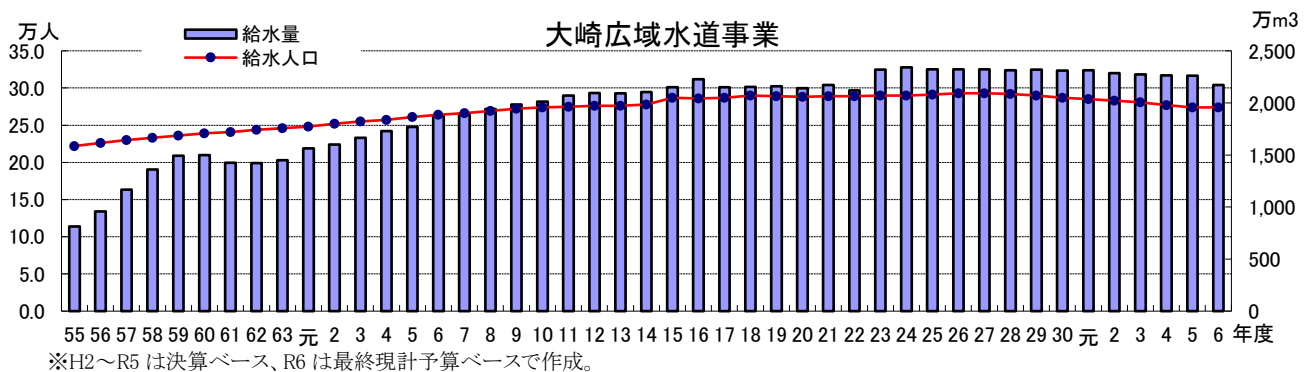
④ 経営の状況

● 給水量等

年 度		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
A 施 設 能 力	m ³ /日	101,150	101,150	101,150	101,150	101,150
B 契 約 水 量	m ³ /日	74,150	74,000	73,850	74,350	72,900
C 責 任 水 量	m ³ /日	59,320	59,200	59,080	59,480	58,320
D 取 水 量	m ³ /年	23,897,466	24,560,143	23,954,278	—	—
E 給 水 量	m ³ /年	22,776,890	22,692,453	22,619,750	21,707,800	21,293,760
F 1 日平均給水量	m ³	62,402	62,171	61,805	59,473	58,339
G 1 日最大給水量	m ³	(3/20)69,045	(1/27)67,734	(8/24)67,797	—	—
H 有 効 水 量	m ³ /年	22,724,544	22,668,761	22,620,505	—	—
I 1 日平均有効水量	m ³	62,259	62,106	61,805	—	—
J 無 効 水 量	m ³ /年	52,346	23,692	755	—	—
K 有 収 水 量	m ³ /年	22,720,606	22,654,001	22,619,750	21,707,800	21,293,760
L 1 日平均有収水量	m ³	62,248	62,066	61,803	59,473	58,339
M 動 力 費	千 円	57,952	8,146	0	0	0
N 薬 品 費	千 円	47,671	12	44	65	78
O 資 本 費	千 円	1,400,137	1,305,992	1,226,682	1,232,761	1,456,163

※R3～R5 は決算額(消費税抜き)、R6 は最終現計予算額(消費税込み)、R7 は当初予算額(消費税込み)で作成。R4 からみやぎ型管理運営方式導入。
契約水量、責任水量は受水市町村との覚書ベース。資本費は、減価償却費、企業債等支払利息(一時借入金利息を除く。)及び企業債取扱諸費等の合計額。

■ 給水人口及び給水量(有収水量)の推移(各年度3月末日現在)



● 料金等

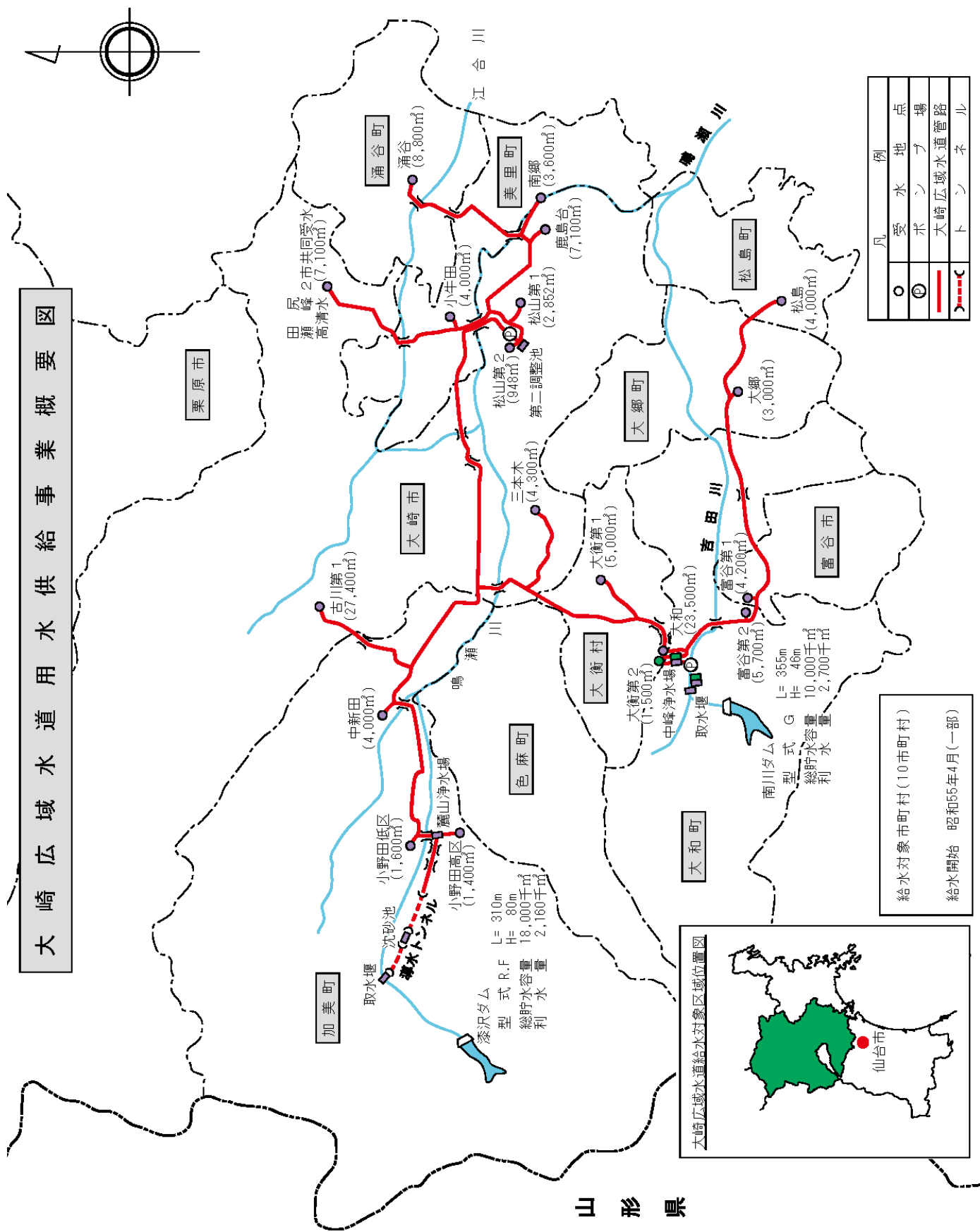
年 度		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
基 本 料 金	円/m ³ /月	496.00			485.00	
使 用 料 金	円/m ³	91.00			89.00	
供 給 単 価 (V/K)	円/m ³	122.53	60.33	59.95	64.07	63.37
給 水 原 価 (W/K)	円/m ³	110.43	77.41	84.40	114.82	110.46
資 本 費 (O/K)	円/m ³	61.62	57.65	54.23	56.79	68.38

※R3～R5 は決算額(消費税抜き)、R6 は最終現計予算額(消費税込み)、R7 は当初予算額(消費税込み)で作成。R4 からみやぎ型管理運営方式導入。

● 収支状況

年 度		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
収 入	営業収益(除受託)	千円	2,786,878	1,375,407	1,366,691	1,477,976
	Vうち料金収入	千円	2,783,925	1,366,641	1,356,106	1,390,849
	営業外収益	千円	249,961	183,351	176,492	382,472
	特別利益	千円	2,092	82,315	48,757	0
	計(除受託)	千円	3,038,931	1,641,073	1,591,940	1,860,448
支 出	営業費用	千円	2,441,929	1,753,768	1,866,144	2,302,386
	営業外費用	千円	67,231	58,399	43,031	190,104
	特別損失	千円	20,087	242,405	36,601	0
	W経常費用(除受託)	千円	2,509,129	1,753,699	1,909,167	2,492,490
	計(除受託)	千円	2,529,217	1,996,104	1,945,768	2,493,990
当年度純利益(除受託)		千円	509,715	△355,031	△353,828	△633,542
						△495,131

※R3～R5 は決算額(消費税抜き)で作成し、受託分は除いている。R6 は最終現計予算額(消費税込み)、R7 は当初予算額(消費税込み)で作成。
R4 からみやぎ型管理運営方式導入。



(2) 仙南・仙塩広域水道事業

① 事業の概要

本事業は、七ヶ宿ダムを水源とし、仙南及び仙塩地域の 17 市町に対して一日最大 553,300 m³の水道用水を供給するものです。

昭和 52 年度から建設工事に着手し、平成元年度までに一日最大 150,000 m³の取水に対応する第一期工事が完了。平成 2 年度からは一部（15 市町）給水を開始し、平成 4 年度からは 17 市町全てに給水しています。

また、平成 2 年度から着手した第二期工事が平成 5 年度に完了し、平成 6 年 4 月からはダム取水系の計画給水量である一日最大 279,000 m³の給水が可能となっています。

● 令和7年度の業務予定量

給水市町村数	8 市 9 町
年間総給水量	707,733,600 m ³
一日平均給水量	193,900 m ³

● 計画取水量と計画給水量(一日最大)

	計画取水量	計画給水量	取水
ダム取水	300,000 m ³	279,000 m ³	七ヶ宿ダム直接
河道取水(白石川)	295,000 m ³	274,300 m ³	白石川表流水
計	595,000 m ³	553,300 m ³	

● 受水市町村及び給水量(最終給水量)

(単位: m³/日)

市 町 名	給 水 量	市 町 名	給 水 量
白 石 市	24,700	仙 台 市	331,900
角 田 市	21,200	塩 竈 市	11,500
岩 沼 市	21,800	名 取 市	20,700
蔵 王 町	4,500	多 賀 城 市	21,000
大 河 原 町	8,200	富 谷 市	11,500
村 田 町	7,400	松 島 町	5,700
柴 田 町	20,300	七 ヶ 浜 町	10,900
亘 理 町	14,300	利 府 町	12,200
山 元 町	5,500		
仙 南 計	127,900	仙 塩 計	425,400
		合 計	553,300

● 給 水 計 画

ダム取水	平成 2 年 4 月(一部給水開始)	139,500 m ³ /日
	平成 6 年 4 月	279,000 m ³ /日
河道取水	水需要により対応(第三期工事)	139,500 m ³ /日
	水需要により対応(第四期工事)	134,800 m ³ /日

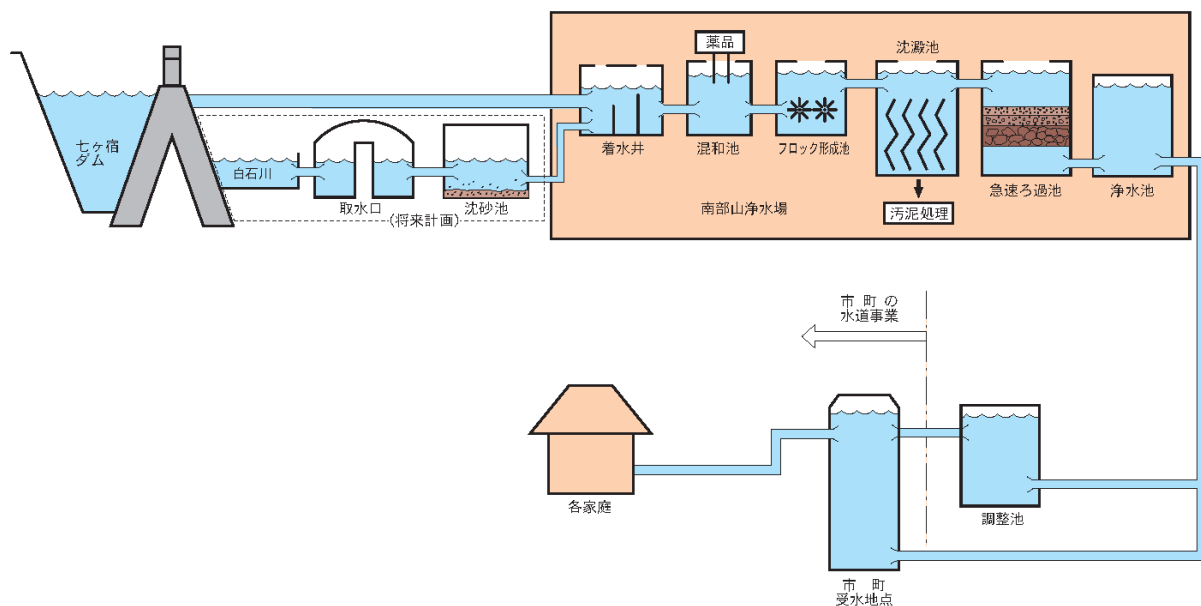
● 計画目標年次 未定

● 計画給水人口 1,931 千人

● 工 期

第一期工事(ダム系)	昭 和 52 年 度 ～ 平 成 元 年
第二期工事(ダム系)	平 成 2 年 度 ～ 平 成 5 年
第三期工事(河道系)	水需要により対応
第四期工事(河道系)	水需要により対応

■ 仙南・仙塩広域水道用水供給事業のしくみ



② 事 業 費

(単位:千円)

区 分	全 体 計 画	第二期工事まで	第三期工事以降
貯 水 施 設(ダム負担金)	60,387,962	60,387,962	
広 域 化 施 設	第 一 期 工 事	113,627,437	
	第 二 期 工 事	4,422,187	
	第 三 期 工 事	16,897,601	14,918,831
	第 四 期 工 事	5,188,743	5,188,743
	計	140,135,968	20,107,574
建 設 利 息 等	110,395,811	108,002,546	2,393,265
合 計	310,919,741	288,418,902	22,500,839
財 源 内 訳	国 庫 補 助 金	66,404,061	6,567,446
	企 業 債	212,865,000	9,225,000
	出 資 金	31,427,000	6,706,000
	そ の 他	223,680	2,393
	合 計	310,919,741	22,500,839

● 七ヶ宿ダム建設負担割合(工期 昭和 48～平成 3 年度 事業費 1,266.8 億円)

(単位: %)

区 分	建 設 費	管 理 費
上 水 道	47.7	47.7
工 業 用 水	4.5	4.5
公 共	47.8	47.8
計	100.0	100.0

③ 施設の概要

施設区分	概要		
貯水施設	七ヶ宿ダム[国土交通省] 目 的 洪水調節、流水の正常な機能維持、都市用水、河川維持 型 式 中央コア型ロックフィルダム 湛 水 面 積 4.1 km ² 総 貯 水 量 109,000,000 m ³ 本事業取水分 595,000 m ³ ／日		
取水施設	ダム直接取水	河道取水	
	取水塔 独立型シリンダーゲート式 H=48.5m シリンダー直径=1.2～2.2m 取水管 φ=1,200mm 管理橋 W=2.0m L=68.0m 取水管路 φ=1,200mm L=815m	可動堰 堰全長 80.5m 堰 高 3.6m 可動堰 3 スパン 取水管 φ=1,800mm L=825m 取水口 RC 造 沈砂池 RC 造 4 池	
導水施設	導水トンネル R=0.9 幌形[φ 1,800mm] L=11,135m 水管橋 3 橋 水路橋 1 橋 総延長 11,703m	導水管 φ 1,500mm L=2,400m ポンプ 横軸両吸込渦巻ポンプ 2,200KW 5 台 ポンプ棟 電気計装設備一式	
浄水施設	着水井 1 井(2 井) 薬品混和池 2 池(4 池) フロック形成池 4 池(8 池) 傾斜板式横流沈殿池 4 池(8 池) 重力式急速ろ過池 20 池(40 池) 管 理 本 館 RC 造 地下 1 階、地上 3 階建 延床面積 5,326 m ² 塩素混和池 2 池 浄水池 2 池		
送水施設	高区系[4 市 5 町]	高区・低区送水連絡管	低区系[4 市 4 町]
	調整池 RC 造 2 池 送水管 φ 2,400mm～φ 150mm L=123,409m 水管橋 24 橋 電気設備、遠方監視制御設備 テレメータ室 外	調整池 RC 造 2 池 送水管 φ 1,000mm～φ 800mm L=13,075m 水管橋 5 橋 電気設備、遠方監視制御設備 テレメータ室 外	調整池 RC 造 2 池 送水管 φ 1,200mm～φ 150mm L=77,060m 水管橋 13 橋 電気設備、遠方監視制御設備 テレメータ室 外

()内は最終事業計画

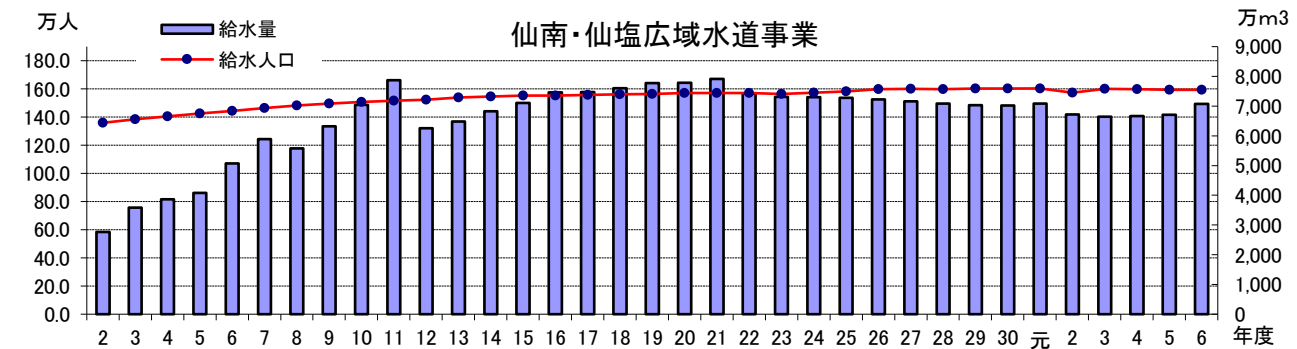
④ 経営の状況

● 給水量等

年 度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
A 施 設 能 力 $\text{m}^3/\text{日}$	279,000	279,000	279,000	279,000	279,000
B 契 約 水 量 $\text{m}^3/\text{日}$	221,400	221,100	220,300	222,900	242,700
C 責 任 水 量 $\text{m}^3/\text{日}$	177,120	176,880	176,240	178,320	194,160
D 取 水 量 $\text{m}^3/\text{年}$	67,290,090	68,222,270	68,353,770	—	—
E 給 水 量 $\text{m}^3/\text{年}$	66,448,660	66,902,284	67,047,772	65,074,320	70,773,360
F 1 日平均給水量 m^3	182,051	183,279	183,191	178,286	193,900
G 1 日最大給水量 m^3	(1/25)204,390	(1/28)227,726	(12/5)206,006	—	—
H 有 効 水 量 $\text{m}^3/\text{年}$	66,448,184	66,896,712	67,037,224	—	—
I 1 日平均有効水量 m^3	182,050	183,279	183,162	—	—
J 無 効 水 量 $\text{m}^3/\text{年}$	476	5,572	10,548	—	—
K 有 収 水 量 $\text{m}^3/\text{年}$	66,440,298	66,663,160	67,115,775	65,074,320	70,773,360
L 1 日平均有収水量 m^3	182,028	182,639	183,376	178,286	193,900
M 動 力 費 千 円	46,242	3,710	74	176	16
N 薬 品 費 千 円	57,732	32	105	187	191
O 資 本 費 千 円	6,033,960	6,063,394	6,021,029	6,246,656	6,370,883

※R3～R5 は決算額(消費税抜き)、R6 は最終現計予算額(消費税込み)、R7 は当初予算額(消費税込み)で作成。R4 からみやぎ型管理運営方式導入。
契約水量、責任水量は受水市町村との覚書ベース。資本費は、減価償却費、企業債等支払利息(一時借入金利息を除く。)及び企業債取扱諸費等の合計額。

■ 給水人口及び給水量(有収水量)の推移(各年度3月末日現在)



※ H2～R5 は決算ベース、R6 は最終現計予算ベースで作成。

● 料金等

年 度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
基 本 料 金 $\text{円}/\text{m}^3/\text{月}$	817.00			799.00	
使 用 料 金 $\text{円}/\text{m}^3$	42.00			41.00	
供 給 単 価 (V/K) $\text{円}/\text{m}^3$	123.96	101.33	100.62	110.09	104.84
給 水 原 価 (W/K) $\text{円}/\text{m}^3$	118.92	109.11	107.89	126.87	117.90
資 本 費 (O/K) $\text{円}/\text{m}^3$	90.82	90.96	89.71	95.99	90.02

※R3～R5 は決算額(消費税抜き)、R6 は最終現計予算額(消費税込み)、R7 は当初予算額(消費税込み)で作成。R4 からみやぎ型管理運営方式導入。

● 収支状況

年 度			R 3	R 4	R 5	R6	R7
収 入	営業収益(除受託)	千円	8,235,775	6,770,679	6,770,883	7,201,224	7,631,782
	V うち 料 金 収 入	千円	8,235,775	6,755,179	6,753,291	7,164,296	7,420,056
	営 業 外 収 益	千円	1,092,543	1,067,604	1,067,413	1,060,850	1,077,880
	特 別 利 益	千円	48,405	47,395	44,575	780	253,233
	計(除受託)	千円	9,376,723	7,885,677	7,882,871	8,262,854	8,962,895
支 出	営 業 費 用	千円	7,510,116	6,969,840	6,984,616	7,489,674	7,605,343
	営 業 外 費 用	千円	394,723	326,757	256,570	766,037	738,922
	特 別 損 失	千円	228,894	36,135	40,347	421,709	253,233
	W 経常費用(除受託)	千円	7,901,357	7,273,875	7,241,186	8,255,711	8,344,265
	計(除受託)	千円	8,130,251	7,310,010	7,281,533	8,683,420	8,603,498
当年度純利益(除受託)		千円	1,246,471	575,667	601,338	△ 420,566	359,397

※R3～R5 は決算額(消費税抜き)で作成し、受託分は除いている。R6 は最終現計予算額(消費税込み)、R7 は当初予算額(消費税込み)で作成。

R4 からみやぎ型管理運営方式導入。



⑤ 再生可能エネルギーの導入

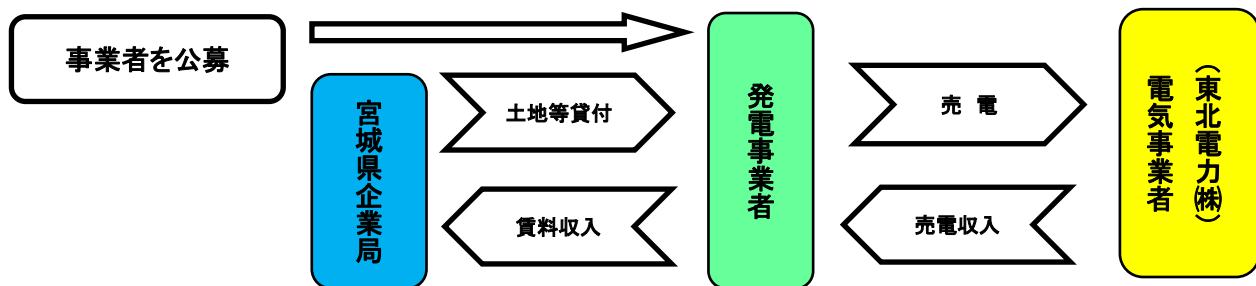
● 事業の概要

本県では、平成 24 年 6 月に「※みやぎ再生可能エネルギー導入推進指針」を策定し、東日本大震災からの復興に向け、再生可能エネルギーを活用した施策を実施し、「環境と経済の両立する宮城の実現」を目指すこととしています。

この推進プロジェクトの一つとして、「再生可能エネルギー大規模導入プロジェクト」を掲げており、企業局では、県有地や水道施設において民間活力を活用した太陽光発電及び小水力発電事業を実施し、再生可能エネルギー導入の推進を図っています。

※平成 26 年 3 月「自然エネルギー等の導入促進及び省エネルギーの促進に関する基本的な計画」に統合

● 事業のスキーム



● 白石太陽光発電所

- ・事業主体 東北電力(株)
- ・土地概要 面積 16,887 m² 河道系沈砂池用地(白石市福岡)
- ・発電出力 1,145kW
- ・発電電力量 123 万 kWh/年(一般家庭約 350 世帯の年間使用電力量に相当)
- ・年間賃借料 4,086,654 円
- ・事業費 約 3 億 5,000 万円
- ・太陽光パネル 6,940 枚
- ・工事着工 平成 25 年 7 月 9 日
- ・運転開始 平成 25 年 12 月 18 日



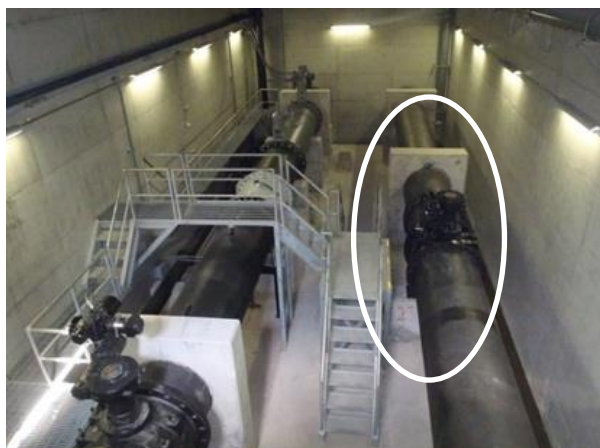
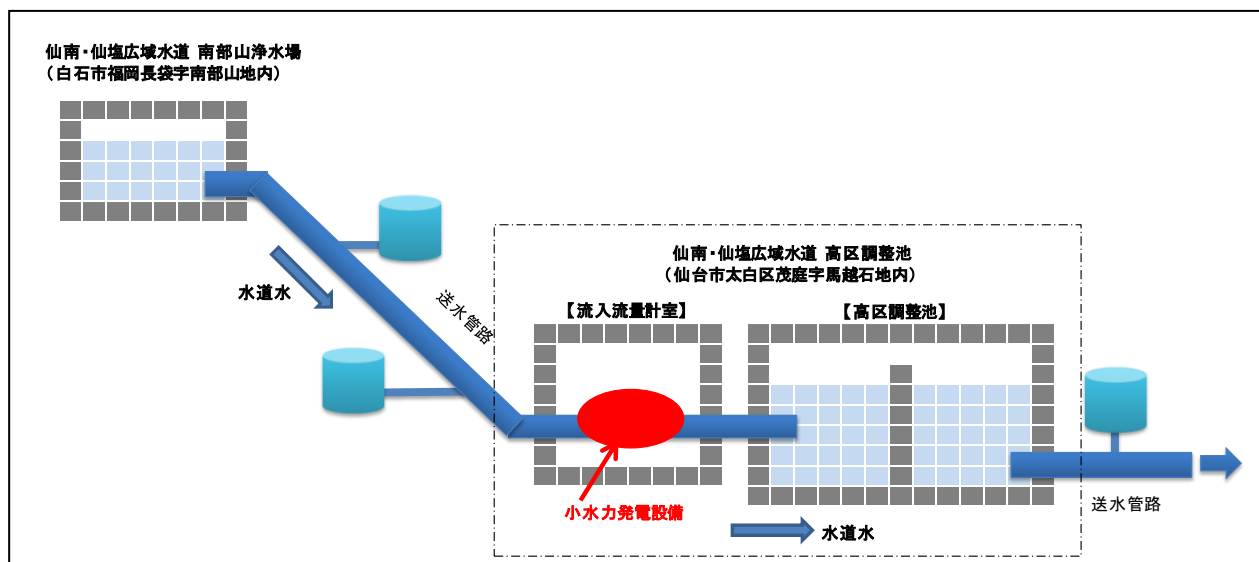
施工前



施工後

● 馬越石水力発電所

- ・事業主体 (株)アクアパワー東北
- ・事業場所 仙南・仙塩広域水道 高区調整池(仙台市太白区茂庭)
- ・発電出力 250kW
- ・発電電力量 186 万 kWh/年(一般家庭約 550 世帯の年間使用電力量に相当)
- ・年間賃借料、施設利用料 約 330 万円(過去 3 か年平均)
- ・事業費 約 2 億 5,000 万円
- ・年間売電 約 5,400 万円(186 万×29円=5,394 万円)
- ・使用水量 平均水量:0.86m³/s(約 74,300m³/日)(年平均)
最大水量:1.25m³/s(約 108,000m³/日)
- ・有効落差 最大 25.80m
- ・総落差 28.10m(南部山浄水場浄水池 200.10m、高区調整池 172.00m)
- ・工事着工 平成 26 年 1 月 24 日
- ・運転開始 平成 26 年 8 月 1 日



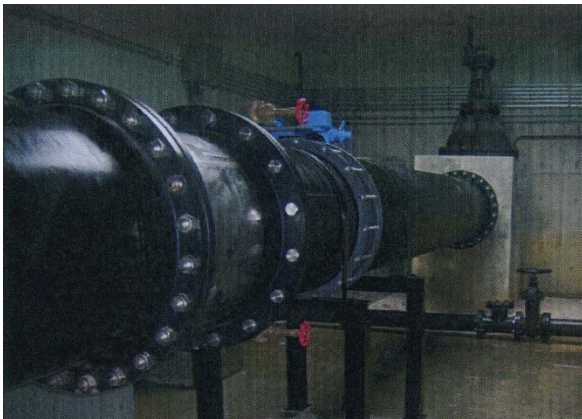
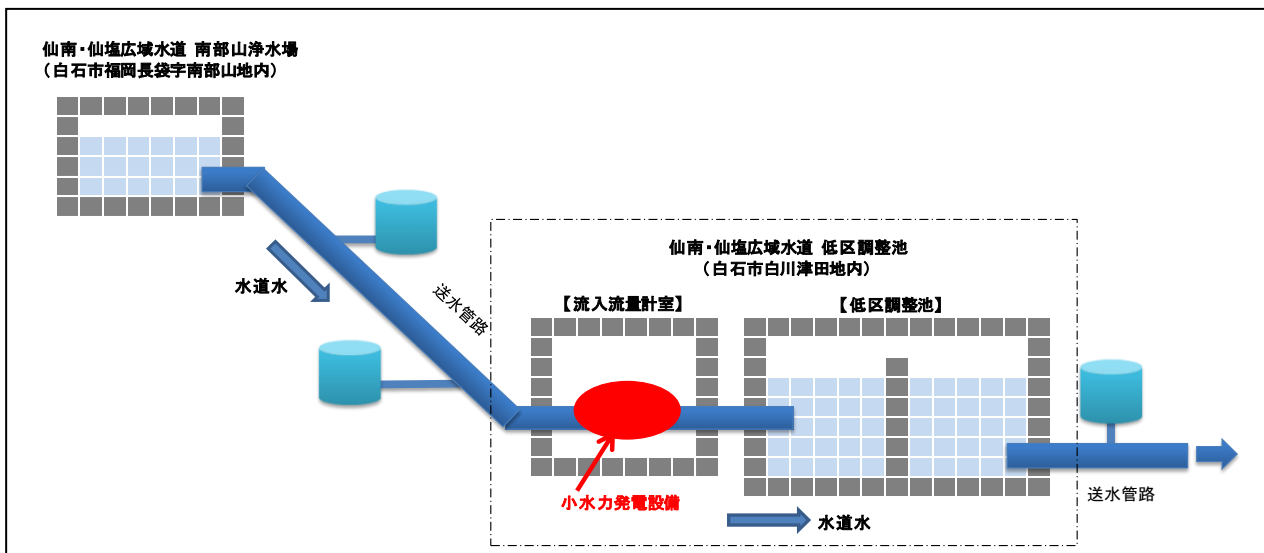
施工前



施工後

● 宮城県白石発電所

- ・事業主体 三峰川電力(株)
- ・事業場所 仙南・仙塩広域水道 低区調整池(白石市白川津田)
- ・発電出力 90kW
- ・発電電力量 66 万 kWh/年(一般家庭約 200 世帯の年間使用電力量に相当)
- ・年間賃借料、施設利用料 約 180 万円(過去 3 か年平均)
- ・事業費 約 1 億 500 万円
- ・年間売電 約 2,200 万円(66 万×34円=2,244 万円)
- ・使用水量 平均水量:0.44m³/s(約 37,800m³/日)(年平均)
最大水量:0.48m³/s(約 41,000m³/日)
- ・有効落差 最大 27.90m
- ・総落差 34.10m(南部山浄水場浄水池 200.10m、低区調整池 166.00m)
- ・工事着工 平成 29 年 11 月 28 日
- ・運転開始 平成 30 年 4 月 9 日



● 仙南・仙塩広域水道用水供給事業 南部山浄水場小水力発電事業

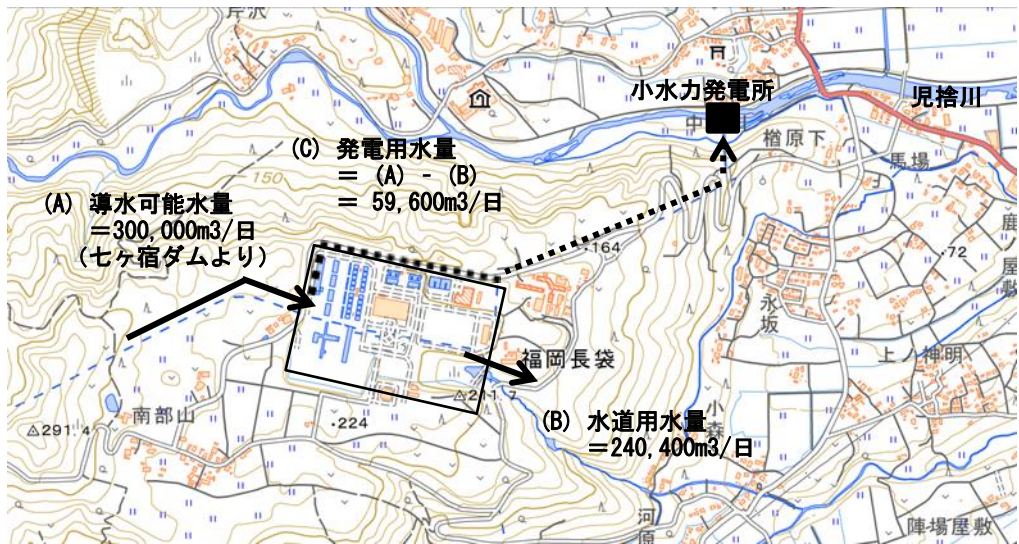
・事業概要

水道用水供給事業においては、高度成長期に策定された計画水量と現在の実供給水量の乖離が懸案となっており、乖離は、人口減少社会や節水型社会の進展により、今後、拡大することが想定されます。

そのため、南部山浄水場において、この計画水量と実供給水量の差である「未利用水」を活用した小水力発電を行います。

- ・事業主体 企業局
- ・全体事業費 約15億円(県のカーボンニュートラル施策により一般会計から繰入予定)
- ・事業期間 設計・工事 令和5年度から令和8年度(予定)
- ・事業開始 令和9年度から(予定)
- ・年間発電量 611万kWh／年(発電出力 735kW)(予定)

・イメージ図



・事業スケジュール (予定)

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	
詳細検討	↔						
関係機関協議	←	→	→	→			
用地測量・買収		←	→	→			
公募・選定		↔					
設計・工事		←	→	→	→		
事業開始						●	

2 工業用水道事業

本県が実施する工業用水道は、仙塩地域工業開発の基盤整備の一環として建設した「仙塩工業用水道」、主として新産業都市 仙台湾地区 の拠点となる仙台港背後地の工業開発のために建設した「仙台圏工業用水道」、それに本県の内陸工業開発最大のプロジェクトとして建設された仙台北部中核工業団地等の内陸型工業団地へ供給するための「仙台北部工業用水道」があります。

なお、3工業用水道事業においては、水道事業を取り巻く厳しい経営状況を改善するため、令和4年4月から公共施設等運営権(コンセッション)方式により、民間事業者が運営を行う「宮城県上地下水一体官民連携運営事業(みやぎ型管理運営方式)」を実施しています。

(1) 仙塩工業用水道事業

① 事業の概要

本事業は仙塩特定地域総合開発計画の一環として、昭和 32 年度から昭和 38 年度までの 7 年間で建設されたもので、昭和 36 年 11 月から仙塩地区へ給水を開始しており、給水能力は一日最大 100,000 m³です。

昭和 39 年、仙塩地区を含む仙台湾地区が新産業都市に指定され、昭和 46 年の仙台港の開港等により工業導入も急速に進展し、本工業用水道はそれら地域開発に大きく寄与してきました。

また、地盤沈下現象が顕著である仙台市苦竹地区等においては、地下水に代わる水源としての大きな役割を果たしています。

本工業用水道は建設後相当の期間が経過し、配水管等施設の老朽化が著しくなったことから、昭和 49 年度から昭和 63 年度までの 15 年間で改築工事を実施しています。また、平成元年度から建設を進めてきた仙台市泉地区及び富谷市成田地区への給水区域の拡張工事は平成 5 年度に終了し、平成 6 年 4 月 1 日より給水を開始しています。

● 令和7年度の業務予定量(4月1日現在)

給 水 事 業 所 数	42 社
年 間 総 給 水 量	9,982,750 m ³
一 日 平 均 給 水 量	27,350 m ³

● 水 源

一級河川名取川水系大倉川(大倉ダム)

● 取 水

広瀬川四ツ谷堰(仙台市青葉区折立郷六)大倉ダム放流水 一日最大 100,000 m³

● 給水能力及び水質等

給 水 能 力	一日最大 100,000 m ³	
水 質 等	濁 度	10 度以下
	水 素 イ オン 濃 度	PH6.0~8.0

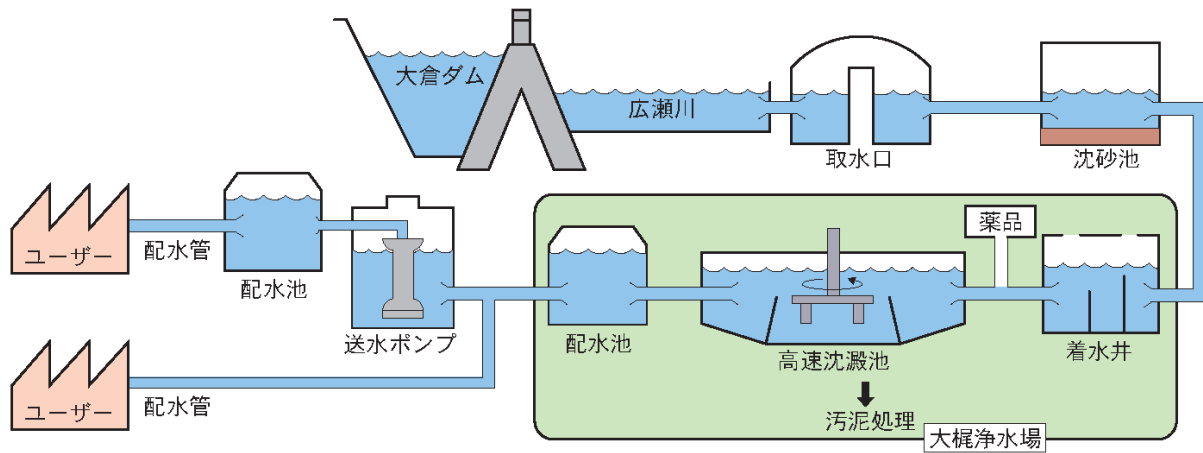
● 給水区域

仙台市、塩竈市、多賀城市、富谷市、七ヶ浜町、利府町、大和町

● 工期及び給水開始

当初建設	着工	昭和 32 年度
	完成	昭和 38 年度
給水開始	一部給水	昭和 36 年 11 月
	全部給水	昭和 39 年 4 月
拡張工事	仙台港背後地	昭和 45 年度
	塩釜市水産加工団地	昭和 45 年度～46 年度
改築工事		昭和 49 年度～63 年度
拡張工事	泉・富谷地区	平成 元 年 度～ 5 年 度

■ 仙塩工業用水道のしくみ



② 事業費

(単位: 千円)

区 分		事 業 費				計
		当 初 建 設	拡 張 工 事	改 築 工 事	拡 張 工 事	
				(昭和 49～63 年度)	(平成元～5 年度)	
取水・導水・浄水工事費		421,204	-	2,793,012	66,671	3,280,887
配 水 工 事 費		608,323	390,478	3,907,586	5,608,877	10,515,264
用 地 補 償 費		24,296	480	336,397	200,178	561,351
そ の 他		36,177	23,042	672,494	697,131	1,428,844
計		1,090,000	414,000	7,709,489	6,572,857	15,786,346
財 源 内 訳	国庫補助金	138,000	-	1,250,800	1,917,829	3,306,629
	企 業 債	935,000	414,000	6,299,697	1,618,000	9,266,697
	そ の 他	17,000	-	158,992	3,037,028	3,213,020
	計	1,090,000	414,000	7,709,489	6,572,857	15,786,346

● 大倉ダム建設費負担割合(工期 昭和 32～36 年 事業費 2,762,000 千円)

区 分	建設費負担割合	管理費負担割合
工 業 用 水	5.6 %	5.6 %
公 共	64.2 %	63.1 %
上 水 道	29.4 %	30.5 %
発 電	0.8 %	0.8 %
計	100.0 %	100.0 %

③ 施設の概要

項 目	概 要
貯水施設	大倉ダム[宮城県] 目 的 洪水調整、かんがい、発電 上 水 道[135,000 m ³ /日] 工業用水道[100,000 m ³ /日] 型 式 ダブルアーチ 湛水面積 1.67 km ² 総貯水量 28,000,000 m ³
取水施設	取水口、自動除じん機
導水施設	導水路延長 隧道、暗渠等 8,762m 導水連絡管 (φ700mm～φ1,000mm)5,287m
浄水施設	着 水 井 1 井 接合分水井 1 井 高速沈殿池 4 池 計量室 1 式 中央操作室 1 棟 電気計装施設 1 式
送水施設	配 水 池 大楯配水池 2 池(1 池容量 2,000 m ³) 富谷配水池 2 池(1 池容量 1,000 m ³) 配水管延長 φ100mm～φ1,350mm 71,306m 水管橋 13 橋 配水連絡管 φ500mm 626m 送 水 ポンプ 横軸片吸込多段渦巻ポンプ 220kW 4 台

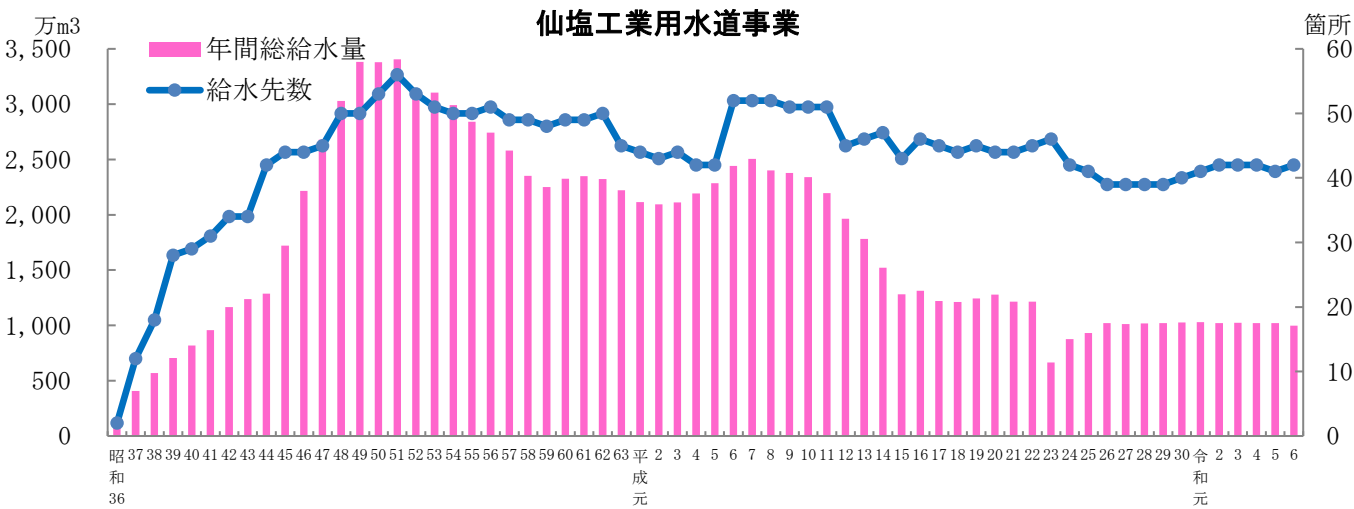
④ 経営の状況

● 給水状況

年度 区分	H27	H28	H29	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R6
契約水量(m ³ /日)	27,640	27,890	27,890	27,990	28,030	27,930	27,830	27,680	27,400	27,400
契約事業所数(箇所)	39	39	39	40	41	42	42	42	41	42

※各年度末現在

■ 年間総給水量及び給水先数(各年度3月末日現在)



※ S36～R5 は決算ベース、R6 は最終現計予算ベースで作成。

■ 契約水量及び事業所数(令和7年4月1日現在)

業 種	契約水量(㎥／日)	事業所数
石油製品製造業	9,600	1
電気業	7,000	2
電気機械器具製造業	2,170	5
食料品製造業	2,090	7
非鉄金属製造業	1,560	1
化学工業	630	2
金属製品製造業	300	2
輸送用機械器具製造業	100	1
印刷・同関連業	200	2
窯業・土石製品製造業	200	2
その他	3,500	17
計	27,350	42

● 料金(1 立方メートル当たり)

区 分	S36 年 11 月 1 日	S45 年 4 月 1 日	S48 年 4 月 1 日	S50 年 4 月 1 日	S52 年 8 月 1 日	S56 年 8 月 1 日	S60 年 4 月 1 日
基本料金	3 円 50 銭	4 円 50 銭	6 円	9 円	13 円	19 円	28 円
超過料金	7 円	9 円	12 円	18 円	26 円	38 円	56 円
特定料金	3 円 50 銭	4 円 50 銭	-	-	-	-	-

区 分	H 元年 4 月 1 日	H4 年 4 月 1 日	H7 年 4 月 1 日	H9 年 4 月 1 日	H14 年 4 月 1 日	H26 年 4 月 1 日	R 元年 10 月 1 日
基本料金	28 円 28 円 84 銭	33 円 33 円 99 銭	36 円 37 円 08 銭	36 円 37 円 80 銭	54 円 56 円 70 銭	54 円 58 円 32 銭	54 円 59 円 40 銭
超過料金	56 円 57 円 68 銭	66 円 67 円 98 銭	72 円 74 円 16 銭	72 円 75 円 60 銭	108 円 113 円 40 銭	108 円 116 円 64 銭	108 円 118 円 80 銭

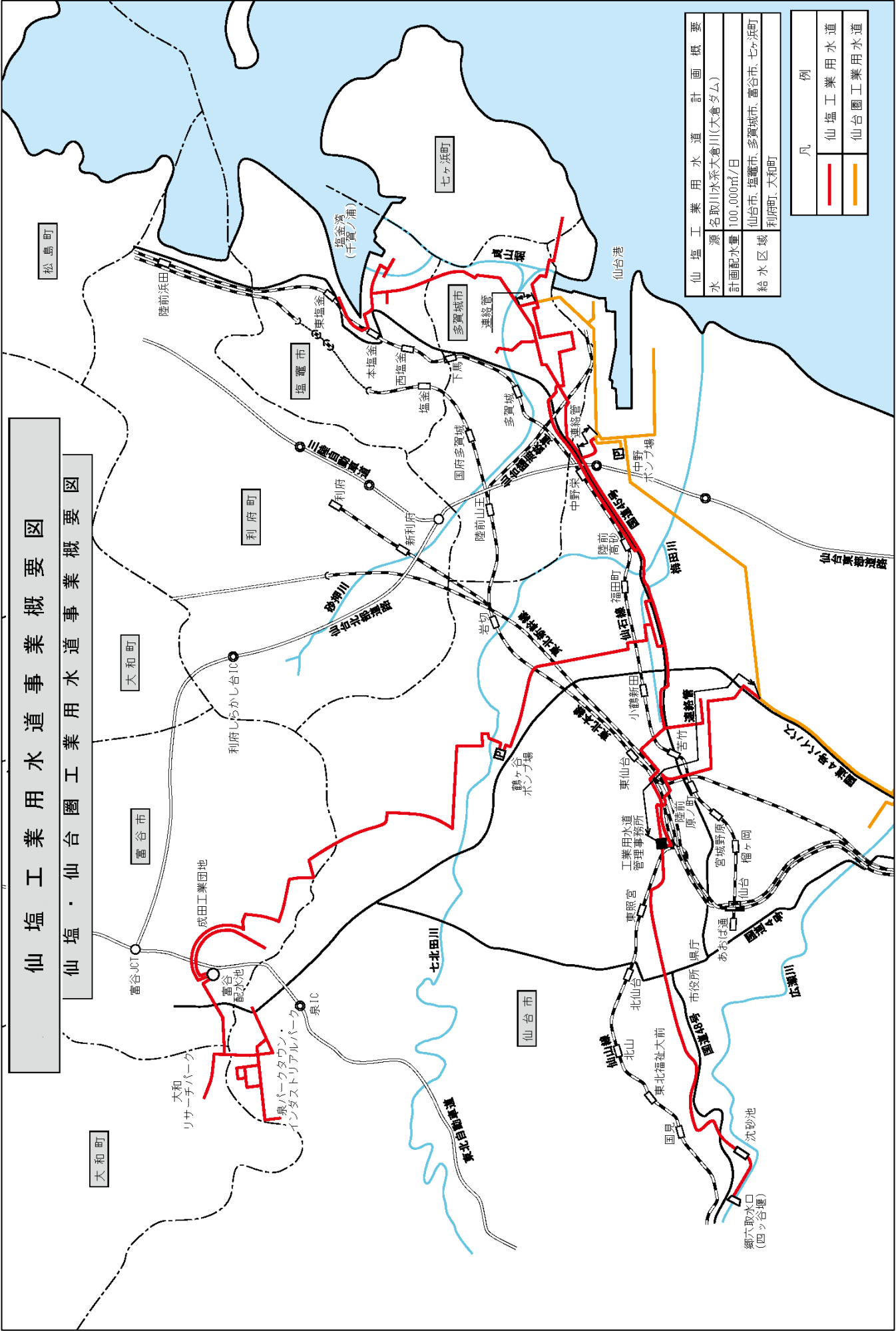
※H 元年4月以降は、上段:消費税抜き、下段:消費税込み

● 収支状況

(単位:千円)

年度 区分		R 3	R 4	R5	R6	R7
収 入	営 業 収 益 (除 受 託)	558,178	336,835	311,139	336,889	338,281
	営 業 外 収 益	158,317	149,700	147,694	138,045	147,937
	特 別 利 益	25,238	15	20	632	0
	計 (除 受 託)	741,733	486,550	458,852	475,566	486,218
支 出	営 業 費 用	609,515	449,376	453,421	565,555	600,309
	営 業 外 費 用	11,047	6,999	7,211	31,991	30,970
	特 別 損 失 等	39,474	46,590	0	2,797	0
	計 (除 受 託)	660,036	502,964	457,345	600,843	631,779
当年度純利益(除受託)		81,696	△16,415	1,507	△ 125,277	△ 145,561
当年度未処分利益剰余金		224,961	122,769	112,907	0	△ 126,885
供 給 単 価 (円 / ㎥)		54.49	32.83	32.77	33.10	32.80
給 水 原 価 (円 / ㎥)		60.61	44.73	45.07	59.35	63.23
資 本 費 (円 / ㎥)		34.93	35.48	34.43	33.92	34.49

※R3～R5 は決算額(消費税抜き)で作成し、受託分は除いている。R6 は最終現計予算額(消費税込み)、R7 は当初予算額(消費税込み)で作成。
R4 からみやぎ型管理運営方式導入。



(2) 仙台圏工業用水道事業

① 事業の概要

本事業は、仙台港背後地の工業開発により既設の仙塩工業用水道のみでは需要に応ずる余力がなくなることが見込まれたことから、新たに昭和 47 年度から昭和 51 年度までの 5 年間で建設したもので、昭和 51 年 10 月 1 日から給水を開始しています。

給水能力は一日最大 100,000 m³で、仙台港背後地に立地する石油精製、都市ガス、鉄鋼関連の企業等のほか、名取市、七ヶ浜町及び利府町の企業にも給水しています。

● 令和7年度の業務予定量(4月1日現在)

給水事業所数	16社
年間総給水量	14,837,250 m ³
一日平均給水量	40,650 m ³

● 水 源

一級河川名取川水系碁石川(釜房ダム)

● 取 水

名取川頭首工(名取市高館熊野堂)釜房ダム放流水 一日最大 100,000 m³

● 給水能力及び水質等

給水能力	一日最大 100,000 m ³
水 質	原水供給

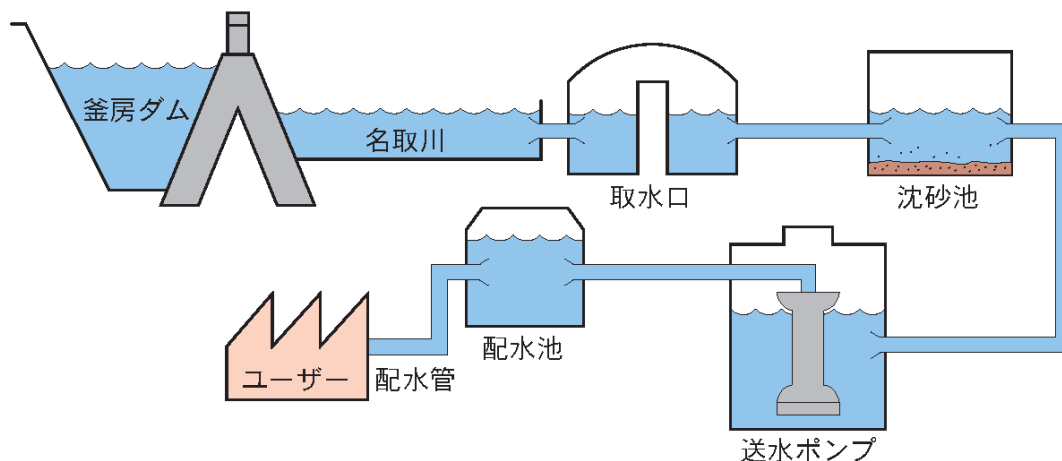
● 給水区域

仙台市、名取市、多賀城市、七ヶ浜町、利府町

● 工期及び給水開始

着 工	昭和 47 年度(ダム負担金は 42 年度から負担)
完 成	昭和 51 年度
給水開始	昭和 51 年 10 月

■ 仙台圏工業用水道のしくみ



② 事業費

(単位:千円)

区 分		全 体 事 業 費	摘 要
貯 水 工 事 費		566,260	S46 年度まで
取 水 ・ 送 水 工 事 費		1,093,773	S47～S51 年度
配 水 工 事 費		4,294,447	"
用 地 補 償 及 び 調 査 費		1,278,412	"
そ の 他		838,289	S42～S51 年度
計		8,071,181	
財 源 内 訳	国 庫 補 助 金	2,531,400	
	企 業 債	5,336,000	
	一 般 会 計 からの出資金等	200,403	
	そ の 他	3,378	
	計	8,071,181	

● 釜房ダム建設費等負担割合(工期 昭和 39～45 年 事業費 8,720,000 千円)

区 分	建設費負担割合	管理費負担割合
工 業 用 水	6.5 %	6.5 %
公 共	74.6 %	74.6 %
上 水 道 (仙 台 市)	18.8 %	18.8 %
発 電	0.1 %	0.1 %
計	100.0 %	100.0 %

③ 施設の概要

項 目	概 要																																									
貯水施設	釜房ダム[国土交通省] 目 的 洪水調整、かんがい、発電 上 水 道[200,000 m ³ ／日]、工業用水道[100,000 m ³ ／日] 型 式 重力式コンクリート 湛水面積 3.9 km ² 総貯水量 45,300,000 m ³																																									
取水施設	取水口[幅 3.00m×長 3.50m×高 2.50m] スクリーン 沈砂池 612 m ³ 2 池[走行式吸砂装置付]																																									
送水施設	送水ポンプ 立軸斜流ポンプ 355kW 3 台(うち予備 1 台) 自家発電機(停電予備用) 送 水 管 φ1,000mm 総延長 175m																																									
配水施設	配水池 2 池(1 池あたり 2,000 m ³) <table><tr><td>配水管</td><td>φ 150mm ～ φ 1,000mm</td><td>延長 29,417m</td></tr><tr><td>配水池～中 田</td><td>φ 1,100mm</td><td>4,712m</td></tr><tr><td>中 田～名 取</td><td>φ 350mm</td><td>1,826m</td></tr><tr><td>中 田～仙台港</td><td>φ 1,000mm</td><td>14,618m</td></tr><tr><td rowspan="4">内 {</td><td>名取川水管橋</td><td>543m</td></tr><tr><td>笹川水管橋</td><td>24m</td></tr><tr><td>広瀬川水管橋</td><td>304m</td></tr><tr><td>七北田川水管橋</td><td>156m</td></tr><tr><td rowspan="5">仙台港</td><td>φ 1,000mm</td><td>30m</td></tr><tr><td>φ 900mm</td><td>728m</td></tr><tr><td>φ 800mm</td><td>985m</td></tr><tr><td>φ 700mm</td><td>4,149m</td></tr><tr><td>φ 600mm</td><td>634m</td></tr><tr><td>若 林</td><td>φ 200mm～φ 350mm</td><td>796m</td></tr><tr><td>南小泉</td><td>φ 150mm</td><td>407m</td></tr><tr><td>仙塩・仙台圏の連絡管</td><td>φ 500mm</td><td>532m</td></tr></table>	配水管	φ 150mm ～ φ 1,000mm	延長 29,417m	配水池～中 田	φ 1,100mm	4,712m	中 田～名 取	φ 350mm	1,826m	中 田～仙台港	φ 1,000mm	14,618m	内 {	名取川水管橋	543m	笹川水管橋	24m	広瀬川水管橋	304m	七北田川水管橋	156m	仙台港	φ 1,000mm	30m	φ 900mm	728m	φ 800mm	985m	φ 700mm	4,149m	φ 600mm	634m	若 林	φ 200mm～φ 350mm	796m	南小泉	φ 150mm	407m	仙塩・仙台圏の連絡管	φ 500mm	532m
配水管	φ 150mm ～ φ 1,000mm	延長 29,417m																																								
配水池～中 田	φ 1,100mm	4,712m																																								
中 田～名 取	φ 350mm	1,826m																																								
中 田～仙台港	φ 1,000mm	14,618m																																								
内 {	名取川水管橋	543m																																								
	笹川水管橋	24m																																								
	広瀬川水管橋	304m																																								
	七北田川水管橋	156m																																								
仙台港	φ 1,000mm	30m																																								
	φ 900mm	728m																																								
	φ 800mm	985m																																								
	φ 700mm	4,149m																																								
	φ 600mm	634m																																								
若 林	φ 200mm～φ 350mm	796m																																								
南小泉	φ 150mm	407m																																								
仙塩・仙台圏の連絡管	φ 500mm	532m																																								

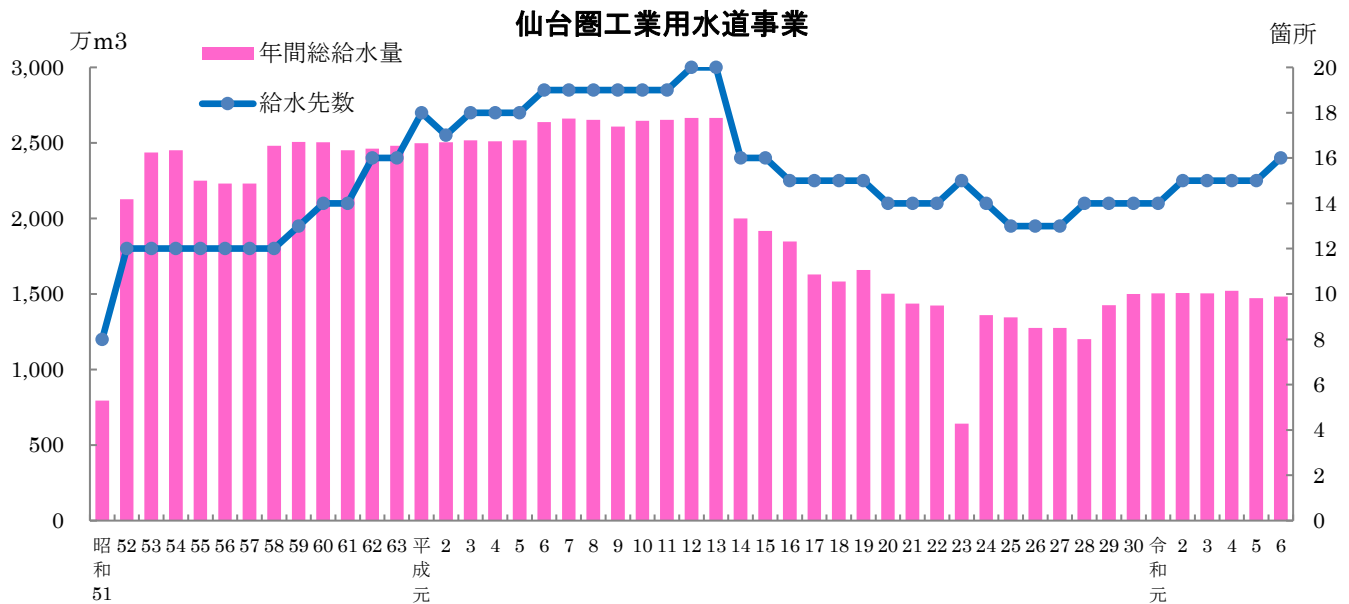
④ 経営の状況

● 給水状況

年度	H27	H28	H29	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R6
区分										
契約水量(㎥／日)	34,860	33,310	40,990	40,990	40,990	41,950	41,050	42,050	39,850	40,550
契約事業所数(箇所)	13	14	14	14	14	15	15	15	15	16

※各年度末現在

■ 年間総給水量及び給水先数(各年度3月末日現在)



※ S51～R5 は決算ベース、R6 は最終現計予算ベースで作成。

■ 契約水量及び事業所数(令和7年4月1日現在)

業 種	契約水量(㎥／日)	事業所数
石油製品製造業	14,400	1
飲料・たばこ・飼料製造業	7,100	2
鉄鋼業	7,000	1
食料品製造業	1,300	2
ガス業	500	1
化学工業	290	2
電気業	7,000	1
ゴム製品製造業	300	1
プラスチック製品製造業	100	1
その他	2,660	4
計	40,650	16

● 料金(1 立方メートル当たり)

区 分	S51 年 10 月 1 日	S58 年 4 月 1 日	H 元年 4 月 1 日	H9 年 4 月 1 日	H26 年 4 月 1 日	H29 年 4 月 1 日	R 元年 10 月 1 日
基本料金	17 円 —	23 円 —	23 円 23 円 69 銭	23 円 24 円 15 銭	23 円 24 円 84 銭	30 円 32 円 40 銭	30 円 33 円
超過料金	34 円 —	46 円 —	46 円 47 円 38 銭	46 円 48 円 30 銭	46 円 49 円 68 銭	60 円 64 円 80 銭	60 円 66 円

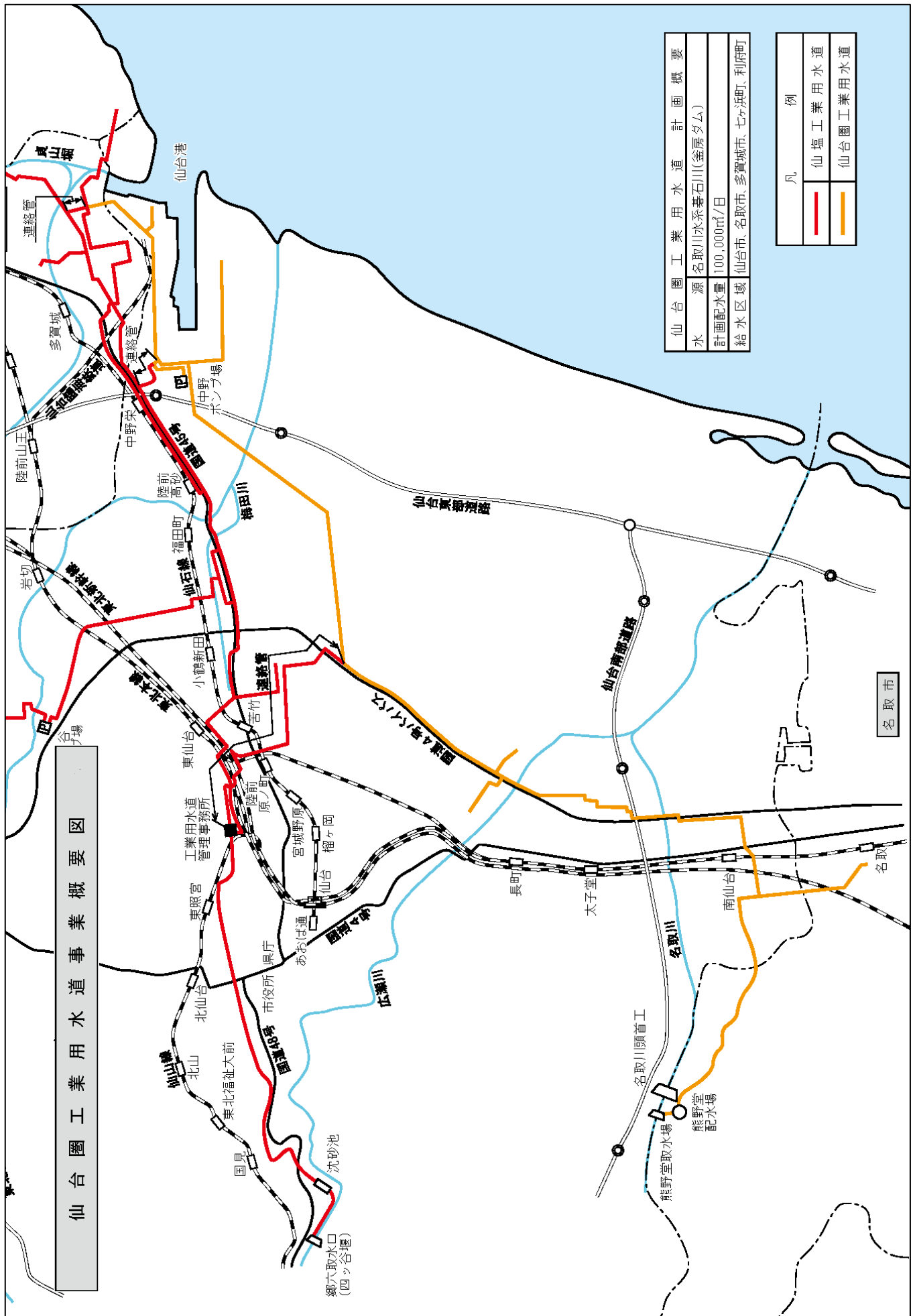
※H 元年 4 月以降は、上段:消費税抜き、下段:消費税込み

● 収支状況

(単位:千円)

年度 区分		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
収 入	営業収益(除受託)	463,583	334,567	307,766	340,378	382,374
	営業外収益	39,084	38,699	55,271	47,799	52,375
	特別利益	0	6,405	6	0	0
	計(除受託)	502,667	379,671	363,043	388,177	434,749
支 出	営業費用	346,207	249,441	294,482	342,841	352,020
	営業外費用	1,314	3,945	2,184	32,799	14,190
	特別損失等	8,164	6,266	0	32	0
	計(除受託)	355,685	259,652	296,666	376,172	366,710
当年度純利益(除受託)		146,982	120,019	66,377	12,005	68,039
当年度未処分利益剰余金		272,146	201,029	143,661	0	△6,977
供給単価(円 / m ³)		30.04	21.89	20.60	22.70	23.01
給水原価(円 / m ³)		23.12	16.67	20.14	25.51	22.38
資本費(円 / m ³)		7.64	7.50	10.07	9.70	9.31

※R3～R5 は決算額(消費税抜き)で作成し、受託分は除いている。R6 は最終現計予算額(消費税込み)、R7 は当初予算額(消費税込み)で作成。
R4 からみやぎ型管理運営方式導入。



(3) 仙台北部工業用水道事業

① 事業の概要

本事業は、黒川郡の大和町と大衡村にまたがる本県内陸最大のプロジェクトとして建設された仙台北部中核工業団地のほか、大崎市及び加美郡加美町における立地企業に対し一日最大 58,500 m³の工業用水を供給するものです。

昭和 50 年度に建設工事に着手し、大崎市三本木地区までの整備を昭和 54 年度までに完成、昭和 55 年 4 月から一部給水を開始しており、その後、先端技術産業の立地促進のため、大衡村衡東地区に浄水場（濁度 1 度以下に浄水）を建設、昭和 62 年 4 月から給水しています。

また、昭和 63 年度から一部分譲を開始した仙台北部中核工業団地内の配水管布設工事は平成 3 年度に終了し給水を開始しており、平成 4 年度から平成 14 年度にかけて、第二仙台北部中核工業団地に配水管を布設しています。

さらに、令和 3 年 5 月から麓山浄水場池内にて濁度低減処理施設の稼働を開始しており、高濁度時には施設内で濁度低減処理を行った水をユーザーへ配水しています。

● 令和 7 年度の業務予定量（4 月 1 日現在）

給水事業所数	16 社
年間総給水量	7,256,200 m ³
一日平均給水量	19,880 m ³

● 水 源

一級河川鳴瀬川水系鳴瀬川（漆沢ダム）

● 取 水

門沢取水堰（加美町門沢）漆沢ダム放流水 一日最大 60,000 m³

● 給水能力及び水質等

給水能力	一日最大 58,500 m ³
水 質	原水供給 53,500 m ³ /日

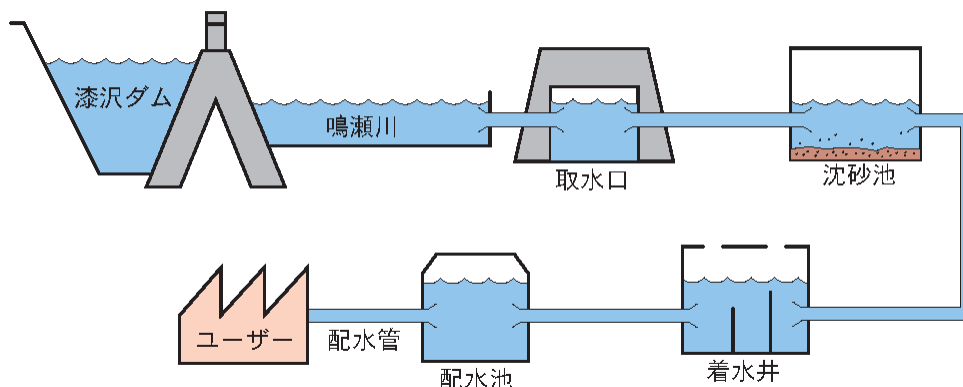
● 給水区域

大崎市、大和町、大衡村、加美町

● 工期及び給水開始

着 工	昭和 50 年度（ダム負担金は昭和 48 年度から負担）
完 成	平成 3 年度
給 水 開 始	一部給水 昭和 55 年 4 月
	全部給水 平成 4 年 4 月

■ 仙台北部工業用水道のしくみ



② 事業費

(単位:千円)

区 分		全 体 事 業 費
取 水 ・ 導 水 工 事 費		2,901,559
配 水 工 事 費		5,235,756
用 地 補 償 費		131,051
そ の 他		5,936,239
計		14,204,605
財源内訳	国 庫 補 助 金	2,631,406
	企 業 債	10,638,000
	そ の 他	935,199
	計	14,204,605

● 漆沢ダム建設費等負担割合

8ページ参照

③ 施設の概要

項 目	概 要			
貯水施設	漆沢ダム(大崎広域水道の水源内容と同じ)			
取水施設 〔大崎広域水道との共用〕	取 水 堰	長 40.0m×高 3.3m(固定部 長 30.0m・可動部 3.0m×2 門)		
	取 水 口	2 門 土砂吐ゲート、管理橋		
	管 理 室	電気計装設備一式		
送水施設 〔大崎広域水道との共用〕	導水トンネル等	2 坑	4,313m	
	沈 砂 池	2 池		
	導 水 管	φ 900mm～φ 1,350mm	4,345m	
	水 管 橋	2 橋	151m	
	管 理 室	電気計装設備一式		
浄水施設 〔麓山浄水場〕	混 和 池	1 池		
	フロック形成池	2 池		
	薬 品 沈 殿 池	2 池		
浄水施設 〔衡東浄水場〕	着 水 井	1 井	ろ 過 池	2 池
	フロック形 成 池	2 池	管 理 棟 (平 屋)	1 棟
	沈 殿 池	2 池	各 種 計 装 設 備	1 式
配水施設	配 水 池 (麓山)	1,215 m ³	2 池	
	配 水 管 φ 900mm	29,749m		
	内 〔掃出水管橋 204m 高田水管橋 274.6m〕			
	φ 700mm	518m		
	内 (高倉水管橋 300m)			
	φ 900mm	1,499m		
	φ 400mm	3,569m		
	φ 250mm～φ 400mm	142m	(衡東枝線)	
	φ 150mm～φ 600mm	8,714m	(仙台北部中核工業団地内)	
	φ 150mm～φ 250mm	954m	(枝線)	
	φ 100mm～φ 200mm	3,877m	(第二北部中核工業団地)	
	桔梗平配水池	920 m ³	1 池	

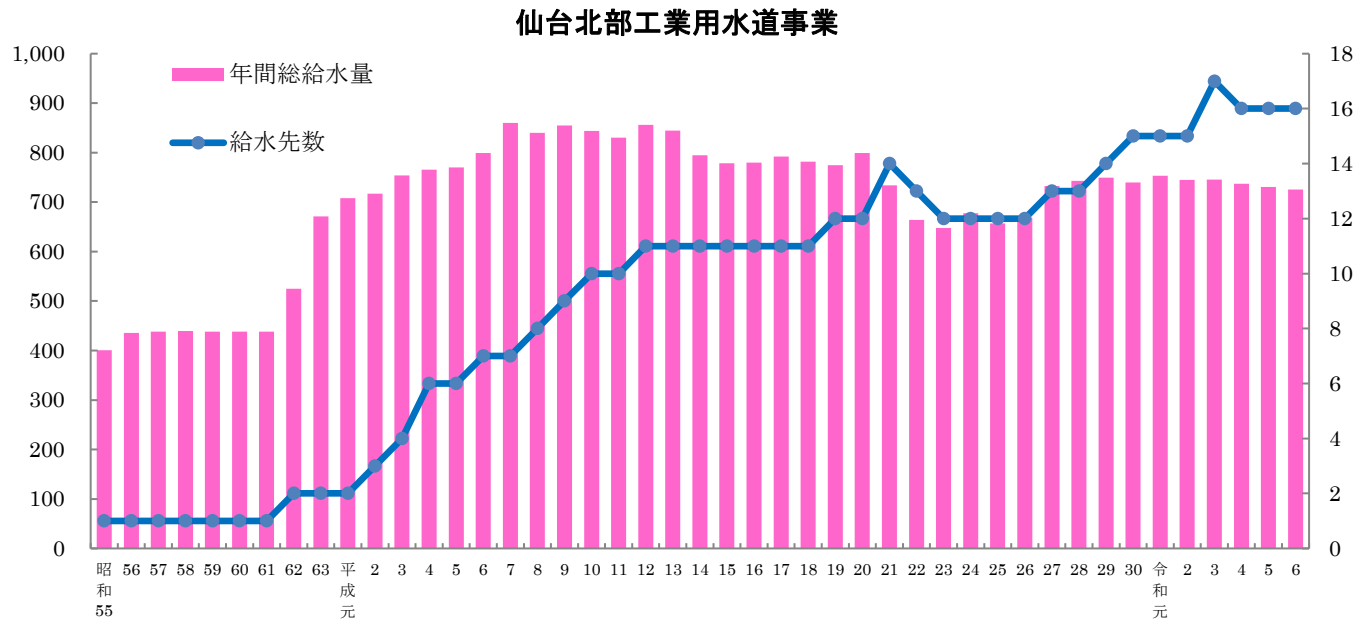
④ 経営の状況

● 給水状況

年度 区分	H27	H28	H29	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R6
契約水量(㎥／日)	20,260	20,360	20,360	20,560	20,530	20,280	20,480	19,880	19,880	19,880
契約事業所数(箇所)	14	14	14	15	15	15	17	16	16	16

※各年度末現在

■ 年間総給水量及び給水先数(各年度3月末日現在)



※ S55～R5 は決算ベース、R6 は最終現計予算ベースで作成。

■ 契約水量及び事業所数(令和7年4月1日現在)

業 種	契約水量(㎥／日)	事業所数
金属製品製造業	8,940	3
電気機械器具製造業	8,340	7
化学工業	100	1
食料品製造業	1,250	2
輸送用機械器具製造業	1,050	2
非鉄金属製造業	200	1
計	19,880	16

● 料金(1 立方メートル当たり)

区 分	S55 年 4 月 1 日	H 元年 4 月 1 日	H5 年 4 月 1 日	H8 年 4 月 1 日	H9 年 4 月 1 日	H13 年 4 月 1 日	H26 年 4 月 1 日
基本料金	36 円	36 円 37 円 8 銭	43 円 44 円 29 銭	50 円 51 円 50 銭	50 円 52 円 50 銭	59 円 61 円 95 銭	59 円 63 円 72 銭
超過料金	72 円	72 円 74 円 16 銭	86 円 88 円 58 銭	100 円 103 円	100 円 105 円	118 円 123 円 90 銭	118 円 127 円 44 銭

区 分	R 元年 10 月 1 日
基本料金	59 円 64 円 90 銭
超過料金	118 円 129 円 80 銭

※H 元年4月以降は、上段:消費税抜き、下段:消費税込み

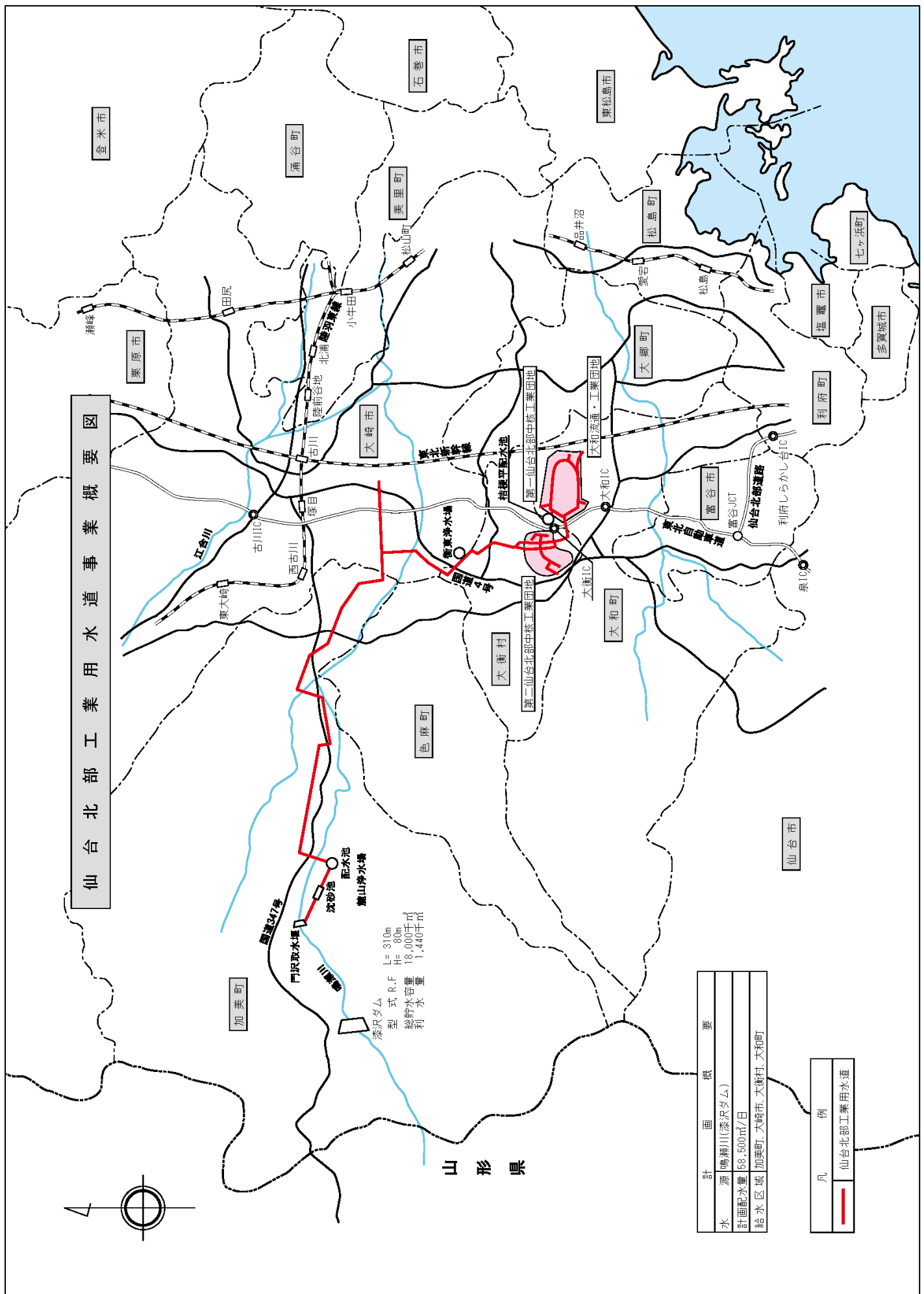
● 収支状況

(単位:千円)

年度 区分		R 3	R 4	R 5	R6	R7
収 入	営業収益(除受託)	446,840	391,197	384,156	419,908	421,530
	営業外収益	92,529	99,140	113,197	114,949	100,038
	特別利益	4,743	105,541	3,556	234	0
	計(除受託)	544,113	595,878	500,909	535,091	521,568
支 出	営業費用	454,810	431,912	424,017	604,091	810,432
	営業外費用	4,201	2,523	4,400	29,823	8,393
	特別損失等	12,027	108,095	3,054	959	0
	計(除受託)	471,038	542,531	431,472	635,173	819,125
当年度純利益(除受託)		73,075	53,347	69,437	△ 100,082	△ 297,557
当年度未処分利益剰余金		△112,291	△58,944	10,493	0	△88,228
供給単価(円 / m ³)		59.93	52.89	52.38	57.36	57.06
給水原価(円 / m ³)		61.56	58.96	58.64	86.99	112.49
資本費(円 / m ³)		40.61	43.90	44.18	44.48	45.42

※R3～R5は決算額(消費税抜き)で作成し、受託分は除いている。R6は最終現計予算額(消費税込み)、R7は当初予算額(消費税込み)で作成。

R4からみやぎ型管理運営方式導入。



3 地域整備事業

(1) 事業の概要

本事業は、仙台港国際ビジネスサポートセンター（以下「アクセル」という。）の建設計画の推進を契機として、平成9年度に新たに創設したもので、地域振興に資する施設の建設や活力ある県土づくりの核となる地域開発、所有資産の有効かつ効率的な運用等により、地域整備の促進と県土の均衡ある発展を図り、もって県民の福祉の増進に寄与することを目的としています。

(2) 事業内容

① 地域整備事業

アクセル等地域振興に資する施設の建設や、所有資産を有効かつ効率的に運用することにより、地域整備の促進を図り、もって地域住民の福祉の向上に寄与しようとするものです。

② 新分野開発調査

新たな県民ニーズに的確に応え、住民福祉の向上に寄与するため、地方公営企業としての事業化の可能性について調査・研究を行うものです。

③ 長期貸付事業

所有資産の有効活用を図るとともに、地域整備に資する事業の金利負担の軽減を図り、事業の円滑な実施と企業経営の安定に寄与するものです。

(3) 令和7年度の主な事業

① アクセル施設管理運営事業

アクセルは、仙台港の国際貿易における港湾業務機能の支援と賑わいの創出による交流機能の集積を図ることを目的に、FAZ（輸入促進）事業を担う株式会社仙台港貿易促進センターとの共同施工により建築し、平成12年3月18日に開業しました。

東日本大震災での地震・津波により施設は甚大な被害を受け、震災以降1階及び2階部分のホール及びラボ等の営業を廃止し、平成26年7月、みやぎ産業交流センター（夢メッセみやぎ）西館（経済商工観光部所管）として再開しました。

企業局が管理運営する3階から5階のオフィス部分については、15者（令和7年4月1日現在）が入居しており、引き続き港湾業務機能を支援する施設として入居率の向上に努めるとともに、適切な維持管理を行いながら更なる経営改善を図っていきます。

なお、アクセルは、仙台市の津波避難施設（平成28年度指定）として、本地域の防災拠点の機能も担っています。

建物概要



所在地	仙台市宮城野区港三丁目1番3号
敷地面積	26,076 m ² （約7,887坪）
延床面積	10,750 m ² （約3,252坪）
構造	地上5階、鉄骨鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）
建設年度	平成9年度～平成11年度
駐車場台数	513台
施設	1階 展示場、ホール、会議室 2階 研修室、会議室 【1・2階は、みやぎ産業交流センター（夢メッセみやぎ西館）として経済商工観光部所管部分】
	3階～5階 賃貸オフィス、会議室 【企業局所管部分】

② 仙台港周辺地域賑わい創出推進事業

仙台港の開港以来常に当地域の発展に関わってきた企業局として、仙台港周辺地域の立地企業や関係機関と連携して積極的に賑わいの創出に向けた事業を推進しています。

平成29年4月12日に官民連携組織である仙台港周辺地域賑わい創出コンソーシアムが設立され、主催イベントの実施や、仙台港周辺地域のまちづくりに関する検討などの活動支援を行っています。

【みなとオアシス仙台港ウォーク】



ウォーキングを通じ、仙台港周辺地域の自然や、商業、工業地域などの景色をゆっくりと楽しみながら歩いてもらい、地域の魅力を発見してもらうことを目的に開催。

【みなとオアシス仙台港 PR 看板の多言語化】



令和3年度にJR中野栄駅自由通路内に設置した仙台港周辺地域のPR看板の情報を更新するとともに、増加するインバウンド対応のため英語、繁体字に多言語化。

③ 仙台港周辺地域土地活用事業

仙台港周辺地域の土地を商業施設や流通業務施設等を用途とする事業者に対して貸付を行っています。

貸付用途別	貸付面積	備考
商業施設	122,169.02㎡	三井アウトレットパーク 仙台港及びカインズ仙台港店に貸付
流通業務施設	14,699.28㎡	流通事業者等7者に貸付
計	136,868.30㎡	



④ 他会計に対する長期貸付事業

令和7年3月31日現在

貸付先別会計	貸付額	償還済額	償還残額
水道用水供給事業会計	3,007,000,000円	3,007,000,000円	0円
大崎広域水道事業	907,000,000円	907,000,000円	0円
仙南・仙塩広域水道事業	2,100,000,000円	2,100,000,000円	0円
工業用水道事業会計	5,395,200,000円	5,395,200,000円	0円
仙塩工業用水道事業	2,005,700,000円	2,005,700,000円	0円
仙台圏工業用水道事業	231,000,000円	231,000,000円	0円
仙台北部工業用水道事業	2,266,500,000円	2,266,500,000円	0円
仙南工業用水道事業	892,000,000円	892,000,000円	0円
流域下水道事業会計	1,210,000,000円	1,210,000,000円	0円
仙塩流域下水道事業	172,344,000円	172,344,000円	0円
阿武隈川下流流域下水道事業	172,943,000円	172,943,000円	0円
鳴瀬川流域下水道事業	172,942,000円	172,942,000円	0円
吉田川流域下水道事業	172,943,000円	172,943,000円	0円
北上川下流流域下水道事業	172,943,000円	172,943,000円	0円
北上川下流東部流域下水道事業	172,942,000円	172,942,000円	0円
迫川流域下水道事業	172,943,000円	172,943,000円	0円
計	9,612,200,000円	9,612,200,000円	0円

4 流域下水道事業

下水道は、良好な都市環境の形成と公衆衛生の向上に寄与するとともに、河川等の公共用水域の水質保全に重要な役割を有する住民生活に不可欠なライフラインです。

そのうち、流域下水道事業は、2以上の市町村の公共下水道からの汚水を受け、広域的かつ効果的に汚水进行处理するため、都道府県が主体となって管理運営するものです。

本県が実施する流域下水道事業は、「仙塩流域下水道」、「阿武隈川下流流域下水道」、「鳴瀬川流域下水道」、「吉田川流域下水道」、「北上川下流流域下水道」、「北上川下流東部流域下水道」、「迫川流域下水道」の7流域になります。

なお、「仙塩流域下水道」、「阿武隈川下流流域下水道」、「鳴瀬川流域下水道」、「吉田川流域下水道」の4流域下水道事業においては、水道事業を取り巻く厳しい経営状況を改善するため、令和4年4月から公共施設等運営権(コンセッション)方式により民間事業者が運営を行う「宮城県上工下水一体官民連携運営事業(みやぎ型管理運営方式)」を実施しています。

(1) 仙塩流域下水道事業

① 事業の概要

本事業は、松島湾、七北田川の公共用水域の水質保全を目的として、仙塩中央地区 3 市 2 町(仙台市・塩竈市・多賀城市・七ヶ浜町・利府町)から流入する汚水进行处理するものです。

昭和 45 年の下水道法の改正による流域下水道の法制化後、昭和 47 年に東北地方初の流域下水道として事業着手し、昭和 53 年に一部供用を開始しました。現在の管渠は 26.2km が整備され、令和5年度末の処理区域人口は 314.7 千人、下水道処理人口普及率は 99.4%に達しています。

● 令和7年の業務予定量

関連市町村数	3市2町
年間処理汚水量	40,726,000 m ³
日平均処理汚水量	111,578 m ³

● 仙塩流域計画一覧表(令和6年3月31日現在)

	全体計画	事業計画	現況
行政面積	13,983ha		
処理面積	8,956.20ha	8,418.0ha	7,491.7ha
処理人口	308,337人	321,076人	314,734人
処理能力	222,000 m ³ /日	222,000 m ³ /日	222,000 m ³ /日
系列数	4	4	4
管渠延長	26,246m	26,240m	26,240m
ポンプ場	1箇所	1箇所	1箇所
計画目標年度	令和17年度	令和7年度	-

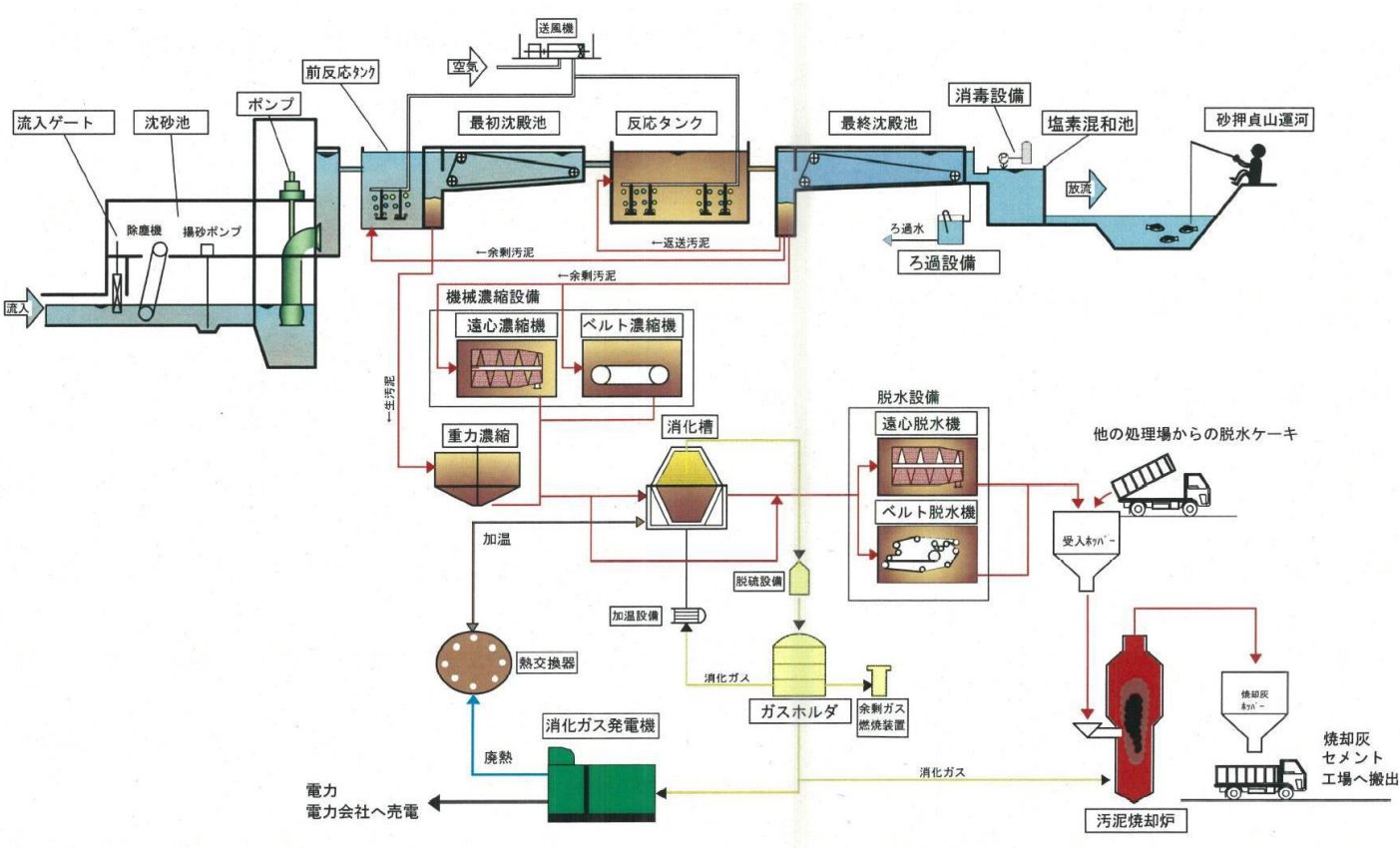
● 関連市町日平均汚水流入量(令和5年実績) (単位: m³/日)

市町村名	汚水量	市町村名	汚水量
仙台市	52,381	七ヶ浜町	5,073
塩竈市	20,437	利府町	9,672
多賀城市	19,193	合計	106,756

● 沿革及び認可関係(令和6年3月31日現在)

事業着手年度	昭和47年度
供用開始年月日	昭和53年6月1日
当初認可取得年月日	昭和48年3月28日
最終変更認可年月日	令和2年12月21日
認可完了予定年月日	令和8年3月31日

■ 仙塩浄化センター処理フロー



② 事業費

(単位:千円)

区 分		令和5年度まで
建設改良費	国庫補助金	46,676,847
	起 債	11,855,400
	他会計繰入金	1,800,963
	市町分担金	13,297,516
	そ の 他	0
	合 計	73,630,726

③ 施設の概要

施設名	仙塩流域下水道事業	
	仙塩浄化センター	
水処理施設	管理棟	1 棟
	沈砂池ポンプ棟	1 棟
	送風機棟	1 棟
	旧塩素滅菌棟	1 棟
	電気センター	1 棟
	自家発電機装置	2 基
	沈砂池	264.1 m ³ (2 池)
	前反応タンク	2,268 m ³ ×2 系
		900 m ³ ×2 系
	最初沈殿池	13,963 m ³
	反応タンク	64,127 m ³
	最終沈殿池	29,183 m ³
	消毒棟	1 棟
	塩素混和池	3,480 m ³
汚泥処理施設	汚泥濃縮タンク	3 槽
	汚泥濃縮機棟	1 棟
	汚泥消化タンク	5 槽
	ガスタンク	2 台
	汚泥脱水機	3 台
	汚泥焼却施設	1 棟
ポンプ場	塩釜中継ポンプ場	

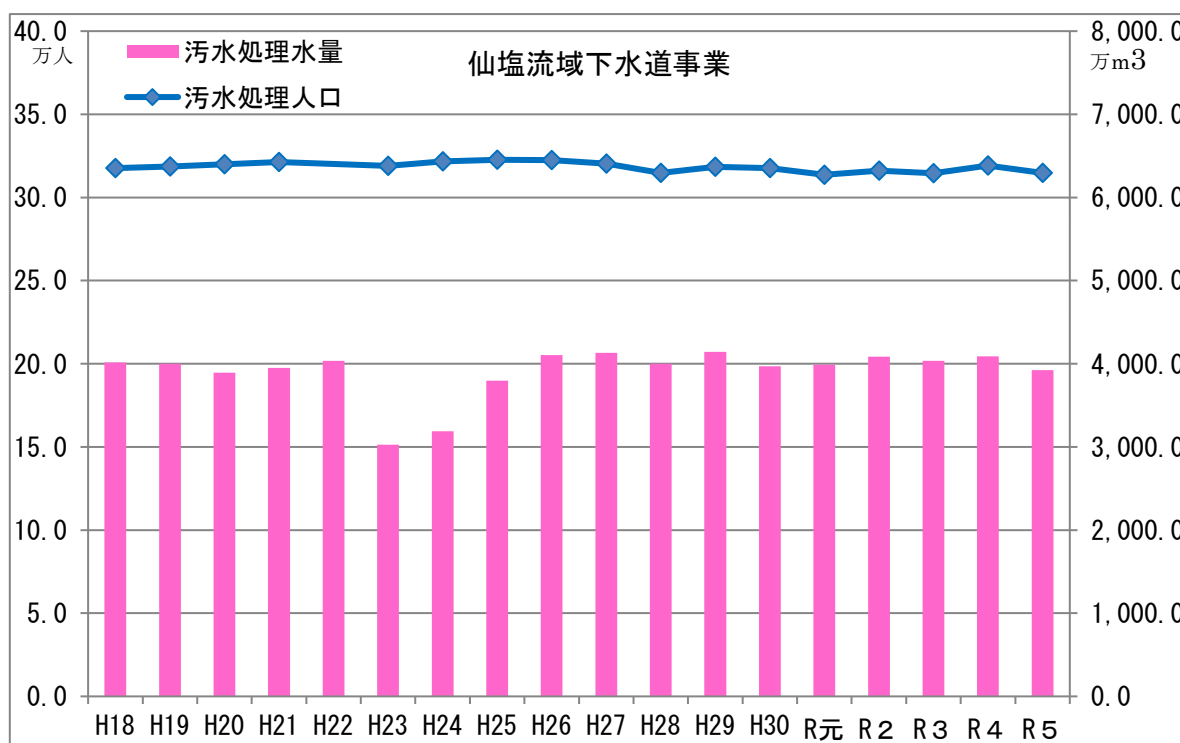
④ 経営の状況

● 処理量等

年 度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
A 施 設 能 力 $\text{m}^3/\text{日}$	222,000	222,000	222,000	222,000	222,000
B 処 理 人 口 人	314,600	313,199	314,734	集計中	—
C 処 理 水 量 $\text{m}^3/\text{年}$	40,335,103	40,471,713	38,965,922	39,689,746	40,726,000
D 有 収 水 量 $\text{m}^3/\text{年}$	40,335,103	40,471,713	38,965,922	39,689,746	40,726,000
E 1 日平均処理量 m^3	111,507	110,881	106,756	108,442	111,578
F 1 日最大処理量 m^3	222,000	222,000	222,000	222,000	222,000
G 管 渠 費 千 円	24,436	46,348	27,007	32,263	35,079
H ポ ン プ 場 費 千 円	95,910	0	0	0	0
I 処 理 場 費 千 円	1,707,400	787	253	446	2,432

※ 消費税を含む。R3～R5は決算ベース、R6は最終現計予算ベース、R7は当初予算ベースで作成。

■ 処理人口(各年度3月末日現在)及び処理水量(有効水量)(1月から12月までの1年間)の推移



※ H22 は東日本大震災による数値のため欠測。

● 料金等

年 度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
負 担 金 千円	1,605,337	474,099	16,875	247,351	139,799
負 担 金 単 価 $\text{円}/\text{m}^3$	39.8	39.8	39.8	44.8	38.6

※ 消費税を含む。R3～R5は決算ベース、R6は最終現計予算ベース、R7は当初予算ベースで作成。

※ R4からは、みやぎ型管理運営方式導入のため、負担金には利用料金を含まず、単価には利用料金分を含んでいる。

※ R7からは、負担金単価は税抜表示になる。

● 収支状況

年 度		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
収入	営 業 収 益 千円	1,605,337	481,099	23,875	254,351	146,799
	うち料 金 収 入 千円	1,605,337	474,099	16,875	247,351	139,799
	営 業 外 収 益 千円	2,237,999	2,006,558	2,027,550	1,591,343	1,967,212
	特 別 収 益 千円	29,536	276,171	498	34,909	73,557
	計 千円	3,872,872	2,763,828	2,051,923	1,880,603	2,187,568
支出	営 業 費 用 千円	3,806,051	1,988,065	1,851,296	1,670,494	2,010,405
	営 業 外 費 用 千円	34,284	45,698	42,748	104,825	107,987
	特 別 損 失 千円	74,768	429,556	43,202	46,053	97,957
	総 費 用 千円	3,915,103	2,463,319	1,937,246	1,827,372	2,222,349
	計 千円	3,915,103	2,463,319	1,937,246	1,827,372	2,222,349
当 年 度 純 利 益 千円		△42,231	300,509	114,677	53,231	△34,781

※ 消費税を含む。R3～R5は決算ベース、R6は最終現計予算ベース、R7は当初予算ベースで作成。

※ R4からは、みやぎ型管理運営方式導入のため、営業収益及び料金収入には利用料金は含んでいない。

● 汚泥焼却炉

・事業概要

仙塩流域下水道の下水処理(約12万m³/日(令和5年度平均))において発生する脱水ケーキの量は、約60t/日であり、昭和53年の供用開始当初は、そのほとんどを埋立処分していましたが、事業の進展に伴い汚泥発生量の増加が見込まれたことから、仙塩浄化センターと大和浄化センターを対象とし、平成8年度から仙塩浄化センター汚泥焼却施設の運転を開始しました。

平成21年度からは、県南、鹿島台、石巻及び石巻東部の各浄化センターの汚泥の受入れも開始しました。

平成23年3月の東日本大震災では、当該施設も大きく被災しましたが、迅速な復旧に取り組み、平成24年12月に復旧工事が完了し現在に至ります。

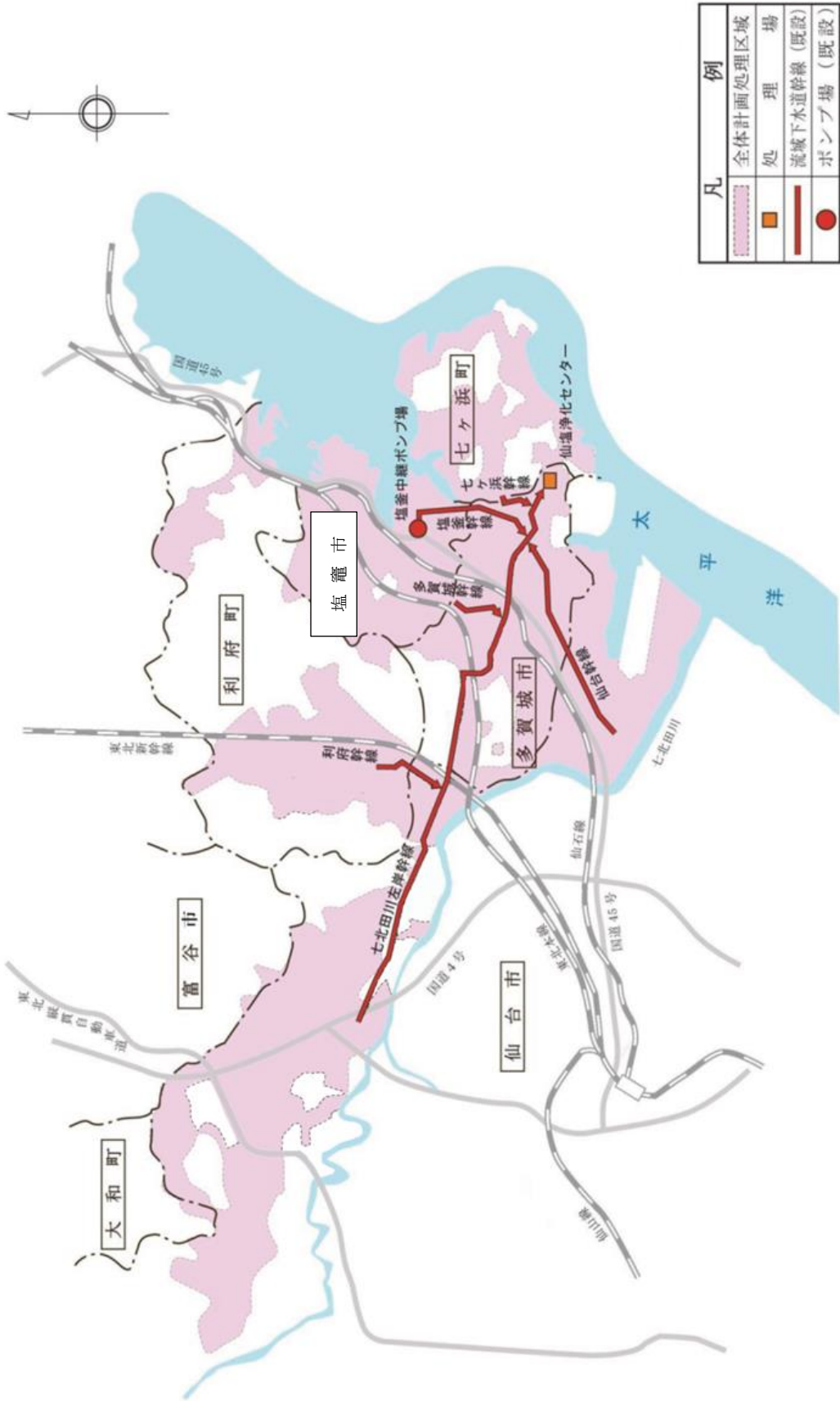
・事業費 約80億円

・工事期間 平成5年12月～平成8年3月

・処理能力 110t/日(脱水汚泥量)



仙塩流域下水道一般図



⑤ 再生可能エネルギーの導入

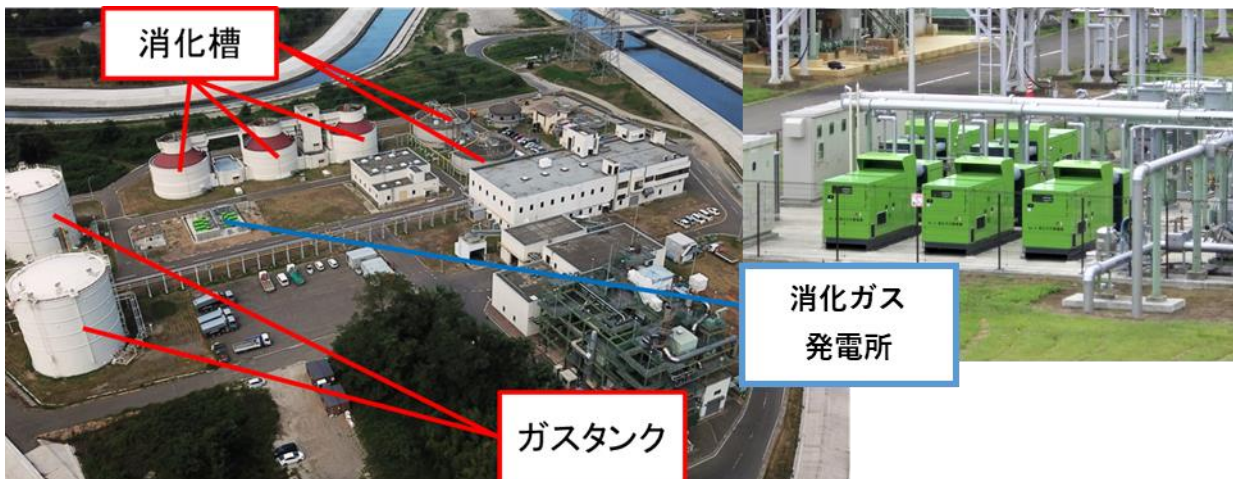
● 仙塩浄化センター消化ガス発電所

仙塩浄化センターの下水汚泥処理工程から発生する消化ガス(メタンガスと二酸化炭素を主成分とする可燃性ガス)のうち、約 70%は焼却炉や消化槽加温用ボイラーの燃料として活用していましたが、残る 30%については未利用のまま焼却処分していました。

この未利用資源を有効活用するため余剰の消化ガスを発電事業者へ売却し、事業者が発電した電気は固定価格買取制度(FIT)を活用して売電しています。

また、発電に伴い発生する熱を温水として回収し、汚泥処理に活用しています。

- ・事業主体 (株)大原鉄工所(民設民営 FIT)
- ・事業場所 仙塩浄化センター内(多賀城市大代)
- ・発電出力 350 kW(70 kW×5 台)
- ・発電電力量 約 200 万 kWh/年(一般家庭約 440 世帯分に相当)
- ・年間土地賃借料 574,120 円
- ・消化ガス売却収入 約 4 億円(20 年間)
- ・工事着工 平成 29 年 6 月 1 日
- ・稼働開始 平成 30 年 4 月 1 日
- ・事業期間 発電開始から 20 年間



(2) 阿武隈川下流流域下水道事業

① 事業の概要

本事業は、住宅団地開発による人口の増加や工場立地等に伴う公共用水域の水質悪化防止等を目的として、5市6町(仙台市・白石市・名取市・角田市・岩沼市・蔵王町・大河原町・村田町・柴田町・丸森町・亶理町)から流入する汚水を処理するものです。

昭和49年度に流域下水道として事業着手し、昭和60年1月に一部供用を開始しました。現在の管渠は90.7kmが整備され、令和5年度末の処理区域人口は298.6千人、下水道処理人口普及率は84.1%に達しています。

● 令和7年の業務予定量

関連市町村数	5市6町
年間処理汚水量	34,346,000 m ³
日平均処理汚水量	94,099 m ³

● 阿武隈川下流流域計画一覧表(令和6年3月31日現在)

	全 体 計 画	事 業 計 画	現 況
行 政 面 積	126,169ha		
処 理 面 積	11,213.5ha	10,585.0ha	8,787.5ha
処 理 人 口	292,613 人	300,738 人	298,641 人
処 理 能 力	125,000 m ³ /日	125,000 m ³ /日	125,000 m ³ /日
系 列 数	5	5	4.5
管 渠 延 長	102,600m	90,710m	90,710m
ポ ン プ 場	7 箇所	6 箇所	6 箇所
計 画 目 標 年 度	令和17年度	令和7年度	-

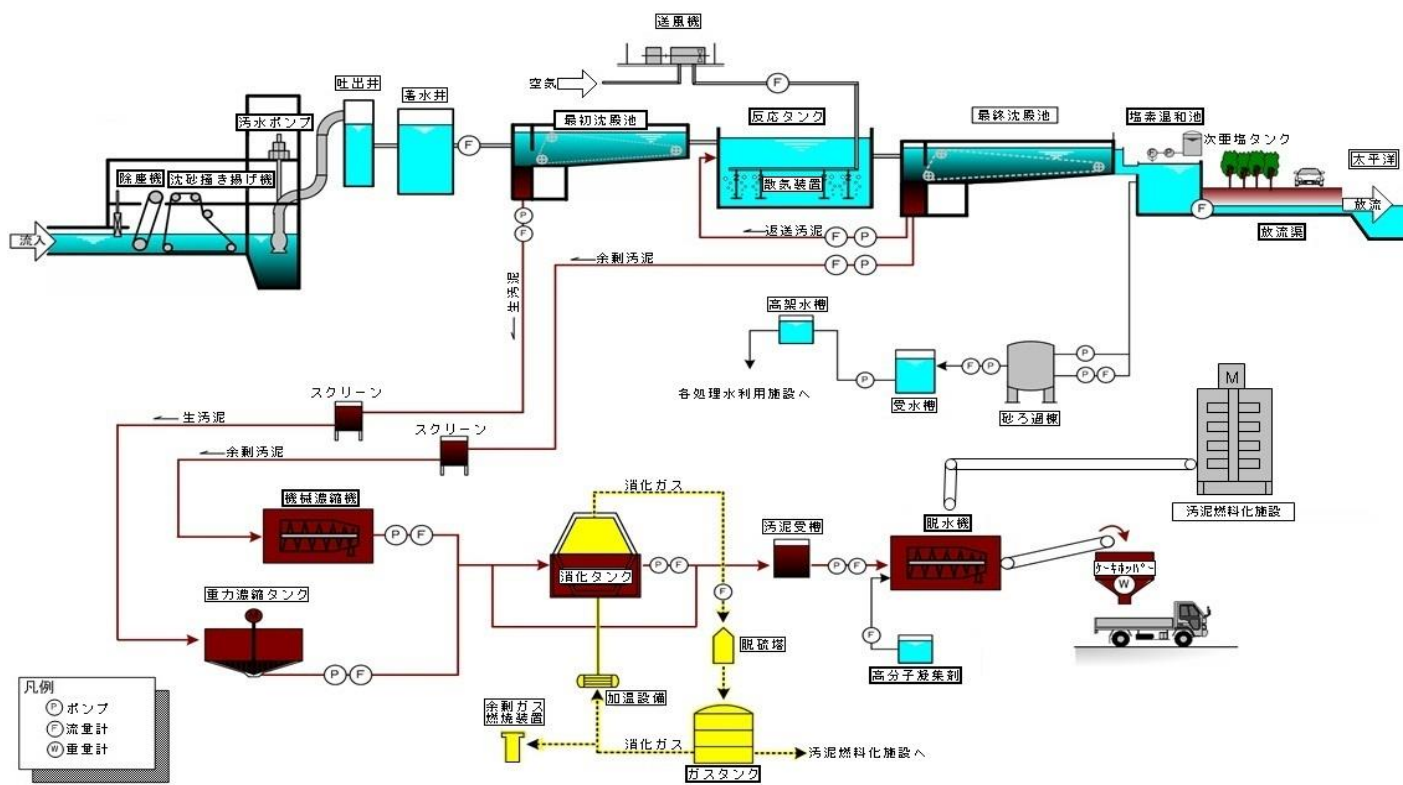
● 関連市町日平均汚水流入量(令和5年実績) (単位:m³/日)

市 町 村 名	汚 水 量	市 町 村 名	汚 水 量
仙 台 市	16,477	大 河 原 町	5,355
白 石 市	7,184	村 田 町	1,723
名 取 市	21,674	柴 田 町	9,524
角 田 市	4,073	丸 森 町	1,110
岩 沼 市	12,808	亶 理 町	6,554
蔵 王 町	1,423	合 計	87,905

● 沿革及び認可関係(令和6年3月31日現在)

事 業 着 手 年 度	昭和49年度
供 用 開 始 年 月 日	昭和60年1月1日
当初認可取得年月日	昭和50年3月31日
最終変更認可年月日	平成30年1月26日
認可完了予定年月日	令和8年3月31日

■ 県南浄化センター処理フロー



② 事業費

(単位:千円)

区 分		令和5年度まで
建設改良費	国庫補助金	60,912,620
	起 債	17,035,302
	他会計繰入金	3,269,005
	市町分担金	20,393,560
	そ の 他	0
	合 計	101,610,487

③ 施設の概要

施設名	阿武隈川下流流域下水道事業	
	県南浄化センター	
水処理施設	管理棟	1 棟
	沈砂池ポンプ棟	1 棟
	送風機棟	1 棟
	塩素滅菌棟	1 棟
	第 2 水処理電気室	1 棟
	自家発電機棟	1 棟
	沈砂池	2 池
	最初沈殿池	11,549 m ³
	反応タンク	44,158 m ³
	最終沈殿池	21,179 m ³
	塩素混和池	1,362 m ³
汚泥処理施設	汚泥濃縮タンク	3 槽
	機械濃縮棟	1 棟
	汚泥消化タンク	3 槽
	消化汚泥加温棟	1 棟
	脱水機棟	2 棟
	汚泥燃料化施設	1 棟
ポンプ場	亘理ポンプ場	
	角田ポンプ場	
	名取ポンプ場	
	大河原ポンプ場	
	仙台ポンプ場	
	丸森ポンプ場	

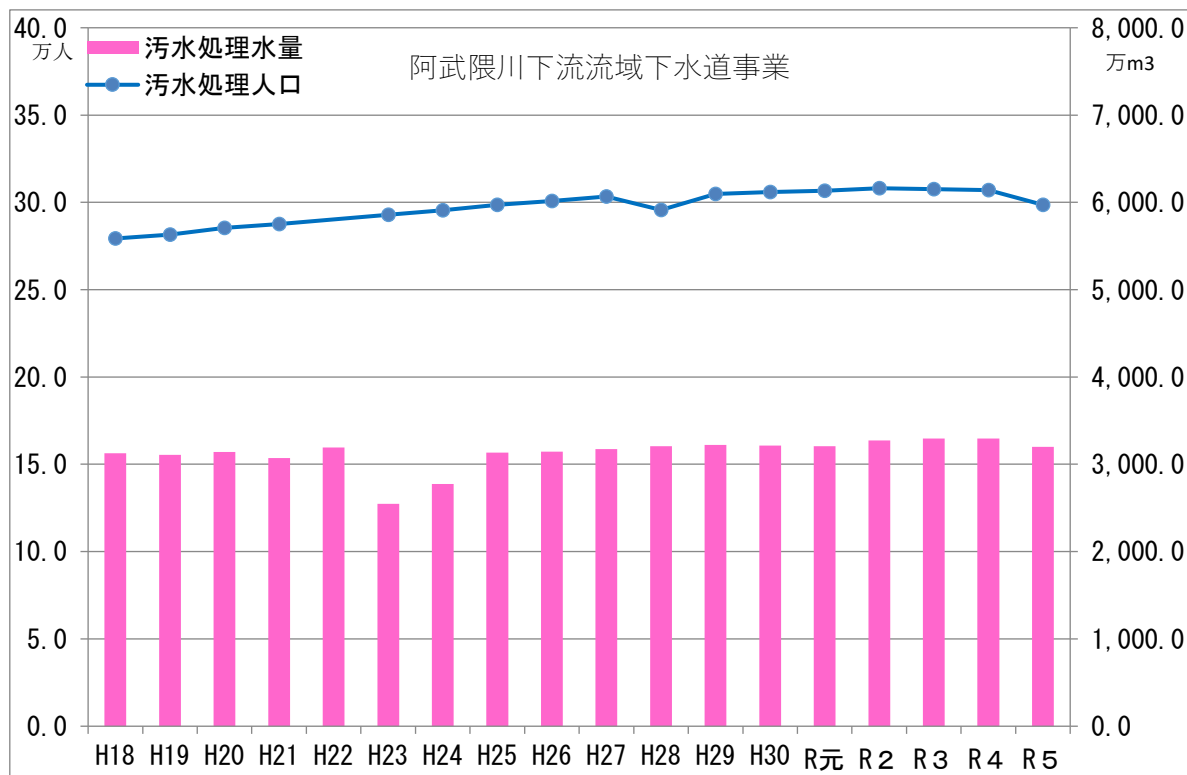
④ 経営の状況

● 処理量等

年 度	R3	R 4	R 5	R 6	R 7
A 施 設 能 力 $\text{m}^3/\text{日}$	125,000	125,000	125,000	125,000	125,000
B 処 理 人 口 人	307,486	306,988	298,641	集計中	—
C 処 理 水 量 $\text{m}^3/\text{年}$	32,951,426	32,510,923	32,085,361	32,619,103	34,346,000
D 有 収 水 量 $\text{m}^3/\text{年}$	32,951,426	32,510,923	32,085,361	32,619,103	34,346,000
E 1 日 平 均 処 理 量 m^3	90,278	89,071	87,905	89,123	94,099
F 1 日 最 大 処 理 量 m^3	125,000	125,000	125,000	125,000	125,000
G 管 渠 費 千 円	24,959	76,157	33,551	41,100	64,669
H ポ ン プ 場 費 千 円	179,024	0	0	0	0
I 処 理 場 費 千 円	1,401,273	478	187	323	1,989

※ 消費税を含む。R3～R5は決算ベース、R6は最終現計予算ベース、R7は当初予算ベースで作成。

■ 処理人口(各年度3月末日現在)及び処理水量(有効水量)(1月から12月までの1年間)の推移



※ H22 は東日本大震災による数値のため欠測。

● 料金等

年 度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
負 担 金 千円	1,598,144	415,133	32,656	348,175	161,239
負 担 金 単 価 $\text{円}/\text{m}^3$	48.5	48.5	48.5	57.3	44.8

※ 消費税を含む。R3～R5は決算ベース、R6は最終現計予算ベース、R7は当初予算ベースで作成。

※ R4からは、みやぎ型管理運営方式導入のため、負担金には利用料金を含まず、単価には利用料金分を含んでいる。

※ R7からは、負担金単価は税抜表示になる。

● 収支状況

年 度			R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
収入	営 業 収 益	千円	1, 598, 144	423, 133	40, 656	356, 175	169, 239
	うち料 金 収 入	千円	1, 598, 144	415, 133	32, 656	348, 175	161, 239
	営 業 外 収 益	千円	3, 060, 522	2, 807, 426	2, 856, 494	2, 705, 676	2, 566, 048
	特 別 収 益	千円	36, 344	93, 983	51, 468	27, 301	70, 933
	計	千円	4, 695, 010	3, 324, 542	2, 948, 618	3, 089, 152	2, 806, 220
支出	営 業 費 用	千円	4, 469, 562	2, 866, 266	2, 727, 442	2, 999, 527	2, 793, 757
	営 業 外 費 用	千円	48, 690	60, 391	55, 373	93, 672	98, 592
	特 別 損 失	千円	101, 707	133, 084	120, 033	36, 494	94, 433
	総 費 用	千円	4, 619, 959	3, 059, 741	2, 902, 848	3, 135, 693	2, 992, 782
	計	千円	4, 619, 959	3, 059, 741	2, 902, 848	3, 135, 693	2, 992, 782
当 年 度 純 利 益			千円	75, 051	264, 801	45, 770	△186, 562

※ 消費税を含む。R3～R5 は決算ベース、R6 は最終現計予算ベース、R7 は当初予算ベースで作成。

※ R4 からは、みやぎ型管理運営方式導入のため、営業収益及び料金収入には利用料金は含んでいない。

● 阿武隈川下流流域下水道県南浄化センター下水污泥燃料化施設

・事業概要

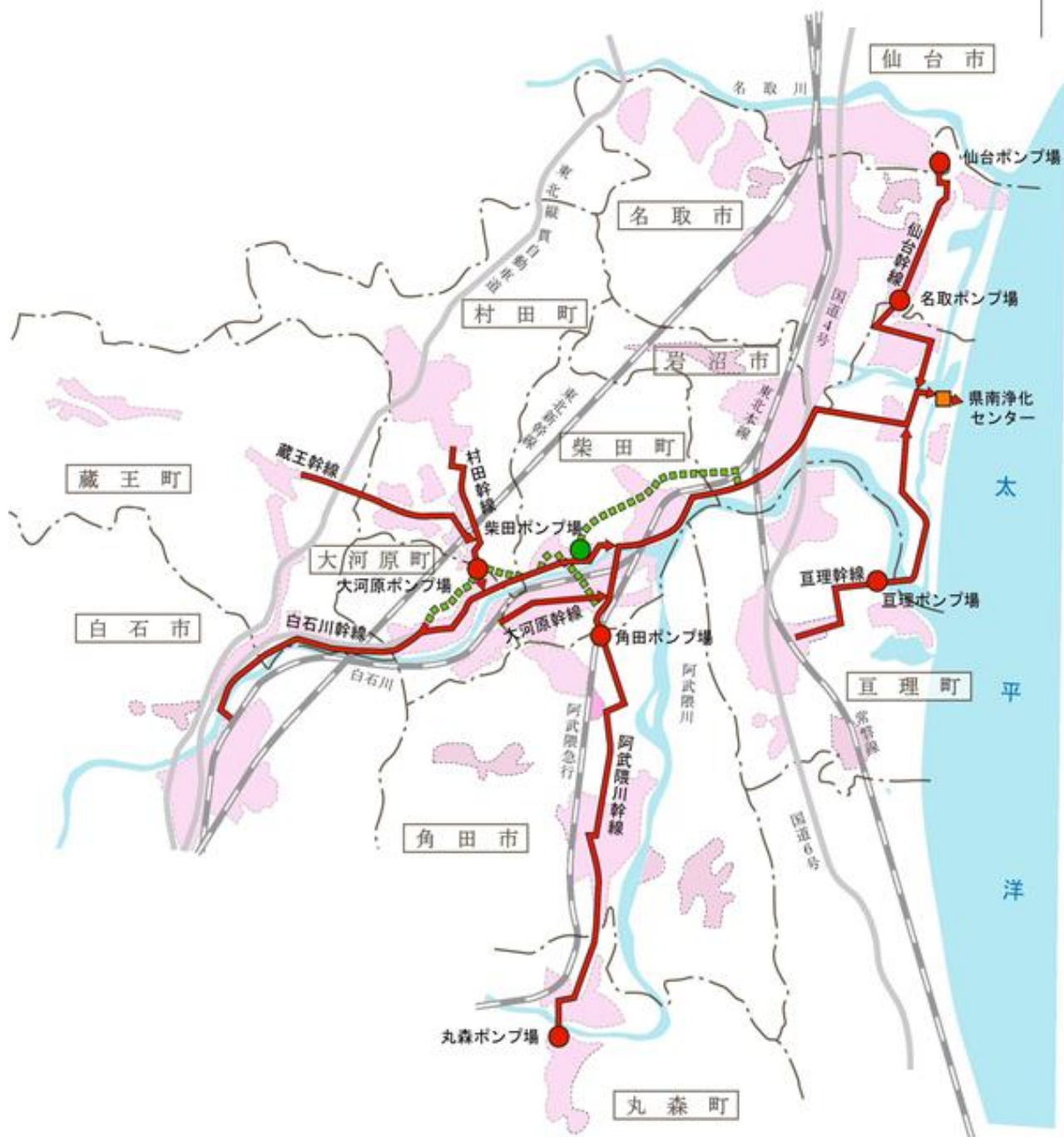
流域下水道から発生する污泥については、焼却による減量化や、セメント・コンポストにする資源化により対応していました。近年、下水道污泥からバイオマスエネルギーとして回収する技術が進んでいることから、これまで産業廃棄物として処理してきた下水道污泥の一部を燃料化し、有効利用を図ることを目的として事業化を行いました。なお、下水道污泥の乾燥造粒方式による燃料化は、自治体の事業としては全国初であり、平成21年度国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」を受賞しています。

平成23年3月に発生した東日本大震災では、当該施設も津波により燃料化物を製造するための機能が全て失われましたが、国庫負担法の公共土木施設災害復旧事業において機能回復を行うにあたり、同様に被害を受けていた污泥高速発酵施設（コンポスト化施設：処理量（16t／日）との処理機能の一元化を行い、処理能力（66t／日）として施設復旧を行いました。なお、平成25年3月末までに災害復旧事業を終え被災前の機能を回復しています。

- ・工 事 費 13.5億円
- ・工 期 平成19年10月～平成21年3月
- ・処 理 能 力 50t／日(脱水污泥量)



阿武隈川下流流域下水道一般図



凡 例	
	全体計画処理区域
	処 理 場
	流域下水道幹線 (既設)
	流域下水道幹線 (計画)
	ポンプ場 (既設)
	ポンプ場 (計画)

(3) 鳴瀬川流域下水道事業

① 事業の概要

本事業は、都市化による人口の増加や工場立地に伴う公共用水域の水質悪化防止等を目的として、1 市 1 町（大崎市・美里町）から流入する汚水を処理するものです。

昭和 56 年度に流域下水道として事業着手し、平成 4 年 4 月に一部供用を開始しました。現在の管渠は 21.1km が整備され、令和5年度末の処理区域人口は 26.5 千人、下水道処理人口普及率は 57.0%に達しています。

● 令和7年の業務予定量

関連市町村数	1 市 1 町
年間処理汚水量	2,583,000 m ³
日平均処理汚水量	7,077 m ³

● 鳴瀬川流域計画一覧表(令和6年 3 月 31 日現在)

	全 体 計 画	事 業 計 画	現 況
行 政 面 積	16,432ha		
処 理 面 積	1,569.93ha	1,398.79ha	998.7ha
処 理 人 口	29,650 人	29,740 人	26,539 人
処 理 能 力	11,100 m ³ /日	11,100 m ³ /日	8,800 m ³ /日
系 列 数	6	6	5
管 渠 延 長	21,130m	21,130m	21,130m
ポ ン プ 場	5 箇所	5 箇所	5 箇所
計 画 目 標 年 度	令 和 17 年 度	令 和 7 年 度	-

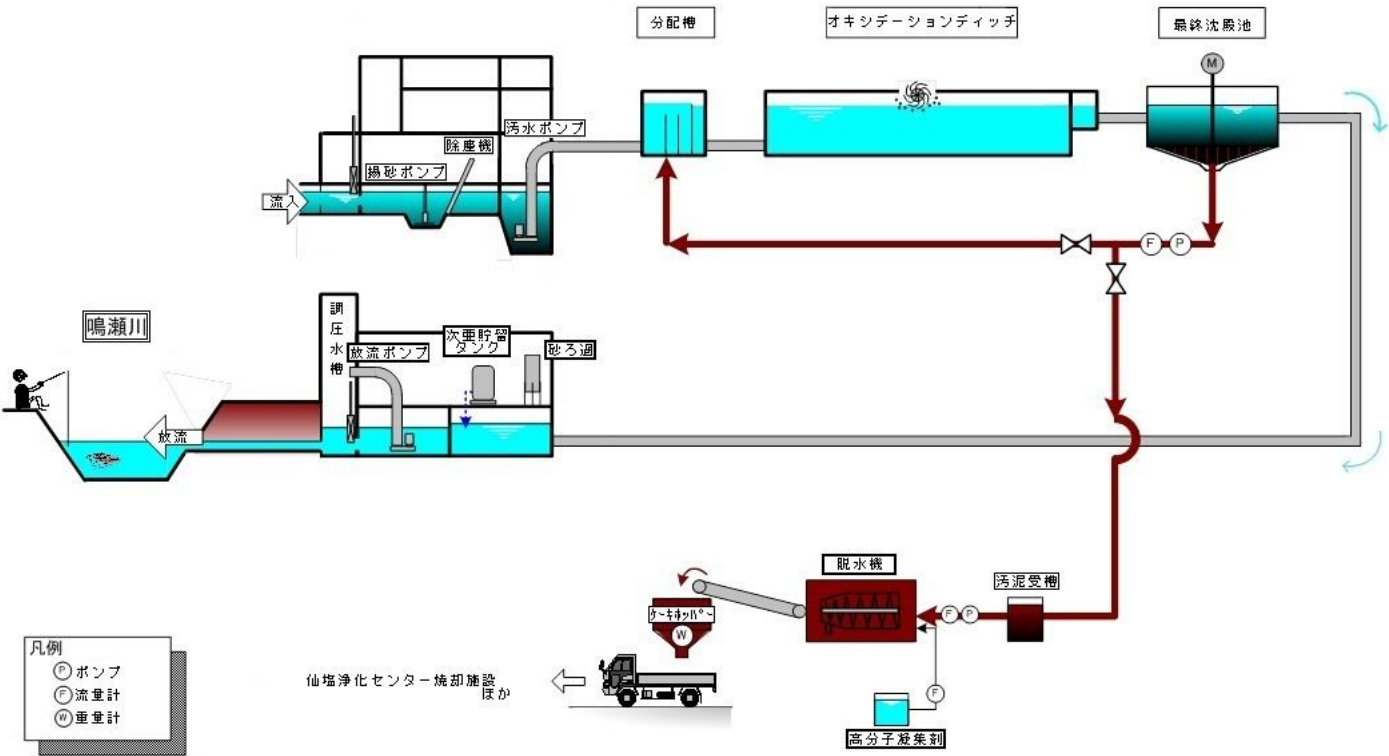
● 関連市町日平均汚水流入量(令和5年実績)(単位:m³/日)

市 町 村 名	汚 水 量
大 崎 市	4,461
美 里 町	2,144
合 計	6,605

● 沿革及び認可関係(令和6年3月31日現在)

事 業 着 手 年 度	昭 和 56 年 度
供 用 開 始 年 月 日	平 成 4 年 4 月 1 日
当初認可取得年月日	昭 和 57 年 3 月 2 日
最終変更認可年月日	平 成 30 年 1 月 26 日
認可完了予定年月日	令 和 8 年 3 月 31 日

■ 鹿島台浄化センター処理フロー



② 事業費

(単位: 千円)

区 分		令和5年度まで
建設改良費	国庫補助金	10,726,143
	起 債	2,725,300
	他会計繰入金	573,970
	市町分担金	5,976,231
	そ の 他	0
	合 計	20,010,644

③ 施設の概要

施設名	鳴瀬川流域下水道事業	
	鹿島台浄化センター	
水処理施設	管理棟	1 棟
	電気室	1 棟
	自家発電装置	1 基
	沈砂池ポンプ棟	1 棟
	オキシデーションディッチ	8,788 m ³
	最終沈殿池	
	塩素注入施設	8,800 m ³ 1 基
汚泥処理施設	汚泥脱水機	2 台
ポンプ場	松山第 1 中継ポンプ場 松山第 2 中継ポンプ場 鹿島台中継ポンプ場 小牛田ポンプ場 三本木ポンプ場	

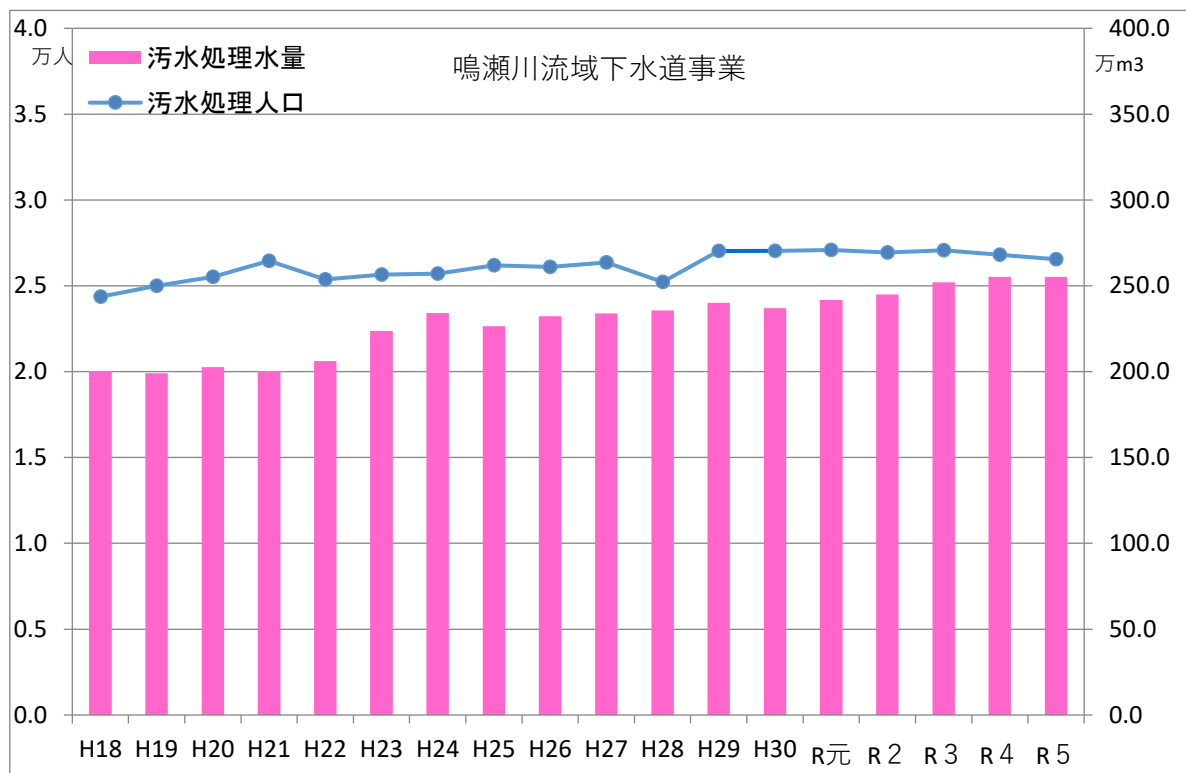
④ 経営の状況

● 処理量等

年 度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
A 施 設 能 力 $\text{m}^3/\text{日}$	8,800	8,800	8,800	8,800	8,800
B 処 理 人 口 人	27,063	26,798	26,539	集計中	—
C 処 理 水 量 $\text{m}^3/\text{年}$	2,520,101	2,526,382	2,410,892	2,404,275	2,583,000
D 有 収 水 量 $\text{m}^3/\text{年}$	2,520,101	2,526,382	2,410,892	2,404,275	2,583,000
E 1 日平均処理量 m^3	6,904	6,922	6,605	6,569	7,077
F 1 日最大処理量 m^3	8,800	8,800	8,800	8,800	8,800
G 管 渠 費 千 円	9,718	37,440	8,613	18,146	18,057
H ポ ン プ 場 費 千 円	41,579	0	0	0	0
I 処 理 場 費 千 円	214,683	227	187	290	1,958

※ 消費税を含む。R3～R5は決算ベース、R6は最終現計予算ベース、R7は当初予算ベースで作成。

■ 処理人口(各年度3月末日現在)及び処理水量(有効水量)(1月から12月までの1年間)の推移



● 料金等

年 度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
負 担 金 千円	204,380	63,903	3,117	35,986	30,489
負 担 金 単 価 $\text{円}/\text{m}^3$	81.1	81.1	81.1	92.3	81.3

※ 消費税を含む。R3～R5は決算ベース、R6は最終現計予算ベース、R7は当初予算ベースで作成。

※ R4からは、みやぎ型管理運営方式導入のため、負担金には利用料金を含まず、単価には利用料金分を含んでいる。

※ R7からは、負担金単価は税抜表示になる。

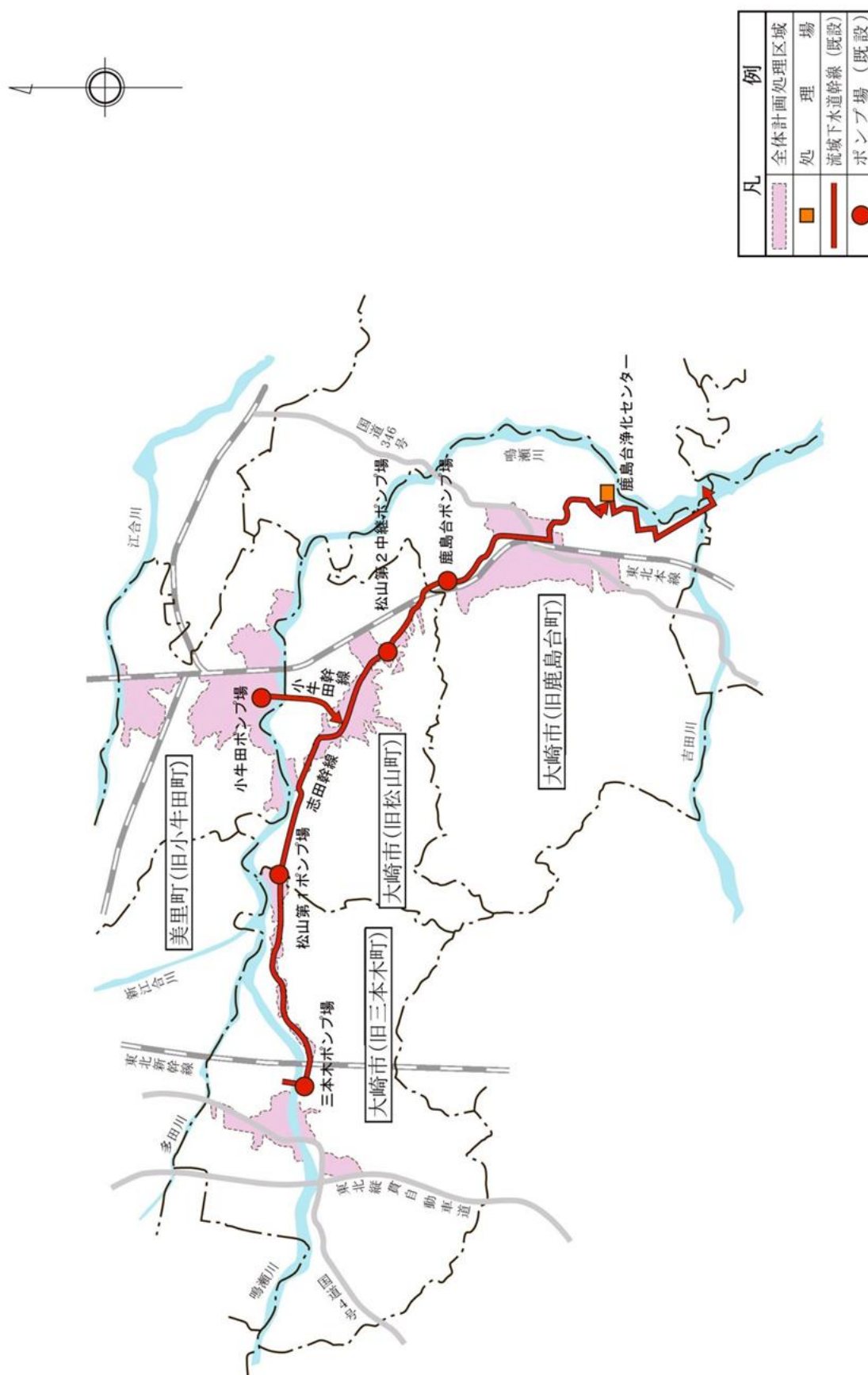
● 収支状況

年 度		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
収 入	営 業 収 益 千円	204,380	66,903	6,117	38,986	33,489
	うち料 金 収 入 千円	204,380	63,903	3,117	35,986	30,489
	営 業 外 収 益 千円	445,854	411,477	390,355	323,576	306,434
	特 別 収 益 千円	16,206	48,072	3,158	15,549	32,726
	計 千円	666,440	526,452	399,630	378,111	372,649
支 出	営 業 費 用 千円	637,590	394,134	314,142	320,474	317,207
	営 業 外 費 用 千円	10,693	9,679	8,550	30,796	16,767
	特 別 損 失 千円	32,649	61,306	4,630	20,744	34,926
	総 費 用 千円	680,932	465,119	337,322	378,014	374,900
	計 千円	680,932	465,119	337,322	378,014	374,900
当 年 度 純 利 益 千円		△14,492	61,333	62,308	97	△2,251

※ 消費税を含む。R3～R5 は決算ベース、R6 は最終現計予算ベース、R7 は当初予算ベースで作成。

※ R4からは、みやぎ型管理運営方式導入のため、営業収益及び料金収入には利用料金は含んでいない。

鳴瀬川流域下水道一般図



(4) 吉田川流域下水道事業

① 事業の概要

本事業は、仙台北部中核都市建設が進む富谷市、黒川郡を対象に、人口増加や工場立地に伴う水質悪化防止等を目的とし、1市2町1村(富谷市・大和町・大郷町・大衡村)から流入する汚水を処理するものです。

昭和63年度に流域下水道として事業着手し、平成4年4月に一部供用を開始しました。現在の管渠は28.3kmが整備され、令和5年度末の処理区域人口は74.0千人、下水道処理人口普及率は89.6%に達しています。

● 令和7年の業務予定量

関連市町村数	1市2町1村
年間処理汚水量	11,305,000 m ³
日平均処理汚水量	30,973 m ³

● 吉田川流域計画一覧表(令和6年3月31日現在)

	全体計画	事業計画	現況
行政面積	41,693ha		
処理面積	4,365.4ha	3,581.0ha	3,128.0ha
処理人口	85,635人	85,420人	73,972人
処理能力	55,380 m ³ /日	54,800 m ³ /日	41,825 m ³ /日
系列数	5	5	3.5
管渠延長	28,340m	28,340m	28,340m
ポンプ場	4箇所	4箇所	4箇所
計画目標年度	令和17年度	令和7年度	-

● 関連市町日平均汚水流入量(令和5年実績)

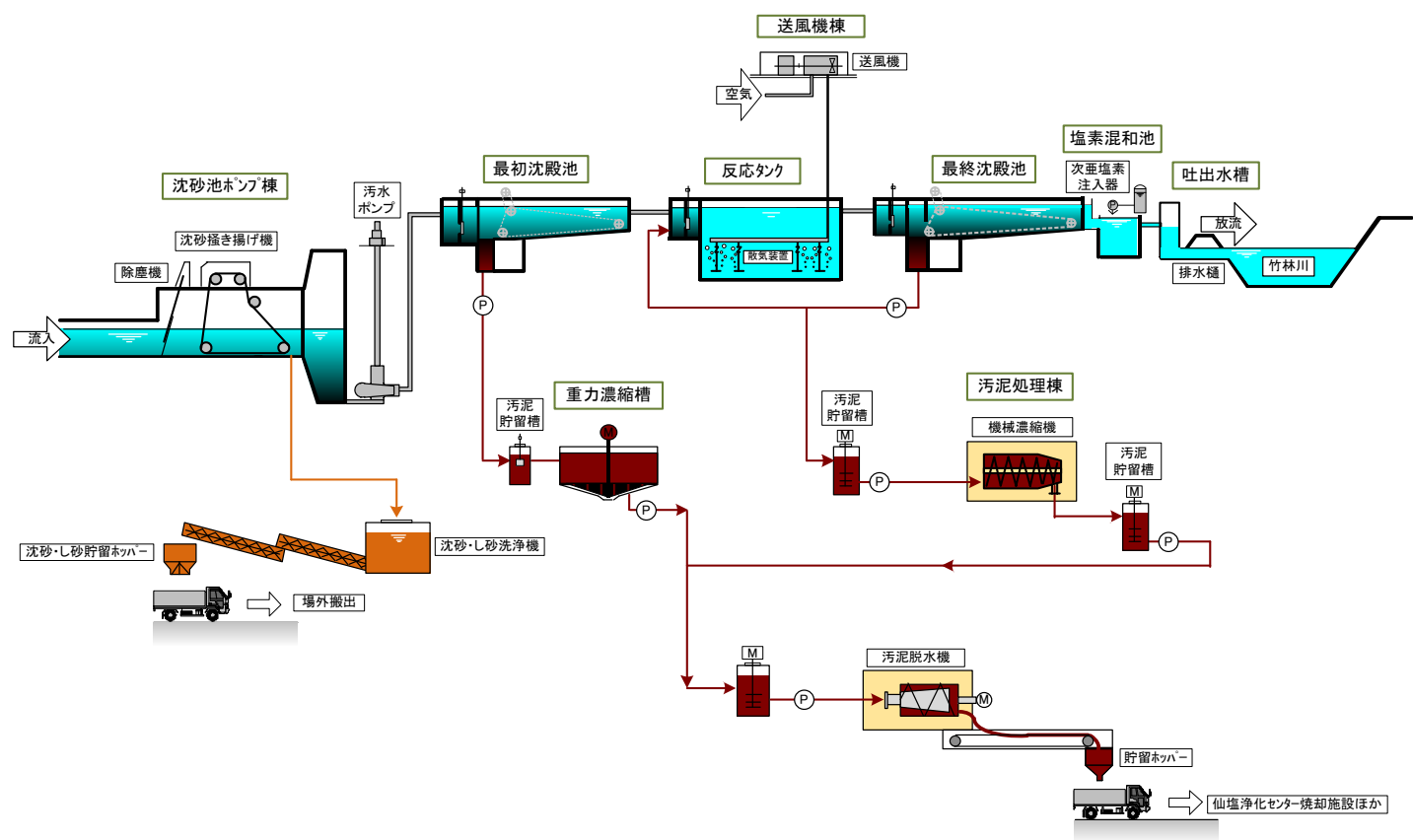
(単位: m³/日)

市町村名	汚水量	市町村名	汚水量
富谷市	14,898	大衡村	2,610
大和町	11,516		
大郷町	1,346	合計	30,370

● 沿革及び認可関係(令和6年3月31日現在)

事業着手年度	昭和63年度
供用開始年月日	平成4年4月1日
当初認可取得年月日	平成1年2月21日
最終変更認可年月日	令和2年12月21日
認可完了予定年月日	令和8年3月31日

■ 大和浄化センター処理フロー



② 事業費

(単位: 千円)

区 分		令和5年度まで
建設改良費	国庫補助金	19,908,591
	起 債	3,975,212
	他会計繰入金	2,541,397
	市町分担金	6,154,433
	そ の 他	0
	合 計	32,579,633

③ 施設の概要

施設名	吉田川流域下水道事業	
	大和浄化センター	
水処理施設	管理棟	1 棟
	沈砂池ポンプ棟	1 棟
	送風機棟	1 棟
	電気棟	1 棟
	自家発電装置	1 基
	沈砂池	26.68 m ³ (2 池)
	最初沈殿池	3,510 m ³
	反応タンク	14,154 m ³
	最終沈殿池	4,914 m ³
	塩素混和池	574 m ³
汚泥処理施設	重力濃縮施設	3 槽
	汚泥脱水機	2 台
ポンプ場	海老沢ポンプ場	
	大和・富谷ポンプ場	
	大郷ポンプ場	
	大和・大衡ポンプ場	

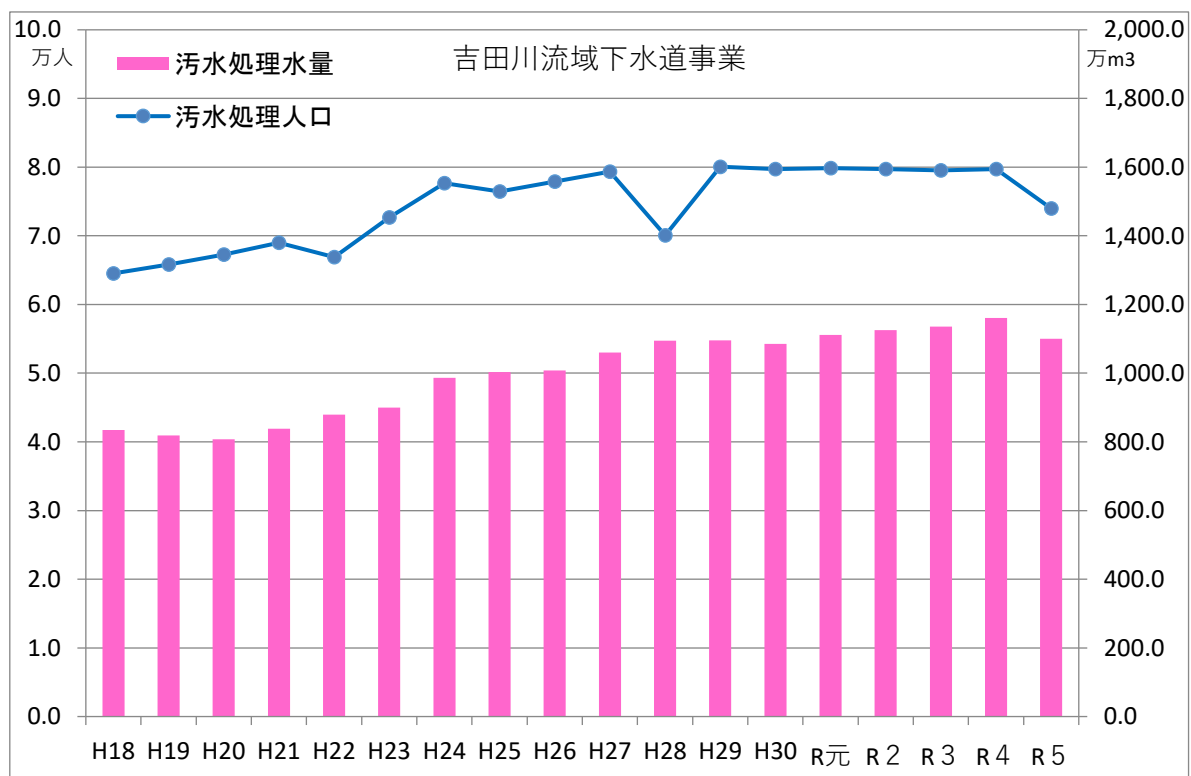
④ 経営の状況

● 処理量等

年 度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
A 施 設 能 力 $\text{m}^3/\text{日}$	41,825	41,825	41,825	41,825	41,825
B 処 理 人 口 人	79,528	79,728	73,972	集計中	—
C 処 理 水 量 $\text{m}^3/\text{年}$	11,360,090	11,514,926	11,084,948	11,205,452	11,305,000
D 有 収 水 量 $\text{m}^3/\text{年}$	11,360,090	11,514,926	11,084,948	11,205,452	11,305,000
E 1 日平均処理量 m^3	31,124	31,548	30,370	30,616	30,973
F 1 日最大処理量 m^3	41,825	41,825	41,825	41,825	41,825
G 管 渠 費 千 円	18,850	23,049	20,876	22,457	32,324
H ポ ン プ 場 費 千 円	41,360	0	0	0	0
I 処 理 場 費 千 円	636,294	457	187	299	1,957

※ 消費税を含む。R3～R5 は決算ベース、R6 は最終現計予算ベース、R7 は当初予算ベースで作成。

■ 処理人口(各年度3月末日現在)及び処理水量(有効水量)(1月から12月までの1年間)の推移



● 料金等

年 度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
負 担 金 千円	543,012	150,990	2,269	127,668	88,726
負 担 金 単 価 $\text{円}/\text{m}^3$	47.8	47.8	47.8	58.6	50.2

※ 消費税を含む。R3～R5 は決算ベース、R6 は最終現計予算ベース、R7 は当初予算ベースで作成。

※ R4からは、みやぎ型管理運営方式導入のため、負担金には利用料金を含まず、単価には利用料金分を含んでいる。

※ R7からは、負担金単価は税抜表示になる。

● 収支状況

年 度		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
収 入	営 業 収 益 千円	543,012	155,990	7,269	132,668	93,726
	うち料 金 収 入 千円	543,012	150,990	2,269	127,668	88,726
	営 業 外 収 益 千円	820,566	642,748	664,844	569,238	553,109
	特 別 収 益 千円	12,902	109,314	3,992	48,630	0
	計 千円	1,376,480	908,052	676,105	750,536	646,835
支 出	営 業 費 用 千円	1,342,421	597,463	557,957	594,477	611,900
	営 業 外 費 用 千円	16,416	25,313	22,937	39,331	40,135
	特 別 損 失 千円	24,912	167,430	21,162	64,822	0
	総 費 用 千円	1,383,749	790,206	602,056	704,630	658,035
	計 千円	1,383,749	790,206	602,056	704,630	658,035
当 年 度 純 利 益 千円		△7,269	117,846	74,049	45,906	△11,200

※ 消費税を含む。R3～R5 は決算ベース、R6 は最終現計予算ベース、R7 は当初予算ベースで作成。

※ R4 からは、みやぎ型管理運営方式導入のため、営業収益及び料金収入には利用料金は含んでいない。

(5) 北上川下流流域下水道事業

① 事業の概要

本事業は、都市化による人口の増加や工場立地に伴う公共用水域の水質悪化防止等を目的として、旧北上川西側に位置する2市(石巻市・東松島市)から流入する汚水を処理するものです。

平成3年度に事業に着手し、平成10年度に一部供用を開始しました。現在の管渠は27.5kmが整備され、令和5年度末の処理区域人口は93.4千人、下水道処理人口普及率は76.1%となっています。

● 令和7年の業務予定量

関連市町村数	2市
年間処理汚水量	7,794,000 m ³
日平均処理汚水量	21,353 m ³

● 北上川下流流域計画一覧表(令和6年3月31日現在)

	全体計画	事業計画	現況
行政面積	19,876ha		
処理面積	3,746.8ha	2,921.9ha	2,437.0ha
処理人口	99,000人	98,070人	93,379人
処理能力	48,500 m ³ /日	38,800 m ³ /日	38,800 m ³ /日
系列数	3	2	2
管渠延長	27,560m	27,560m	27,560m
ポンプ場	3箇所	3箇所	3箇所
計画目標年度	令和17年度	令和8年度	-

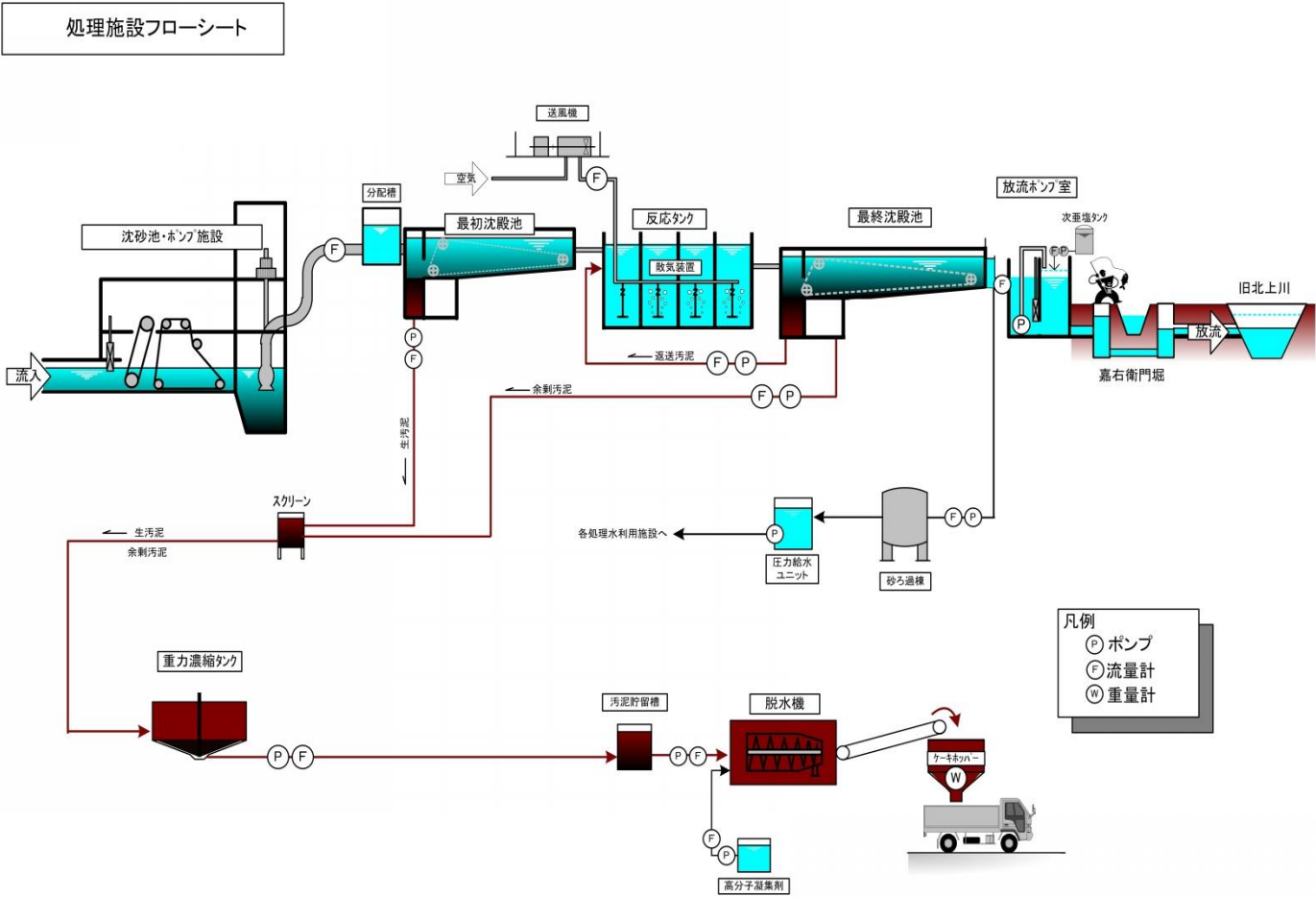
● 関連市町日平均汚水流入量(令和5年実績) (単位:m³/日)

市町村名	汚水量
石巻市	14,603
東松島市	7,682
合計	22,285

● 沿革及び認可関係(令和6年3月31日現在)

事業着手年度	平成3年度
供用開始年月日	平成10年4月1日
当初認可取得年月日	平成4年4月13日
最終変更認可年月日	令和2年12月21日
認可完了予定年月日	令和9年3月31日

■ 石巻浄化センター処理フロー



② 事業費

(単位: 千円)

区 分		令和5年度まで
建設改良費	国庫補助金	20,579,943
	起 債	7,083,419
	他会計繰入金	1,102,530
	市町分担金	8,139,812
	その他	2,836
	合 計	36,908,540

③ 施設の概要

施設名	北上川下流流域下水道事業	
	石巻浄化センター	
水処理施設	管理本館	1 棟
	沈砂池ポンプ棟(送風機, 自家発電装置)	1 棟
	沈砂池	巾 1.4m×長 11.5m×4 池
	最初沈殿池	2,332 m ³
	反応タンク	13,231 m ³
	最終沈殿池	6,318 m ³
	放流ポンプ棟	1 棟
汚泥処理施設	重力濃縮槽	2 槽
	重力濃縮機棟	1 棟
	汚泥脱水機	2 台
ポンプ場	河南ポンプ場	
	鳴瀬ポンプ場	
	矢本ポンプ場	

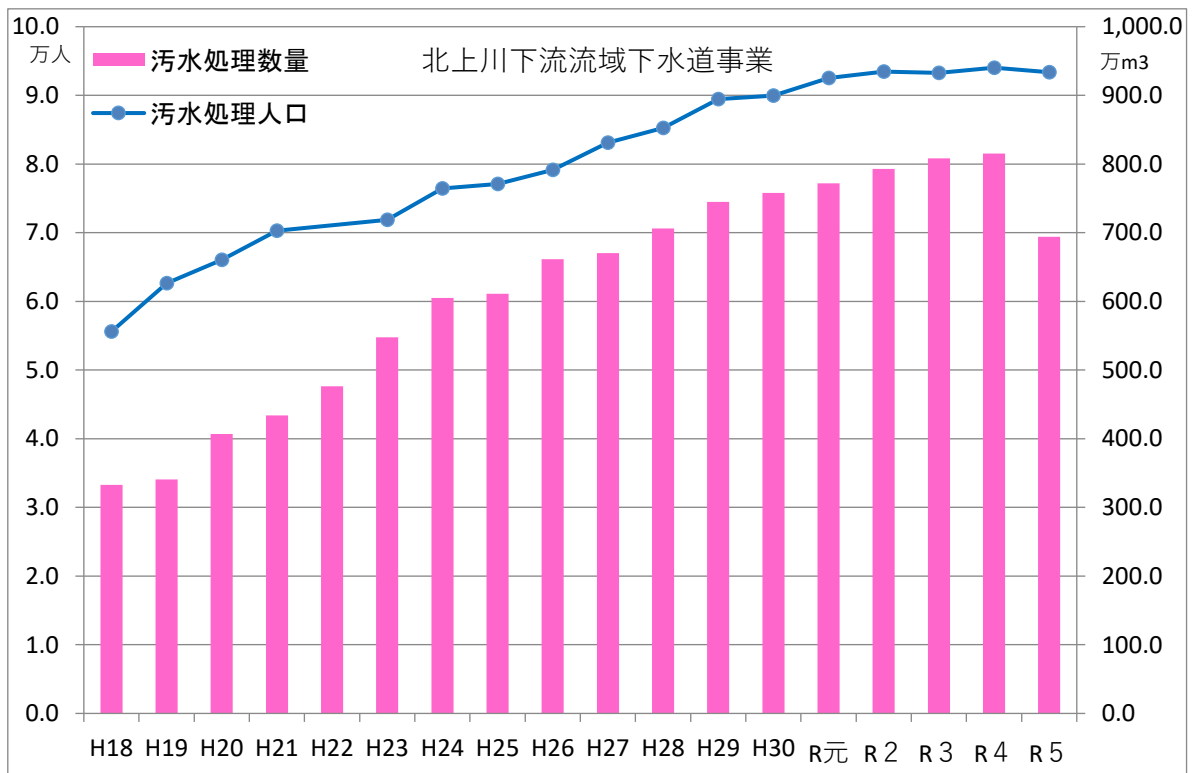
④ 経営の状況

● 処理量等

年 度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
A 施 設 能 力 $\text{m}^3/\text{日}$	38,800	38,800	38,800	38,800	38,800
B 処 理 人 口 人	93,284	94,032	93,379	集計中	—
C 処 理 水 量 $\text{m}^3/\text{年}$	8,084,755	8,136,459	8,134,079	7,665,105	7,794,000
D 有 収 水 量 $\text{m}^3/\text{年}$	8,084,755	8,136,459	8,134,079	7,665,105	7,794,000
E 1 日 平 均 処 理 量 m^3	22,150	22,292	22,285	20,943	21,353
F 1 日 最 大 処 理 量 m^3	38,800	38,800	38,800	38,800	38,800
G 管 渠 費 千 円	11,363	8,198	10,648	13,255	16,108
H ポ ン プ 場 費 千 円	10,606	20,093	14,334	23,303	14,604
I 処 理 場 費 千 円	607,627	564,219	580,602	652,567	658,509

※ 消費税を含む。R3～R5は決算ベース、R6は最終現計予算ベース、R7は当初予算ベースで作成。

■ 処理人口(各年度3月末日現在)及び処理水量(有効水量)(1月から12月までの1年間)の推移



※ H22は東日本大震災による数値のため欠測。

● 料金等

年 度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
負 担 金 千 円	649,206	653,358	653,167	699,057	694,445
負 担 金 単 価 $\text{円}/\text{m}^3$	80.3	80.3	80.3	91.2	80.1

※ 消費税を含む。R3～R5は決算ベース、R6は最終現計予算ベース、R7は当初予算ベースで作成。

※ R7からは、負担金単価は税抜表示になる。

● 収支状況

年 度		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
収 入	営 業 収 益 千円	649,206	653,358	653,167	699,057	694,445
	うち料 金 収 入 千円	649,206	653,358	653,167	699,057	694,445
	営 業 外 収 益 千円	992,703	1,014,793	969,562	755,722	763,869
	特 別 収 益 千円	14,886	48,144	20,756	30,821	72,524
	計 千円	1,656,795	1,716,295	1,643,485	1,485,600	1,530,838
支 出	営 業 費 用 千円	1,340,699	1,312,317	1,329,400	1,391,851	1,394,205
	営 業 外 費 用 千円	35,677	40,515	38,592	53,042	61,920
	特 別 損 失 千円	16,920	79,281	24,896	37,540	96,624
	総 費 用 千円	1,393,296	1,432,113	1,392,888	1,488,433	1,558,749
	計 千円	1,393,296	1,432,113	1,392,888	1,488,433	1,558,749
当 年 度 純 利 益 千円		263,499	284,182	250,597	△2,833	△27,911

※ 消費税を含む。R3～R5 は決算ベース、R6 は最終現計予算ベース、R7 は当初予算ベースで作成。



⑤ 再生可能エネルギーの導入

● 北上川下流流域下水道事業 石巻浄化センター太陽光発電事業

・事業概要

流域下水道事業においては、高度成長期に策定された計画水量と現在の処理量には乖離があり、処理場施設には将来計画用としての未利用地等があることから、これら未利用資産の有効活用が課題となっています。

そのため、引き続き利活用について検討するとともに、処理施設上部の空きスペースを活用し、太陽光発電を行います。

- ・事業主体 企業局
- ・全体事業費 約1.3億円(県のカーボンニュートラル施策により一般会計から繰入予定)
- ・事業期間 設計・工事 令和5年度から令和7年度(予定)
- ・事業開始 令和7年度から(予定)
- ・年間発電量 2.6万kwh/年(発電出力 25kw)(予定)

・イメージ図



画像 ©2024 Google、画像 ©2024 Airbus

・事業スケジュール(予定)

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	
詳細検討	↔						
関係機関協議	↔	↔					
設計		↔					
工事			↔	↔			
事業開始				●			

(6) 北上川下流東部流域下水道事業

① 事業の概要

本事業は、都市化による人口の増加や工場立地に伴う公共用水域の水質悪化防止等を目的として、旧北上川東側に位置する1市1町(石巻市・女川町)から流入する汚水进行处理するものです。

平成8年度に事業着手し、平成12年度に一部供用(旧石巻市公共下水道分)を開始しました。現在の管渠は43.5kmが整備され、令和5年度末の処理区域人口は36.7千人、下水道処理人口普及率は78.9%に達しています。

● 令和7年の業務予定量

関連市町村数	1市1町
年間処理汚水量	4,588,000 m ³
日平均処理汚水量	12,570 m ³

● 北上川下流東部流域計画一覧表(令和6年3月31日現在)

	全体計画	事業計画	現況
行政面積	30,969ha		
処理面積	1,920.7ha	1,757.8ha	1,442.0ha
処理人口	31,100人	35,510人	36,650人
処理能力	16,600 m ³ /日	16,600 m ³ /日	25,300 m ³ /日
系列数	3	3	3
管渠延長	43,450m	43,450m	43,450m
ポンプ場	17箇所	17箇所	16箇所
計画目標年度	令和17年度	令和8年度	-

● 関連市町日平均汚水流入量(令和5年実績)(単位: m³/日)

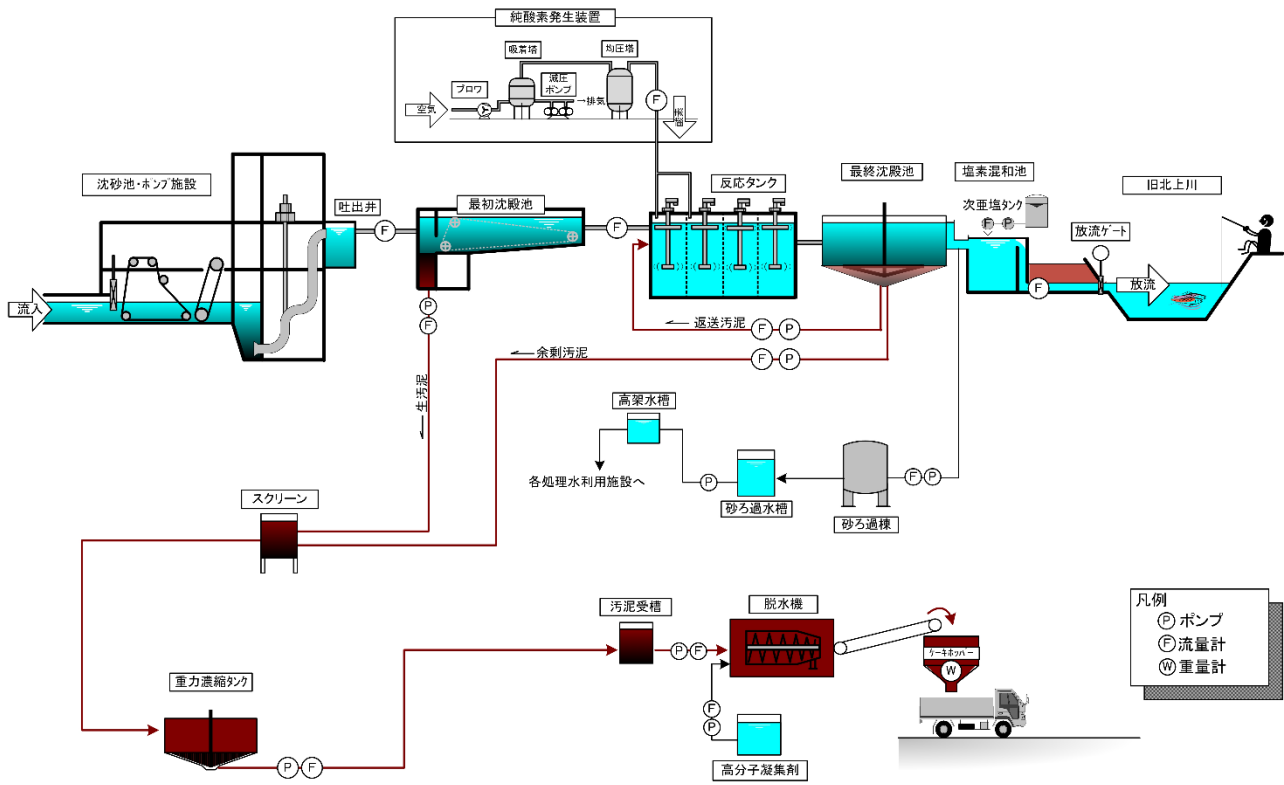
市町村名	汚水量
石巻市	10,140
女川町	1,580
合 計	11,720

● 沿革及び認可関係(令和6年3月31日現在)

事業着手年度	平成8年度
供用開始年月日	平成12年4月1日
当初認可取得年月日	平成9年1月29日
最終変更認可年月日	令和2年12月21日
認可完了予定年月日	令和9年3月31日

■ 石巻東部浄化センター処理フロー

6. 処理施設フローシート



② 事業費 (単位: 千円)

区 分		令和5年度まで
建設改良費	国庫補助金	12,336,396
	起 債	5,112,587
	他会計繰入金	347,782
	市町分担金	5,540,328
	そ の 他	2,567
	合 計	23,339,660

③ 施設の概要

施設名	北上川下流東部流域下水道事業	
	石巻東部浄化センター	
水処理施設	中央管理棟・沈砂池ポンプ棟 (自家発電装置)	1 棟
	ポンプ棟	1 棟
	水処理棟	1 棟
	最初沈殿池	2,113 m ³
	反応タンク	7,382 m ³
	最終沈殿池	6,477 m ³
	砂ろ過棟	1 棟
	塩素滅菌棟	1 棟
汚泥処理施設	汚泥濃縮タンク	1 槽
	汚泥脱水機	2 台
ポンプ場	桃生第 1 ポンプ場 桃生第 2 ポンプ場 桃生第 3 ポンプ場 河北第 1 ポンプ場 河北第 2 ポンプ場 河北第 3 ポンプ場 河北第 4 ポンプ場 河北第 5 ポンプ場 石巻第 1 ポンプ場 石巻第 2 ポンプ場 石巻第 2-1 ポンプ場 女川第 1 ポンプ場 女川第 2 ポンプ場 石巻第 4 ポンプ場 石巻第 5 ポンプ場 石巻第 6 ポンプ場	

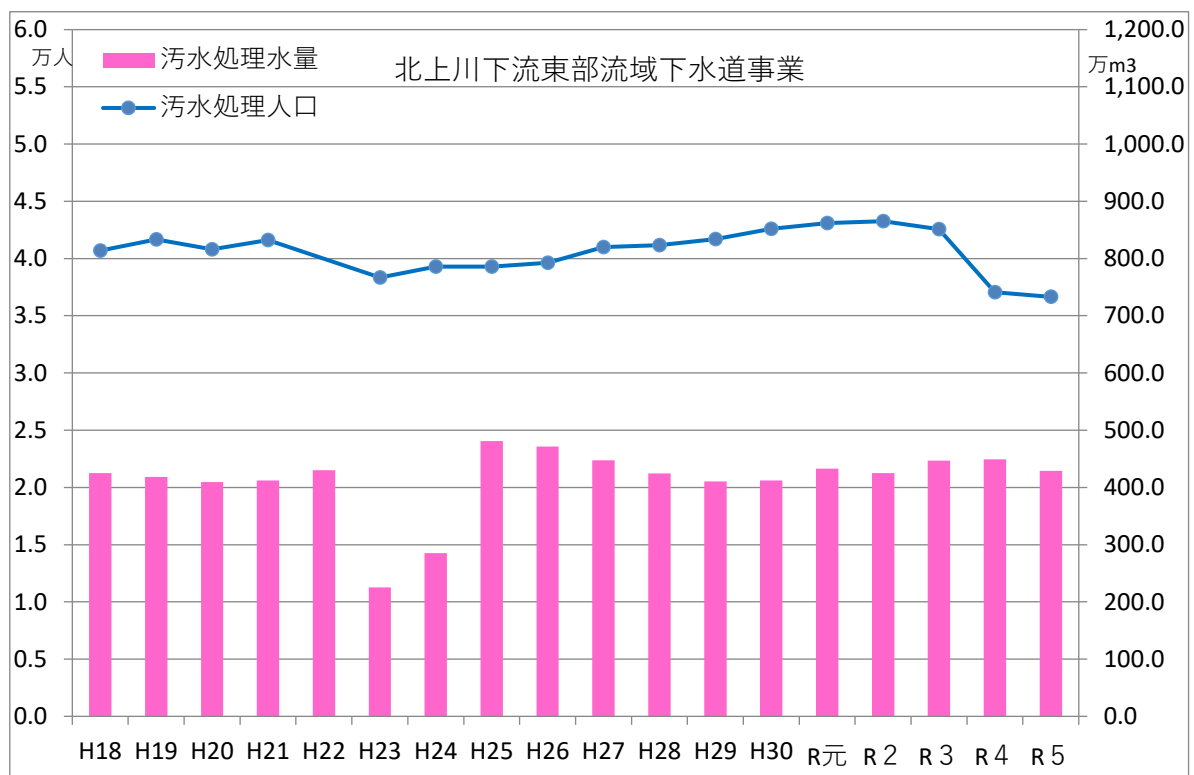
④ 経営の状況

● 処理量等

年 度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
A 施 設 能 力 $\text{m}^3/\text{日}$	25,300	25,300	25,300	25,300	25,300
B 処 理 人 口 人	42,567	37,055	36,650	集計中	—
C 処 理 水 量 $\text{m}^3/\text{年}$	4,469,659	4,453,862	4,277,941	4,299,918	4,588,000
D 有 収 水 量 $\text{m}^3/\text{年}$	4,469,659	4,453,862	4,277,941	4,299,918	4,588,000
E 1 日 平 均 処 理 量 m^3	12,246	12,202	11,720	11,748	12,570
F 1 日 最 大 処 理 量 m^3	25,300	25,300	25,300	25,300	25,300
G 管 渠 費 千 円	13,093	20,569	19,752	27,280	16,184
H ポ ン プ 場 費 千 円	84,500	59,500	69,428	80,566	98,827
I 処 理 場 費 千 円	484,752	517,585	482,089	516,594	543,390

※ 消費税を含む。R3～R5 は決算ベース、R6 は最終現計予算ベース、R7 は当初予算ベースで作成。

■ 処理人口(各年度3月末日現在)及び処理水量(有効水量)(1月から12月までの1年間)の推移



※ H22 は東日本大震災による数値のため欠測。

● 料金等

年 度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
負 担 金 千円	562,283	560,296	538,165	635,097	675,261
負 担 金 単 価 $\text{円}/\text{m}^3$	125.8	125.8	125.8	147.7	133.8

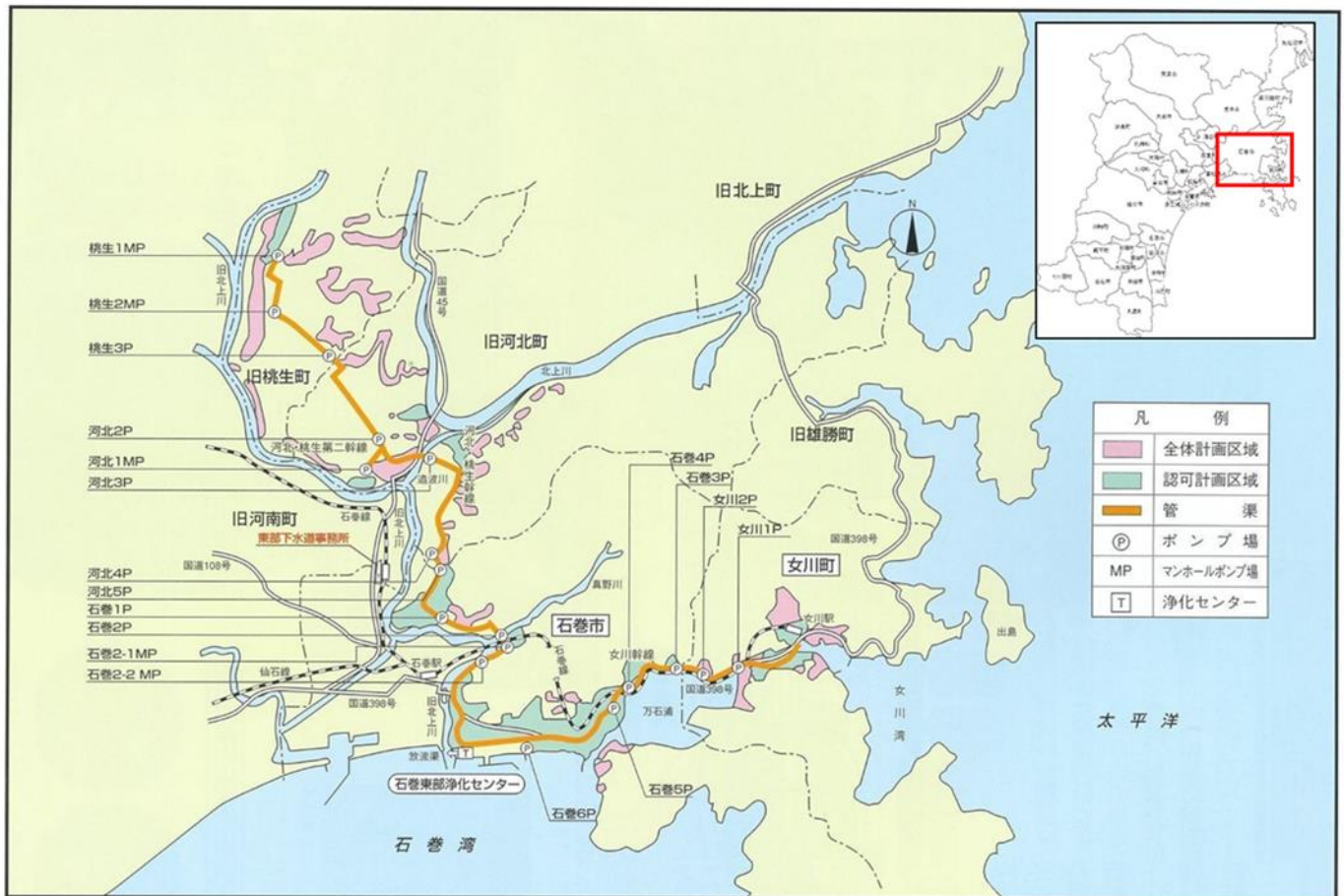
※ 消費税を含む。R3～R5 は決算ベース、R6 は最終現計予算ベース、R7 は当初予算ベースで作成。

※ R7 からは、負担金単価は税抜表示になる。

● 収支状況

年 度		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
収 入	営 業 収 益 千円	562,283	560,296	538,165	635,097	675,261
	うち料 金 収 入 千円	562,283	560,296	538,165	635,097	675,261
	営 業 外 収 益 千円	1,149,561	1,136,399	1,178,300	1,023,663	1,036,079
	特 別 収 益 千円	14,217	49,157	19,915	33,423	55,830
	計 千円	1,726,061	1,745,852	1,736,380	1,692,183	1,767,170
支 出	営 業 費 用 千円	1,599,387	1,598,611	1,560,809	1,642,737	1,581,471
	営 業 外 費 用 千円	39,506	43,885	41,844	96,369	76,182
	特 別 損 失 千円	61,062	73,678	24,605	42,988	74,330
	総 費 用 千円	1,699,955	1,716,174	1,627,258	1,788,094	1,737,983
	計 千円	1,699,955	1,716,174	1,627,258	1,788,094	1,737,983
当 年 度 純 利 益 千円		26,106	29,678	109,122	△95,911	29,187

※ 消費税を含む。R3～R5 は決算ベース、R6 は最終現計予算ベース、R7 は当初予算ベースで作成。



⑤ 再生可能エネルギーの導入

● 北上川下流東部流域下水道事業 石巻東部浄化センター太陽光発電事業

・事業概要

石巻東部浄化センターは、高度成長期に策定された計画水量と現在の処理量には乖離があり、処理場施設には将来計画用としての未利用地等があることから、これら未利用資産の有効活用が課題となっています。

そのため、引き続き利活用について検討するとともに、管理棟屋上を有効に活用し、太陽光発電を行います。

・事業主体 企業局

・全体事業費 約1.3億円(県のカーボンニュートラル施策により一般会計から繰入予定)

・事業期間 設計・工事 令和5年度から令和7年度(予定)

・事業開始 令和7年度から(予定)

・年間発電量 2.6万kWh/年(発電出力 25kW) (予定)

・イメージ図



画像 ©2024 Google、画像 ©2024 Airbus

・事業スケジュール

	R4	R5	R6	R7	R8	R9
詳細検討	↔					
関係機関協議	↔	↔				
設計		↔				
工事			↔	↔		
事業開始				●		

(7) 迫川流域下水道事業

① 事業の概要

本事業は、都市化による人口の増加に伴う、ラムサール条約の指定登録地である伊豆沼をはじめとする公共用水域の水質悪化防止等を目的として、2市(栗原市・登米市)から流入する汚水を処理するものです。

平成5年度に事業着手し、平成12年7月に一部供用を開始しました。現在の管渠は55.4kmが整備され、令和5年度末の処理区域人口は28.4千人、下水道処理人口普及率は48.6%となっています。

● 令和7年の業務予定量

関連市町村数	2市
年間処理汚水量	2,654,000 m ³
日平均処理汚水量	7,271 m ³

● 迫川流域計画一覧表(令和6年3月31日現在)

	全体計画	事業計画	現況
行政面積	58,239ha		
処理面積	2,186.7ha	1,795.5ha	1,480.3ha
処理人口	24,400人	26,163人	28,399人
処理能力	14,475 m ³ /日	14,475 m ³ /日	9,650 m ³ /日
系列数	3	3	2
管渠延長	55,470m	55,470m	55,470m
ポンプ場	10箇所	10箇所	10箇所
計画目標年度	令和17年度	令和7年度	-

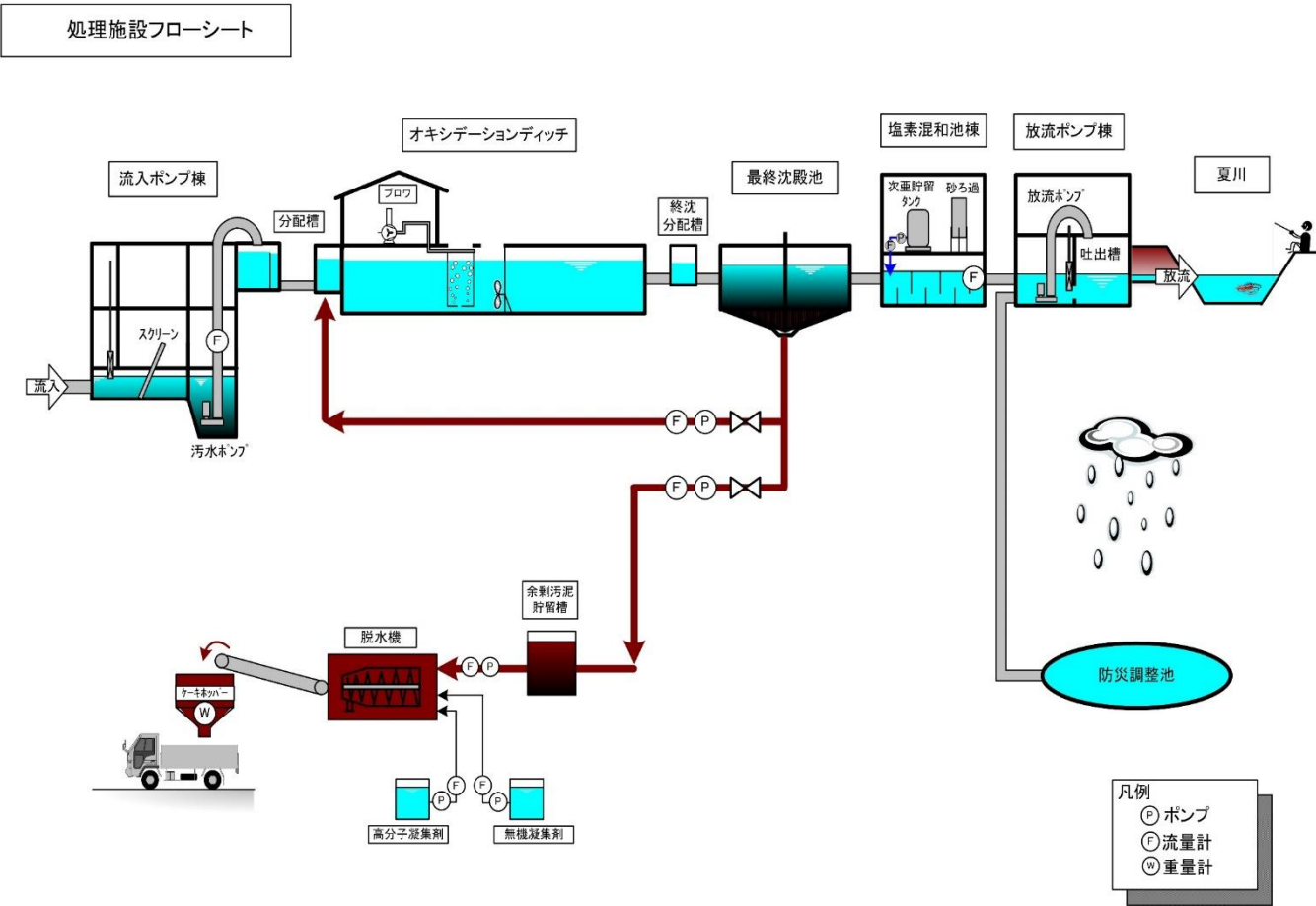
● 関連市日平均汚水流入量(令和5年実績)(単位:m³/日)

市町村名	汚水量
登米市	425
栗原市	6,276
合計	6,701

● 沿革及び認可関係(令和6年3月31日現在)

事業着手年度	平成5年度
供用開始年月日	平成12年7月1日
当初認可取得年月日	平成5年12月9日
最終変更認可年月日	令和2年12月21日
認可完了予定年月日	令和8年3月31日

■ 石越浄化センター処理フロー



② 事業費

(単位: 千円)

区 分		令和5年度まで
建設改良費	国庫補助金	18,306,257
	起 債	7,457,847
	他会計繰入金	948,535
	市町分担金	8,185,455
	その他	2,305
	合 計	34,900,399

③ 施設の概要

施設名	迫川流域下水道事業	
	石越浄化センター	
水処理施設	管理棟	1 棟
	自家発電装置	1 基
	流入ポンプ棟	1 棟
	オキシデーションディッチ	9,716 m ³
	最終沈殿池	4 池
	塩素混和池棟	1 棟
	放流ポンプ棟	1 棟
汚泥処理施設	汚泥脱水機	2 台
ポンプ場	若柳第 1 ポンプ場 若柳第 2 ポンプ場 若柳第 3 ポンプ場 志波姫ポンプ場 一迫ポンプ場 金成第 1 ポンプ場 金成第 2 ポンプ場 栗駒第 1 ポンプ場 栗駒第 2 ポンプ場 栗駒第 3 ポンプ場	

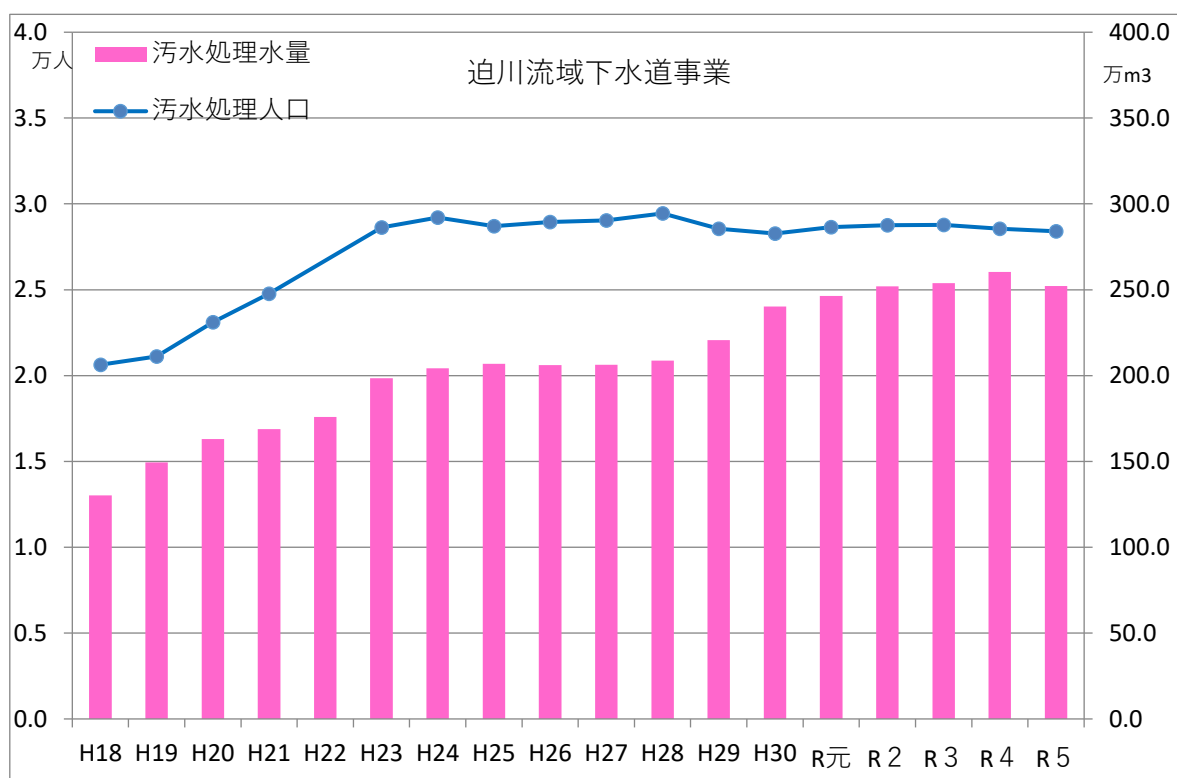
④ 経営の状況

● 処理量等

年 度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
A 施 設 能 力 $\text{m}^3/\text{日}$	9,650	9,650	9,650	9,650	9,650
B 処 理 人 口 人	28,779	28,545	28,399	集計中	—
C 処 理 水 量 $\text{m}^3/\text{年}$	2,537,584	2,568,054	2,446,007	2,555,370	2,654,000
D 有 収 水 量 $\text{m}^3/\text{年}$	2,537,584	2,568,054	2,446,007	2,555,370	2,654,000
E 1 日平均処理量 m^3	6,952	7,036	6,701	6,982	7,271
F 1 日最大処理量 m^3	9,650	9,650	9,650	9,650	9,650
G 管 渠 費 千 円	8,676	5,883	6,718	23,584	15,921
H ポ ン プ 場 費 千 円	73,630	56,319	68,629	69,974	77,726
I 処 理 場 費 千 円	208,839	252,256	274,464	261,856	314,014

※ 消費税を含む。R3～R5 は決算ベース、R6 は最終現計予算ベース、R7 は当初予算ベースで作成。

■ 処理人口(各年度3月末日現在)及び処理水量(有効水量)(1月から12月までの1年間)の推移



※ H22 は東日本大震災による数値のため欠測。

● 料金等

年 度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
負 担 金 千円	336,737	340,781	324,585	376,405	365,800
負 担 金 単 価 $\text{円}/\text{m}^3$	132.7	132.7	132.7	147.3	125.3

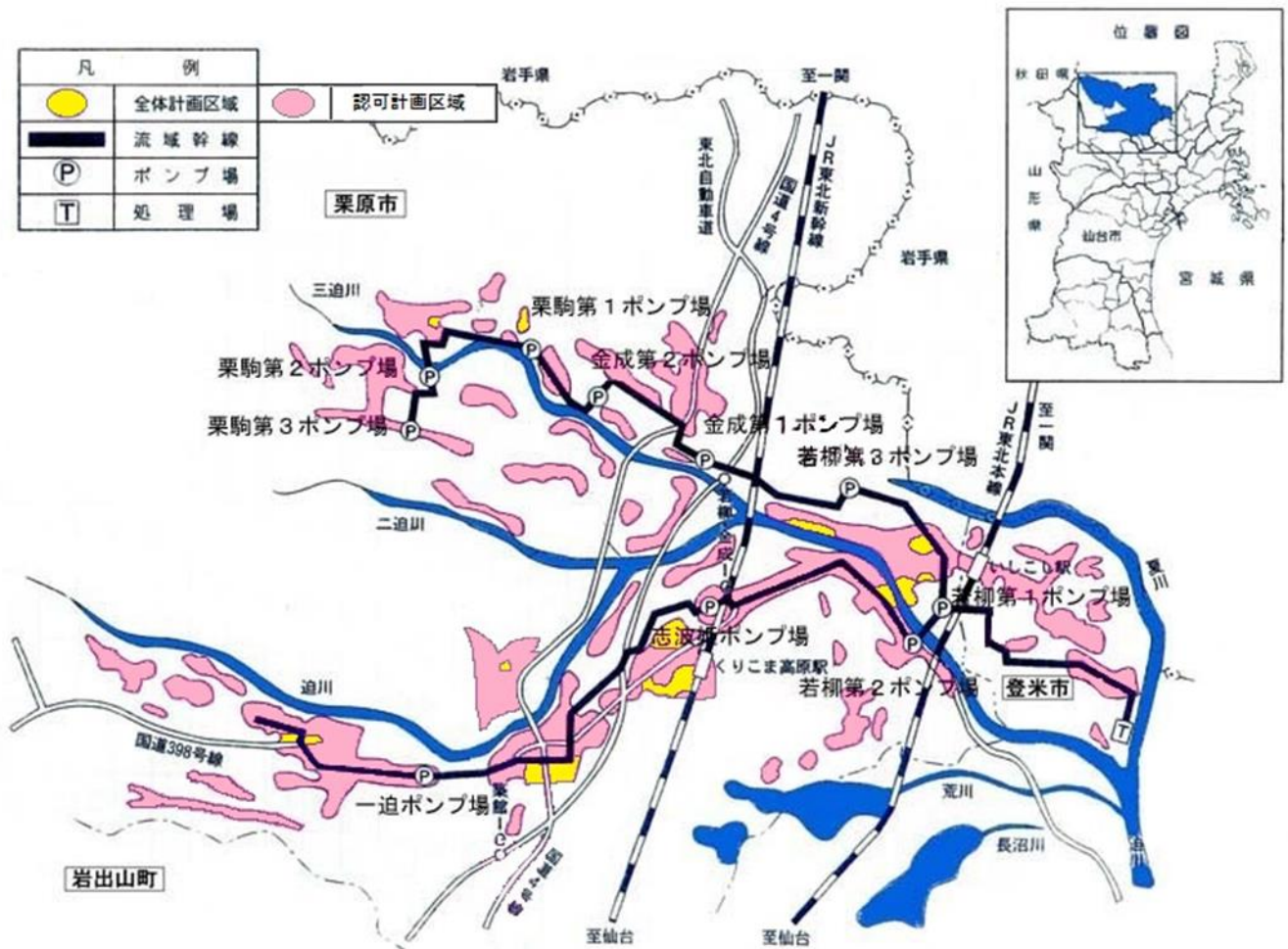
※ 消費税を含む。R3～R5 は決算ベース、R6 は最終現計予算ベース、R7 は当初予算ベースで作成。

※ R7 からは、負担金単価は税抜表示になる。

● 収支状況

年 度		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
収 入	営 業 収 益 千円	336,737	340,781	324,585	376,405	365,800
	うち料 金 収 入 千円	336,737	340,781	324,585	376,405	365,800
	営 業 外 収 益 千円	931,128	942,085	879,482	726,488	784,180
	特 別 収 益 千円	43,854	26,891	17,742	59,735	33,209
	計 千円	1,311,719	1,309,756	1,221,809	1,162,628	1,183,189
支 出	営 業 費 用 千円	1,001,371	1,008,691	976,446	955,893	1,076,659
	営 業 外 費 用 千円	44,957	45,559	40,704	48,792	52,397
	特 別 損 失 千円	77,385	31,803	21,574	77,756	44,109
	総 費 用 千円	1,123,713	1,086,053	1,038,724	1,088,441	1,179,165
	計 千円	1,123,713	1,086,053	1,038,724	1,088,441	1,179,165
当 年 度 純 利 益 千円		188,006	223,703	183,085	74,187	4,024

※ 消費税を含む。R3～R5 は決算ベース、R6 は最終現計予算ベース、R7 は当初予算ベースで作成。



⑤ 再生可能エネルギーの導入

● 迫川流域下水道事業 石越浄化センター太陽光発電事業

・事業概要

流域下水道事業において、高度成長期に策定された計画水量と現在の処理量には乖離があり、処理場施設には将来計画用としての未利用地があることから、これら未利用資産の有効活用が課題となっています。そのため、敷地内の未利用地を活用し、太陽光発電を行います。

- ・事業主体 企業局
- ・全体事業費 約1.3億円（県のカーボンニュートラル施策により一般会計から繰入予定）
- ・事業期間 設計・工事 令和5年度から令和7年度（予定）
- ・事業開始 令和7年度から（予定）
- ・年間発電量 2.6万kwh／年（発電出力 25kw）（予定）

・イメージ図



画像 ©2024 Google、画像 ©2024 Airbus

・事業スケジュール

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	
詳細検討	↔						
関係機関協議	↔	↔					
設計		↔					
工事			↔				
事業開始				●			



宮城県企業局